

令和6年度 観光庁委託事業
宿泊業における人材確保促進業務
実績報告書

目次

1. 事業概要	
(1) 事業目的	2
(2) 事業の全体像	2
(3) 事業のスケジュール	3
2. 大型就職イベント等への出展	
(1) 実施概要	4
(2) 実施結果	4
(3) 考察	7
3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会	
(1) 実施概要	8
(2) 実施結果	9
(3) 考察	33
4. 学生等向けインターンシップ職業体験	
(1) 実施概要	34
(2) 実施のながれ	34
(3) 実施結果	36
5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信	
(1) 実施概要	60
(2) 実施のながれ	60
(3) 実施結果	62
(4) オンデマンドセミナー	88
6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作	
(1) 実施概要	90
(2) パンフレット	90
(3) 事業サイト	92
(4) 漫画動画	95
7. 事業振り返り	
(1) 振り返り	99
(2) 課題と改善点	100

1. 事業概要

(1)事業の目的

現在の雇用情勢は、経済社会活動の正常化に伴い、求人が安定して増加しているものの、労働力人口の減少等により十分な労働力が確保できておらず、多くの産業で人手不足状態が継続している。特に宿泊業では、サービス消費の回復や急速なインバウンド需要の拡大により、新型コロナウイルス感染拡大以前よりも人手不足が深刻化しており、約8割の企業が人材不足の状態にある。

このような人手不足の状況に対し、観光庁では省力化DX推進のための設備投資支援や外国人材の活用など、短期的な対策から中長期的なものまで様々なフェーズの対策を進めている。本事業はこうした取り組みの一環として、学生を始めとした若年層等が将来的に宿泊業を就職先の選択肢の一つとして検討できるように宿泊業で働く魅力を発信し、理解を醸成することを目的とする。

本事業の実施に当たり、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会、一般社団法人日本ホテル協会、一般社団法人全日本ホテル連盟、一般社団法人日本旅館協会と連携し、各業務内容や制作物についての意見、要望確認、プログラムの加盟事業者への周知等を実施した。

(2)事業の全体像

上記目的に向けて以下の業務をそれぞれ実施した。

業務内容	内容	時期回数場所
1. 大型就職イベント等への出展 (※詳細P4)	弊社主催の合同企業説明への ブース出展セミナー実施	京都：3月 東京：6月 大阪：6月
2. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会 (※詳細P8)	人手不足の課題解決に資する セミナーの開催	オンライン：3回 対面開催：6回
3. 学生等向けインターンシップ職業体験 (※詳細P34)	宿泊事業者でのインターンシップ職業体験の実施	8月～2月：6回
4. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信 (※詳細P60)	宿泊業の職場見学	12月～2月：6回
5. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作 (※詳細P90)	・事業サイトでのしごと紹介コラム配信 ・パンフレット「宿泊業の魅力」制作 ・マンガ動画の制作 ・業界研究オンラインセミナー	随時

1. 事業概要

(3) 事業のスケジュール

月	全体	大型就職イベント等への出展	宿泊事業者向けセミナー	インターンシップ職業体験	観光産業の魅力発信	資料コンテンツ制作
3月	● 事業サイト制作開始	● 京都会場				
4月	● 業界団体へのニーズ調査	● ブース装飾物の制作				
5月		● 参加事業者調整 ● 紹介資料の作成				
6月		● 東京大阪会場				● パンフレット配布開始
7月						● しごと紹介コラム掲載
8月						
9月			● 対面（長野）	● 長野・徳島		
10月			● オンライン			
11月			● 対面（宮城×2） ● 対面（北海道） ● 対面（香川）			● マンガ動画掲載開始
12月			● オンライン ● 対面（福岡）	● 愛知 ● 愛知	● 静岡	
1月			● オンライン		● 東京 ● 東京	● 業界研究セミナー
2月				● 長野 ● 広島	● 宮城 ● 大分 ● 広島	
3月						

2. 大型就職イベント等への出展

(1) 実施概要

宿泊業に関心を持つ学生等の求職者との接点を創出し、宿泊業への就業意欲の醸成およびインターンシップ職業体験事業への参加促進を図ることを目的として、弊社が主催する大型就職イベント等（インターンシップイベント）に出展し、ステージおよびブースを活用した情報発信を行った。

(2) 実施結果（目標：200人、結果：201人）

開催日	イベント名	会場	ブース訪問者数	セミナーブース来訪者数
令和7年3月26日	就職博 企業発見編	京都産業会館ホール	25	-
令和7年6月29日	Super Business Forum	新宿NSビル NSイベントホール	80	33
令和7年6月29日	Super Business Forum	グランフロント大阪 コングレコンベンション センター	43	20
合計			148	53

■ 出展準備

宿泊業への関心喚起と理解促進を図ることを目的として、以下の準備を実施した。

● ブース装飾（椅子カバー、タペストリー）

数多くのブースが並ぶ会場内においても宿泊業ブースの存在感を高め、業界を絞らずに来場した学生に対しても自然な形で興味を持ってもらうきっかけとなるよう視覚的な訴求ポイントとして作成。

● 企業情報シート

当日協力いただいた宿泊事業者の担当者から、「会社の魅力」「職場環境」「仕事内容」「身につくスキル」「過去3年間の新卒採用実績」等の情報を回収し、学生が宿泊業について具体的なイメージを持てる内容となるよう整理した。

● 講演資料の作成およびサポート

セミナーコーナーを活用し、「Super Business Forum（東京）」では宿泊事業者による30分間の講演における投影資料や台本の作成およびサポート、「Super Business Forum（大阪）」では宿泊事業者による30分間のパネルディスカッションのためのトークテーマ設定および台本の作成を実施した。

企業情報シート



タペストリー



2. 大型就職イベント等への出展

■ 当日の運営内容

ブースでは、「6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作」の一環で作成したパンフレットを活用しながら学生に情報提供を行った。当日は宿泊業への就職を希望し、企業を探す学生ばかりではなく、業界を絞らずに幅広く業界研究をする学生等、さまざまな学生が来訪し、宿泊業への関心や志望状況に合わせて質疑応答やキャリア相談に応じた。ブースでの個別対応に加え、「Super Business Forum (東京)」ではセミナー形式、「Super Business Forum (大阪)」ではパネルディスカッション形式によるステージ企画を実施し、宿泊事業者自らが宿泊業の魅力ややりがい、働き方改革の取組等について発信。これにより、多くの学生に対して一度に情報を届けることが可能となり、宿泊業界への理解促進および関心喚起の裾野を広げる取組となった。

■ 実施風景

● 就職博 企業発見編 (京都)



● Super Business Forum (東京)



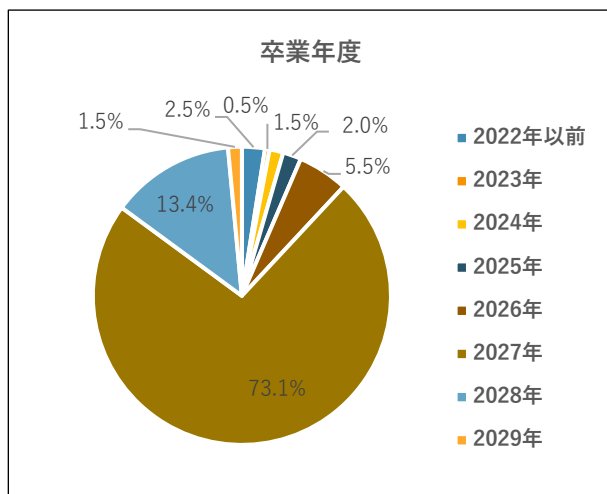
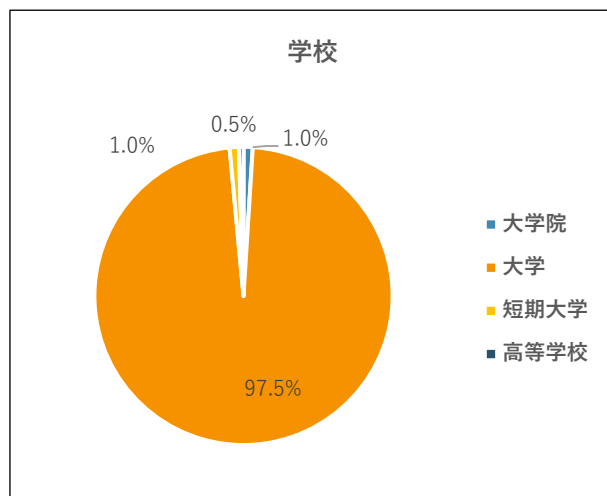
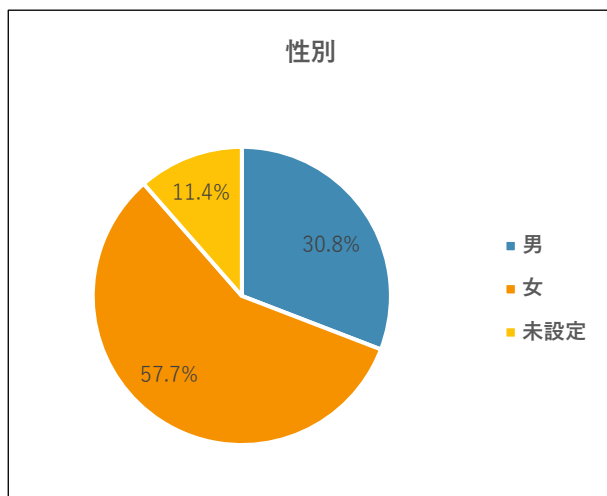
● Super Business Forum (大阪)



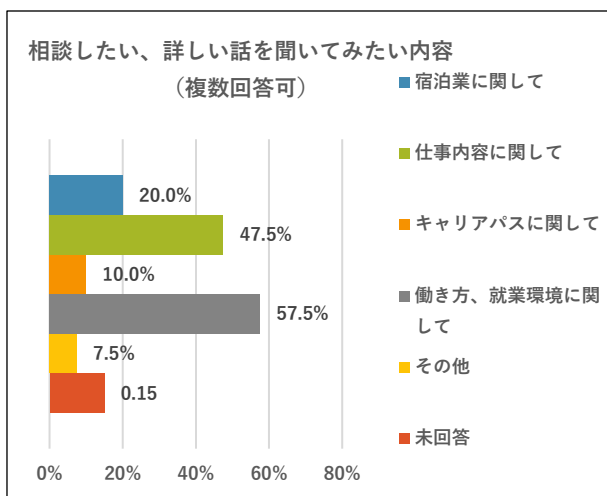
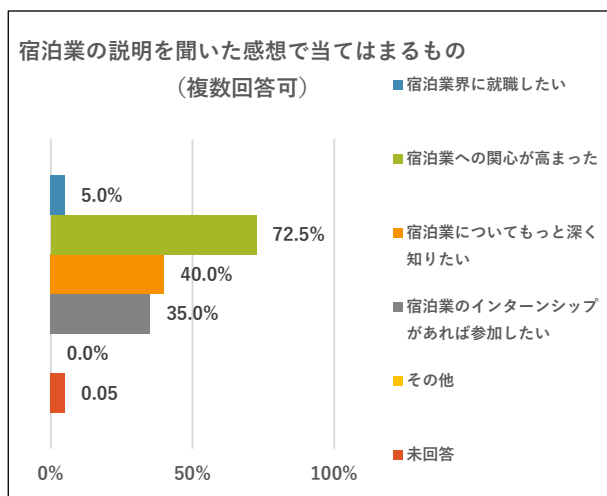
2. 大型就職イベント等への出展

■ 当日のブース訪問者・セミナー視聴者について

● 属性



● アンケート結果



2. 大型就職イベント等への出展

● 当日の相談内容

カテゴリー	質問内容
宿泊業界全体について	<ul style="list-style-type: none">ホテルと旅館の違いコロナ前後で変わったことインバウンドの影響外国人観光客の割合
仕事内容について	<ul style="list-style-type: none">体力が必要な仕事か女将が何をするのか知りたい接客以外の仕事があるのか知りたい入社1年目から広報等のバックオフィスを担当できるのか若手社員の1日の流れ
宿泊業の魅力 やりがい	<ul style="list-style-type: none">働いて感じる宿泊業の魅力働いていて一番うれしかったこと印象に残るエピソード地域への貢献に携われるか働いている施設の魅力
働き方	<ul style="list-style-type: none">1日に何時間働くのかどれくらいの頻度で夜勤があるのか夜勤なしで働くことはできるのかどれくらい休日があるのか
就職活動	<ul style="list-style-type: none">どんな人が向いているのか語学力がある人は就職活動に有利かどうかどうして宿泊業で働こうと思ったのか
キャリアパス	<ul style="list-style-type: none">入社後の具体的なキャリアパス宿泊業で働くことによってどのようなスキルが身につくのか取得できる資格はあるか

(3) 考察

計3回の大型就職イベントにおいて、ブース対応およびセミナー・パネルディスカッションを通じて、宿泊業の仕事の魅力や多様な働き方について学生に直接情報提供を行い、来場者との対話機会を創出した。来場者属性を見ると、大学生が大半を占め、卒業年度についても2027年が中心であったことから、就職先を具体的に絞り込む前段階の学生が多く参加していた。加えて、アンケート結果では「宿泊業への関心が高まった」と回答した割合が70%を超えており、本取組は、宿泊業を認知・理解してもらう場として有効に機能したと考えられる。また、「相談したい、詳しい話を聞いてみたい内容」として、「仕事内容」や「働き方・就業環境」を挙げる回答が約半数となっており、宿泊業に対するイメージと実態の間にあるギャップを埋めたいという学生の意識がうかがえた。業界への関心が高まるほど、実際の業務内容や働き方をより具体的に理解したいというニーズも高まっているものと考えられる。加えて、宿泊業界は「不規則な勤務」といった先入観を持たれやすいことから、そのイメージが実態とどの程度一致しているのかを確認したいという意識も、質問内容に表れているといえる。

これらの結果から、就職イベントでの宿泊業の魅力発信においては、学生と直接交流できる特性を生かし、抽象的なやりがいや魅力の訴求にとどまらず、具体的な仕事内容や働き方について丁寧に説明し、双方向の対話を通じて理解を深めることが、関心喚起と業界理解の促進につながると考えられる。

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

(1) 実施概要

宿泊事業者を対象に、人材確保および人材定着に資する実践的なノウハウの提供を目的として、対面式6回およびオンライン形式3回、計9回の200人の参加者獲得を目標としてセミナー計画し、6回実施し、延べ448人が参加した。データ分析・省人化や人材確保、人材の定着に効果的な取組事例など、宿泊事業者が直面する人材課題の解決に資する内容を中心に構成し、現場での実践につながる情報提供を行った。

また、講師の許可を得られたセミナーについては事業サイトでアーカイブの配信を行い、より多くの事業者が本事業の内容を確認活用できる環境を整備した。

■ 講師の募集選定

本セミナーの実施にあたっては、まず開催日程および実施地域について、各地の運輸局に事前にヒアリングを行い、候補地を決定した。あわせて、セミナーのテーマについても各運輸局から希望や課題感を確認し、地域特性に応じた内容となるよう整理した。講師の選定にあたっては、業界団体と連携のうえ、人材確保・定着・省人化等のテーマで登壇可能な候補者を募った。選定後は、運営事務局が講師ごとに個別の打合せを実施し、当該地域やテーマに即した内容となるよう調整した。具体的には、各講師が自社自施設において取り組んでいる人材確保・定着に向けた事例や対策、その背景にある課題認識等について共有いただき、参加事業者にとって実務に活かしやすい内容となるよう構成を検討した。なお、開催日時や設定テーマの都合により、当初想定していた講師の対応が困難な場合には、運営事務局が関係者と調整を行い、同様の専門性実績を有する講師を手配するなど、円滑な実施に向けた対応を行った。

■ 広報

本セミナーの参加促進に向けて、運輸局および業界団体に対し、周知協力を依頼した。各団体のネットワークを活用することで、地域の宿泊事業者に対し、信頼性の高い情報提供を行うことができた。あわせて、運営事務局が有する独自の連絡先リストを活用し、全国の宿泊事業者を対象とした広報を実施。特定の地域や団体に限定されることなく情報を届けることで、幅広い事業者層への周知を図った。具体的には、全国の宿泊事業者への情報到達を高めるため、セミナー案内用のチラシおよび事業サイト内の専用ページを作成し、オンラインを中心とした広報を展開した。地域や事業規模を問わず情報にアクセスできる環境を整えるとともに、時間や場所の制約を受けにくい形での情報提供が可能となった。これにより、多様な宿泊事業者に対して本事業の趣旨や内容を効率的に訴求することができ、参加促進につなげることができた。

チラシ



事業サイト



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

(2) 実施結果

■ 対面式セミナー（目標：6回、結果：6回、参加者数：延べ163人）

対面式セミナーについては、全国5つの地域において計6回開催した。各回とも、会場での実施に加え、オンラインによる同時配信を行うハイブリッド形式で実施。これにより、開催地域に限らず、全国の宿泊事業者が関心のあるテーマのセミナーに参加できる環境を整備し、参加機会の拡大を図った。

プログラム名	開催日時	地域	講師
① 宿泊業の人材確保 インターンシップ活用講座	令和7年9月3日	長野県 上田市	レガシープロジェクト株式会社 代表取締役 前田 茂雄 氏
② 宿泊業における人材確保の実践事例と 戦略セミナー	令和7年11月4日	宮城県 仙台市	グランディア芳泉 常務取締役／あわら市観光大使 山口 高澄 氏
③ 宿泊業の未来を創る 魅力発信と人材定着セミナー	令和7年11月6日	宮城県 仙台市	株式会社ホテル佐勘 代表取締役 佐藤 勘三郎 氏
④ 宿泊業の人材確保における 魅力づくりと定着支援セミナー	令和7年11月18日	北海道 札幌市	株式会社SQUEEZE 執行役員 事業開発部長 中川 智博 氏
⑤ 宿泊業のための人材不足対策セミナー おてつたびを活用した新しい人材確保	令和7年11月26日	香川県 高松市	株式会社おてつたび 尾崎 亮太 氏
⑥ 地域宿泊業の人材戦略 ～現場主導の若手人材獲得定着メソッド～	令和7年12月10日	福岡県 福岡市	株式会社 ソニックホテルアンドリゾート サポートチームリーダー 松尾 正治 氏 レガシープロジェクト株式会社 代表取締役 前田 茂雄 氏

地域	予約数	参加数		
		宿泊 事業者	関係者	合計（現地参加）
① 長野県上田市	24	16	1	17 (1)
② 宮城県仙台市	42	13	20	33 (5)
③ 宮城県仙台市	42	16	21	37 (6)
④ 北海道札幌市	19	6	9	15 (9)
⑤ 香川県高松市	24	4	17	21 (6)
⑥ 福岡県福岡市	20	14	26	40 (2)
合計	171	69	94	163 (29)

※参加数は予約していない人を含む

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

■ 宿泊業の人材確保インターンシップ活用講座

開催日時：令和7年9月3日

開催場所：別所温泉センター

(長野県上田市別所温泉1723-1)

講師：レガシープロジェクト株式会社

代表取締役 前田 茂雄氏

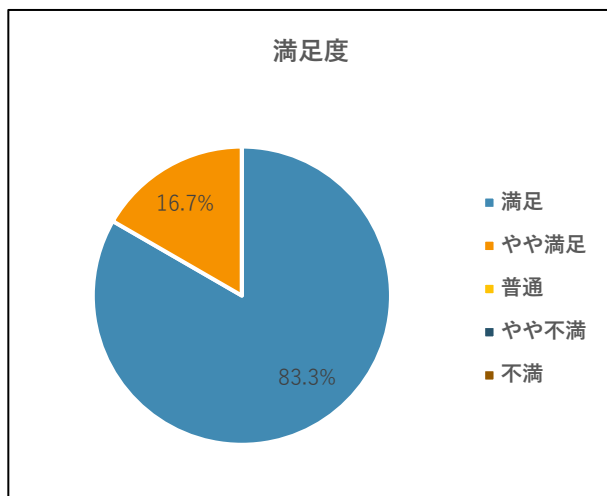
形式：ハイブリッド（オフラインオンライン同時開催）

参加者数：17人

講師



● アンケート集計



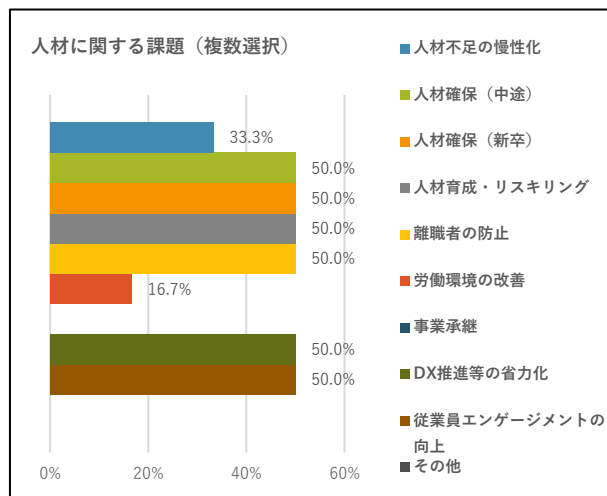
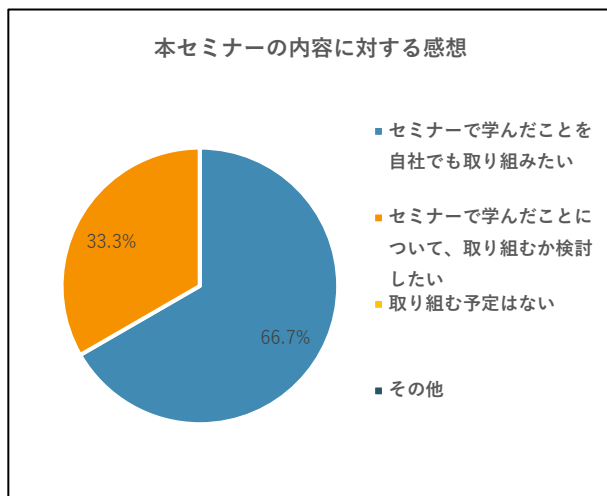
満足度の理由

満足

- ちょうどインターンシップを検討している段階のため非常に参考になりました。

やや満足

- 旅館の強みを活かした採用手法を聞く事ができたため。
- ただただ時流の中でインターンシップを開催していましたが、大事なところや、具体的なアイデア、企画の仕方まで丁寧に教示いただいていたありがとうございました。



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● 考察

本セミナーは、宿泊事業者が抱える人材確保に関する課題を可視化し、改善に向けた第一歩を踏み出すための実践的なプログラムを提供することを目的として実施した。単にインターンシップを実施すること自体を目的とするのではなく、自社の強みをどのように打ち出し、就業体験を採用につなげていくかという視点を提示し、就業体験の活用方法や採用における考え方について、理解を深めるという点では、目的は概ね達成されたと考えられる。実際に、本セミナーに参加した企業が、後述する就業体験プログラムの受入企業となっていることから、参加事業者の行動変容につながった点は大きな成果といえる。今後の改善策として、関心はあっても実践にまで至らないケースに対し、実施に踏み切れない要因を明確にしたうえで、フォローを強化していくことが求められる。

■ 宿泊業における人材確保の実践事例と戦略セミナー

開催日時：令和7年11月4日

開催場所：TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口 カンファレンスルーム81
(宮城県 仙台市青葉区 花京院1-2-15 ソララプラザ)

形式：ハイブリッド（オフラインオンライン同時開催）

参加者数：33人

講師：グランディア芳泉 常務取締役／あわら市観光大使
山口 高澄氏

講師

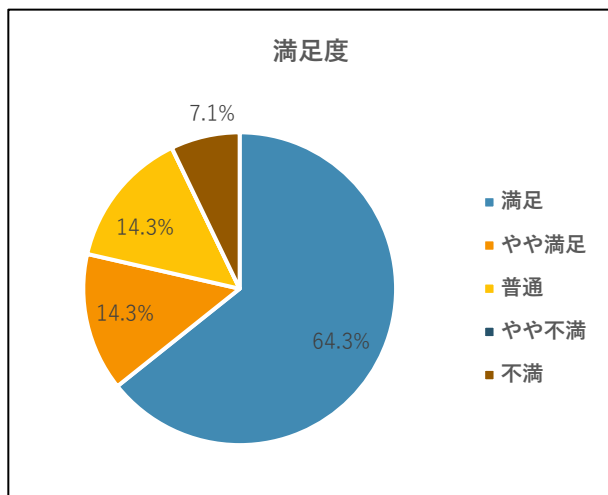


● 実施風景



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● アンケート集計



満足度の理由

満足

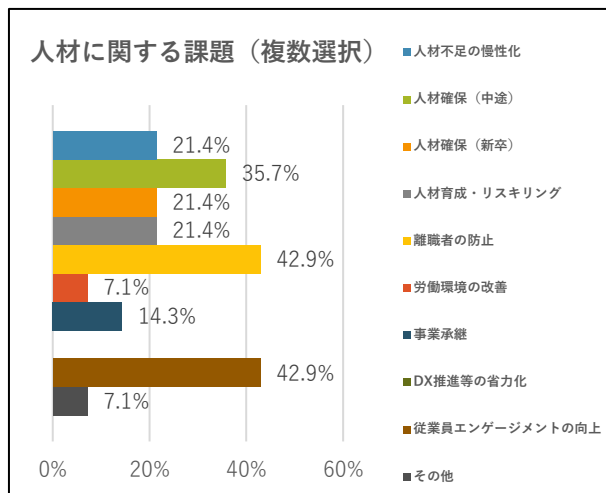
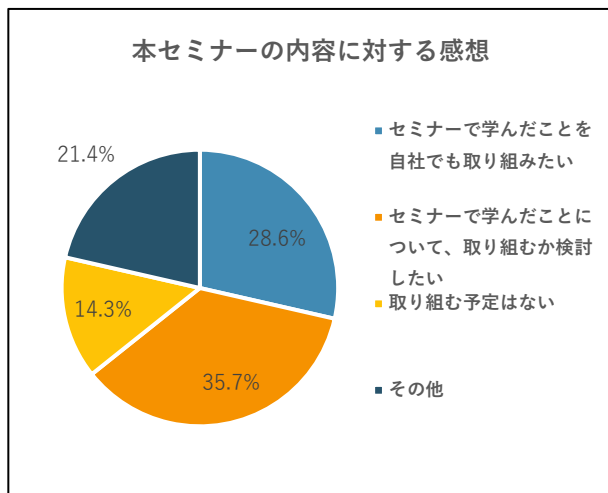
- 地域事業者の話が聞けたから
- 売上や稼働率が好調な宿泊施設には、他の施設と差別化されたマニュアルがあり、上司も部下も成長できる職場環境であることが理解出来た。
- 取り組みの内容が聞けて、参考になった。
- 山口常務の試行錯誤の活動が見えてよかった
- 解りやすい説明でした。
- 今後の業務の中で活用できる内容があったため

やや満足

- とても分かりやすく熱が伝わり面白かったのが素直な意見です。当たり前のことをする、それこそがとても難しいようで一番の近道だと気付かされました。

不満

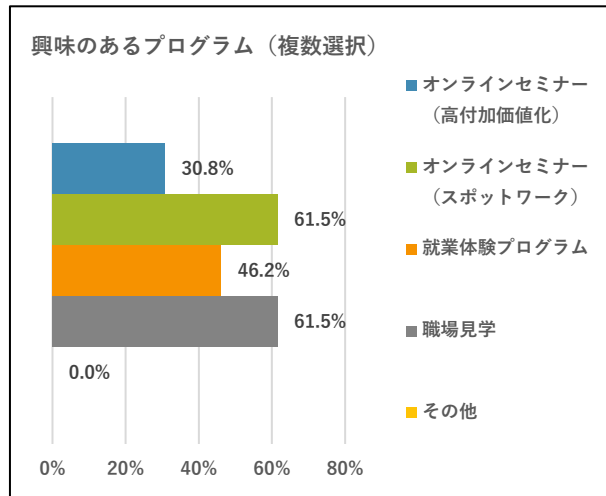
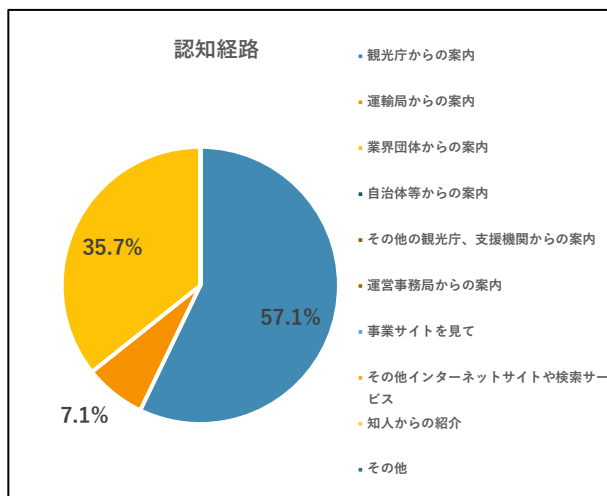
- 講演時間をもう少し長くても、掘り下げて聞きたい



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

その他

- 事例を紹介したい
- 取引先へ共有したい。
- 今回のセミナー内容を参考にし、業務につなげていきたい



● 考察

本セミナーは、宿泊事業者を対象に、辞めずに育つ人材の採用手法や組織マネジメントについて、成功事例を持つ企業の講師による実践的なノウハウや考え方を紹介することを目的として実施した。魅力発信や人材の定着育成、SNS活用をテーマに、学生や若手人材に訴求するための具体的な取組事例が共有された。アンケート結果では、実体験に基づく事例紹介が高く評価され、特にSNSを活用した魅力発信に関する内容は参加者の関心を集めたことから、人材の定着育成や魅力発信に関する理解促進という点では、一定の目的を達成できたと考えられる。一方で、「自社でも取り組みたい」が28.6%、「取り組むか検討したい」が35.7%にとどまっており、実践段階への移行にはハードルがあることが示唆された。より充実したセミナーにするために、人的リソースや体制に制約のある事業者でも取り組みやすい方法や、段階的な導入イメージを示すなど、実践につなげるための具体的な支援策の追加を検討する。

■ 宿泊業における人材確保の実践事例と戦略セミナー

開催日時：令和7年11月6日

開催場所：TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口 カンファレンスルーム81
(宮城県 仙台市青葉区 花京院1-2-15 ソララプラザ)

形式：ハイブリッド（オフラインオンライン同時開催）

参加者数：37人

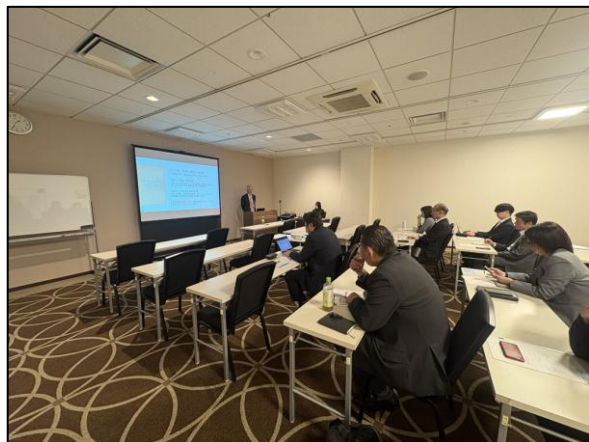
講師：株式会社ホテル佐勘 代表取締役 佐藤 勘三郎 氏

講師

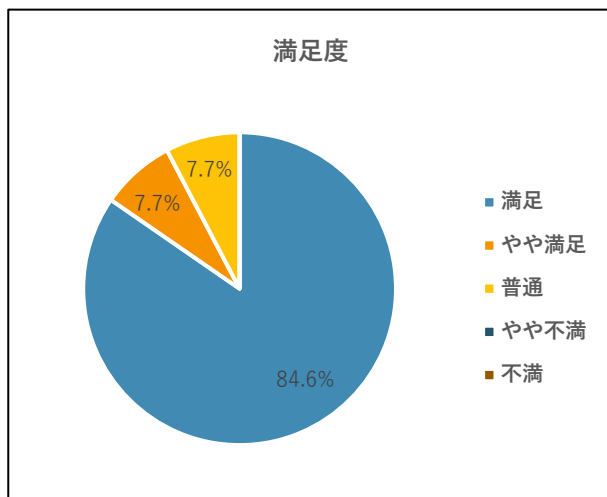


3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● 実施風景



● アンケート集計



満足度の理由

満足

- 具体的な取り組み事例をありがとうございました。
- 高校生や調理職種の採用が困難であることを再認識した
- 事例を交え解りやすかった。
- 宿泊業における採用環境の状況及び今後の取り組みに向けたアイデアを頂戴いたしました。ありがとうございました。
- 今後の業務の中でアドバイスなどができると思ったから
- 実例実態に伴った内容であり、大変参考になりました。

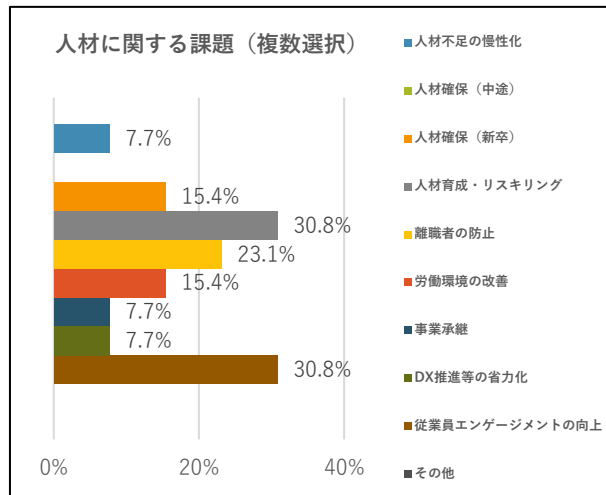
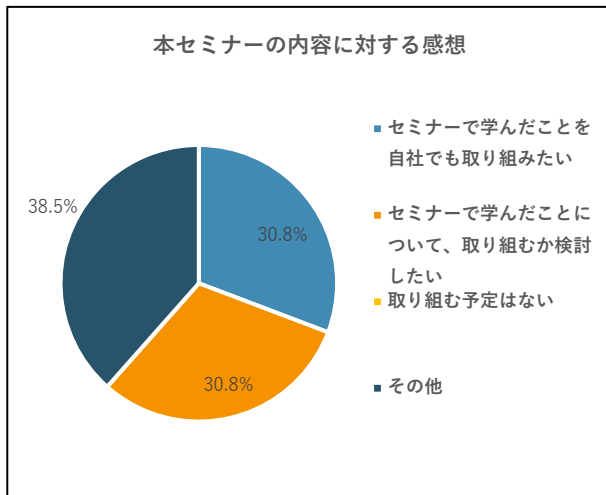
やや満足

- 具体的な取り組み事例をありがとうございました。

不満

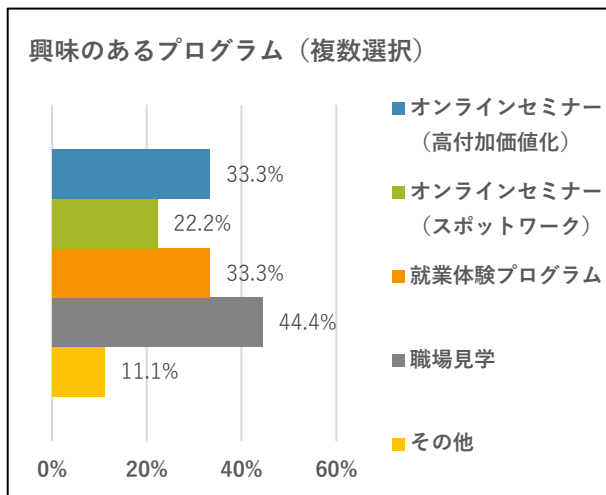
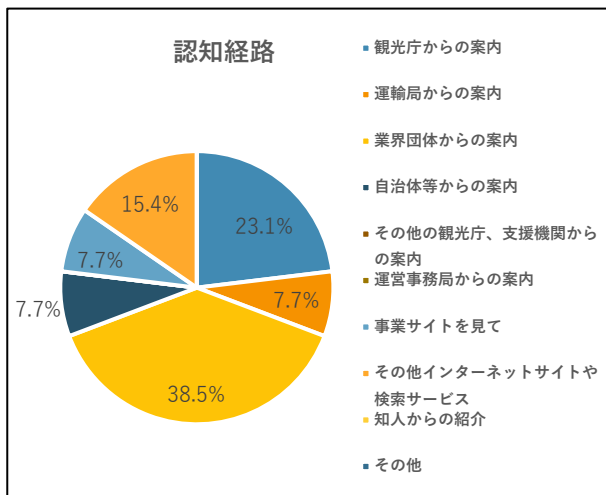
- 外国人材の実践事例が少なかった。

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会



その他

- ・ 取り組み事例を情報提供
- ・ お取引先と共有したい。
- ・ 外国人材の知識を上げていきたい
- ・ 宿泊事業者へ送り出す側として役立てたいと考えます。



● 考察

本セミナーは、変化する人材マーケットを背景に、宿泊事業者が学生・若手人材および外国人材の採用に対する考え方を見直すきっかけの提供を目的として実施した。成功事例を持つ講師による実践的なノウハウの紹介を通じて、採用手法を見直すための具体的な視点を共有した。地域の実情に即した内容であったことから、参加者にとって理解しやすい内容となり、「満足」「やや満足」と回答した割合が92.3%と高かった。この結果、理解度や納得感の醸成という点では、目的は概ね達成されたと考えられる。一方で、外国人材の採用や定着に関する事例や知識を求める声も見られ、外国人材を人材確保の重要な選択肢と捉えている事業者が存在することがうかがえた。今後は、外国人材の採用定着に関する具体的な事例や留意点をより掘り下げて紹介するなど、ニーズに即した内容の検討が求められる。

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

■ 宿泊業の人材確保における魅力づくりと定着支援セミナー

開催日時：令和7年11月18日

開催場所：TKP札幌ホワイトビルカンファレンスセンター カンファレンスルーム
(北海道札幌市中央区北4条西7-1-5 札幌ホワイトビル)

形式：ハイブリッド（オフラインオンライン同時開催）

参加者数：15人

講師：株式会社SQUEEZE
執行役員 事業開発部長 中川 智博 氏

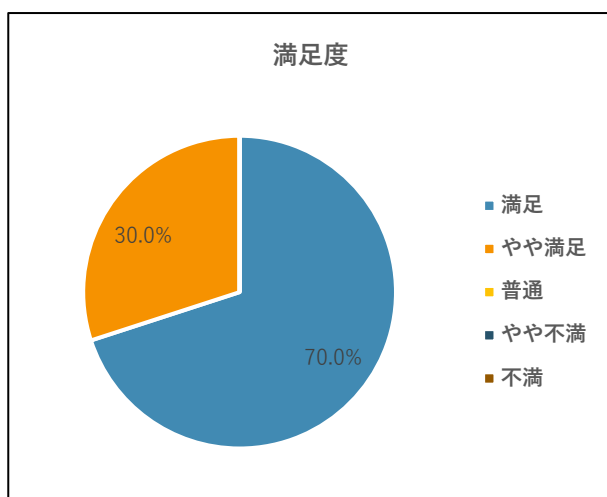
講師



● 実施風景



● アンケート集計



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

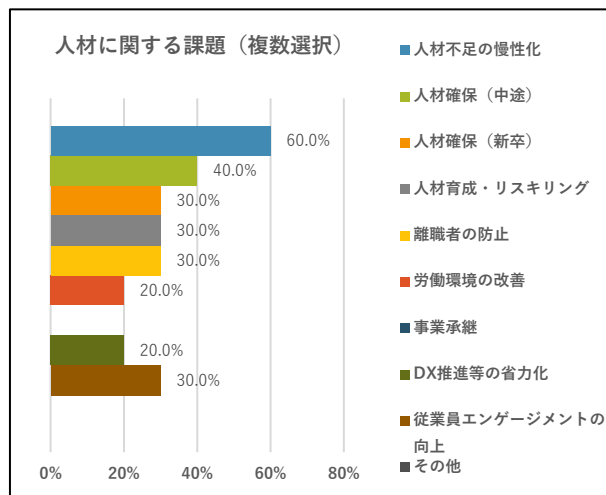
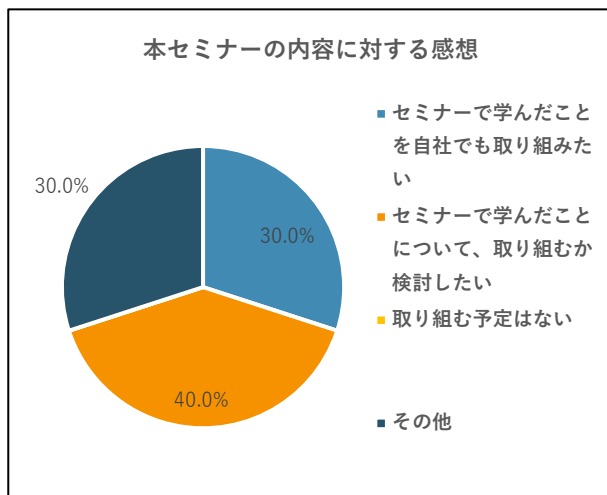
満足度の理由

満足

- 様々な人材確保の手段について参考になるセミナーでした。
- 解決したい課題にどうアプローチすればよいか具体的に伺えた
- 面接におけるミスマッチについて定型的な質問や会話しかできておらず、企業の理念などにあてはめた人材の特徴でのマッチングや魅力の共有ができていなかったことに気付かされた
- 参考になりました。
- 採用にあたりポイントが分かりました
- 経験に基づいたリアルな話が聞けて大変参考になった

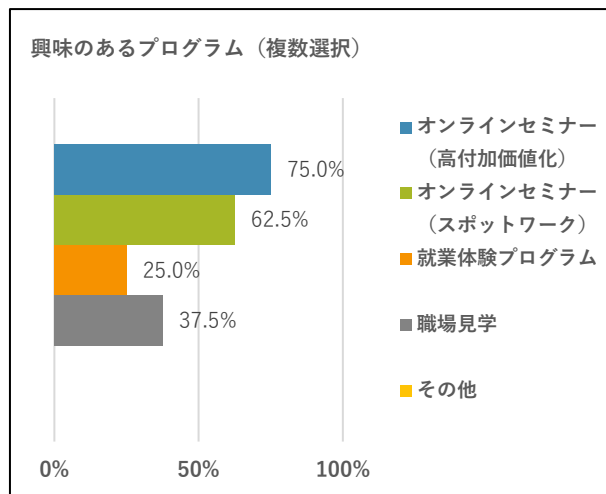
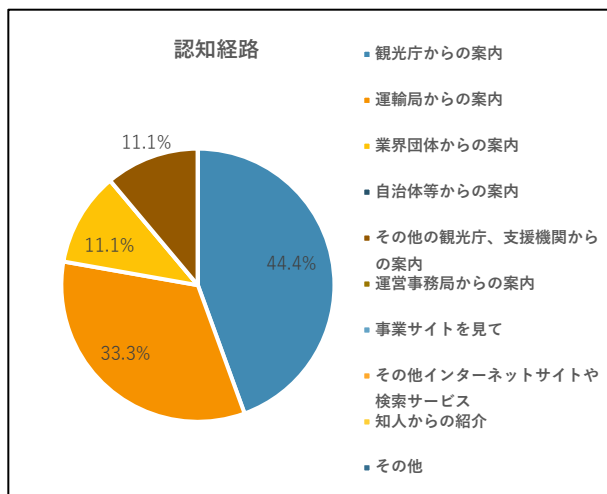
やや満足

- 様々な人材確保の手段について参考になるセミナーでした。



その他

- ノウハウなど参考になった。
- 今後の観光業界の人材確保策の参考となった。



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● 考察

本セミナーは、求職者に選ばれるための魅力づくりや採用ターゲットの可視化、自社の強みを整理する方法に加え、入社後の育成マネジメントを通じて定着につなげる組織づくりについて、採用現場で活かせる実践的なノウハウを学んでもらうことを目的として実施した。アンケート結果では、人材に関する課題として「人材不足の慢性化」を選択した割合が60%と高く、多くの事業者が継続的な人材確保に強い課題意識を持っていることが確認された。また、興味のあるプログラムとして「オンラインセミナー（スポットワーク）」を選択した割合が62.5%と比較的高かったことから、柔軟な人材活用や即戦力確保への関心が高い状況が読み取れた。これらの結果から、人材確保と定着を一体的に捉える本セミナーのテーマは、地域の課題意識と概ね合致しており、目的に沿った問題提起ができたと考えられる。一方で、スポットワーク等を含む多様な人材活用手法を組み合わせた対応へのニーズが高いことが示唆され、多様かつ具体的な対応例をより充実させていくことで改善につながると考えられる。

■ 宿泊業のための人材不足対策セミナーおてつたびを活用した新しい人材確保

開催日時：令和7年11月26日

開催場所：高松商工会議所 201会議室

(香川県高松市番町二丁目2番2号)

形式：ハイブリッド（オフラインオンライン同時開催）

参加者数：21人

講師：株式会社おてつたび 尾崎 亮太 氏

講師

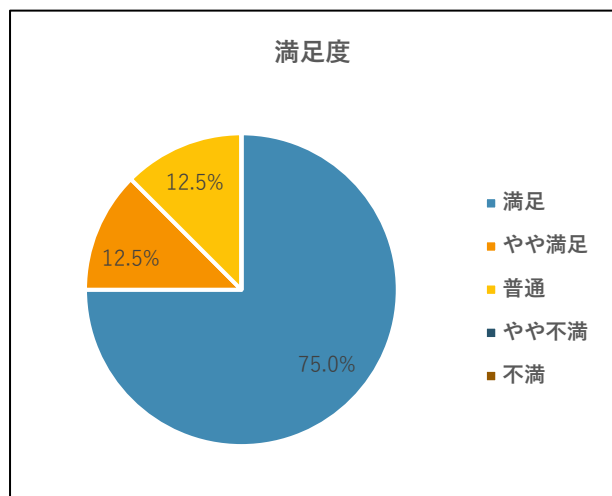


● 実施風景



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● アンケート集計



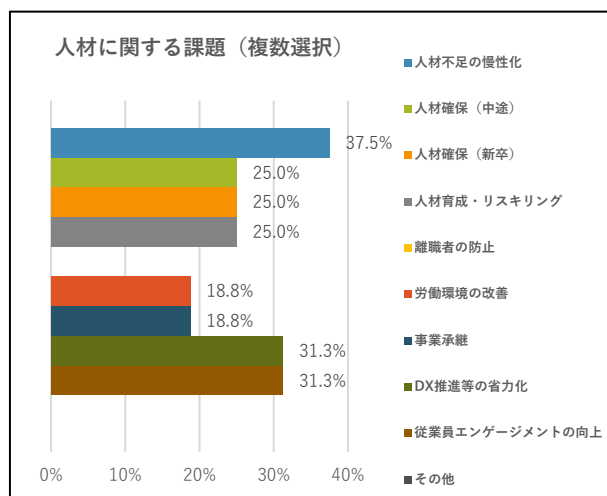
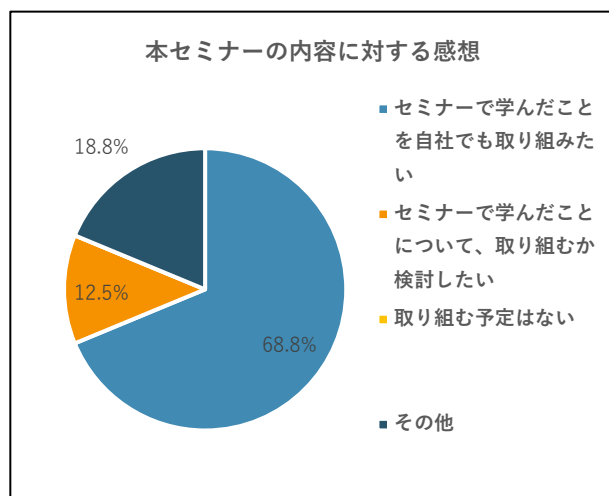
満足度の理由

満足

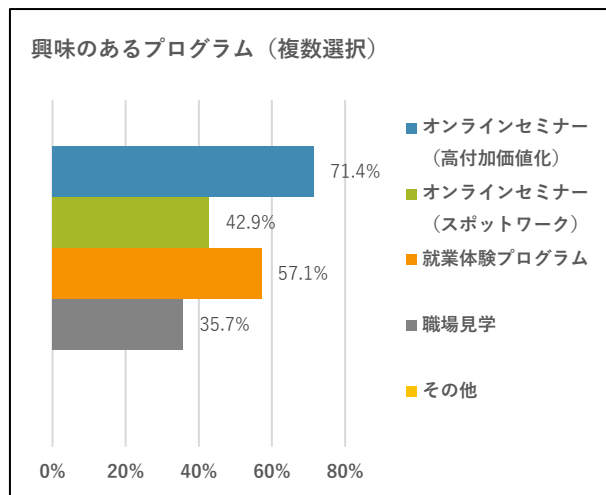
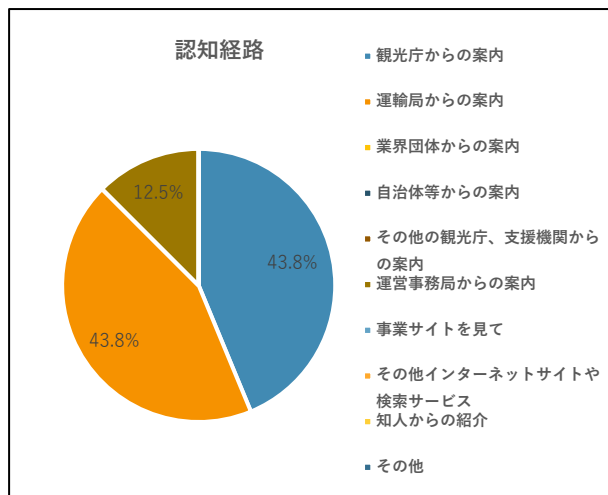
- おてつたびの事業内容がよく分かった。
- おてつたびによる人材確保に関心があったため
- 解りやすい説明で、面白い取組みと感じた。
- 具体的事例知ることが出来た
- 具体事例を含めた説明で分かりやすかった。
- 宿泊施設の人材確保だけでなく交流人口や関係人口の増加の観点からも非常に有益な人材提供システムだと思いました。導入事例の少ない高知県に向けては特に紹介を行っていきたくと思います。
- 分かりやすかった。
- おてつたびの全体の中身がよく分かった。
- 現状を知ることができた

やや満足

- 事例が多くわかりやすかった。



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会



● 考察

本セミナーは、人材不足に悩む宿泊事業者を対象に、「おてつたび」を活用した新たな人材確保の選択肢を提示し、今後の人材施策を検討する際の一助となることを目的として実施した。「おてつたび」を単なる人手不足対策としてではなく、地域との関係性構築や将来的な人材確保につながる手法として位置づけたことで、人材確保を中長期的な視点で捉える気づきを提供できた。結果、アンケートでは満足度が87.5%と高く、「おてつたび」の事業内容や活用方法について理解が深まったとの声が見られた。また、「セミナーで学んだことを自社でも取り組みたい」と回答した割合が68.8%に上り、実践意欲の高さが他地域セミナーと比較しても顕著であった点が特徴的である。今後は、「おてつたび」に対する理解や関心が高い参加者を、実践定着へとつなげる支援がより重要となる。あわせて、短期的な人員確保にとどまらず、地域との継続的な関係構築につながる活用イメージをより明確に提示していく必要がある。

■ 地域宿泊業の人材戦略～現場主導の若手人材獲得定着メソッド～

開催日時：令和7年12月10日

開催場所：福岡朝日ビルB 2階 会議室

（福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目1-1）

形式：ハイブリッド（オフラインオンライン同時開催）

参加者数：40人

講師：株式会社ソニックホテルアンドリゾート

サポートチームリーダー 松尾 正治氏(ゲストスピーカー)

レガシープロジェクト株式会社

代表取締役 前田 茂雄氏(モデレーター)

※本セミナーは、ゲストスピーカーとモデレーターのトークセッション形式で実施した。

モデレーター

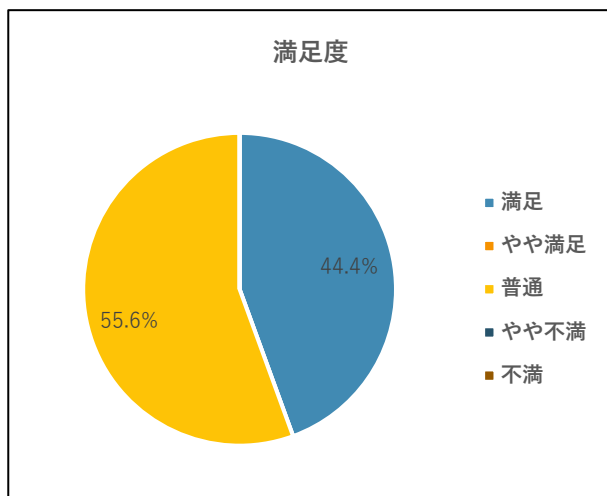


3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● 実施風景



● 事後アンケート集計



満足度の理由

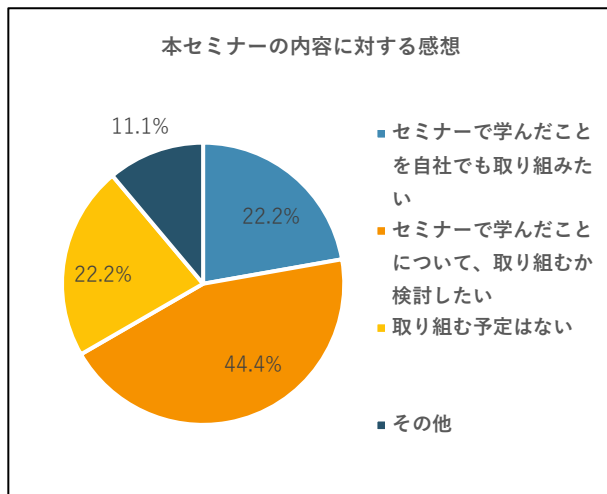
満足

- ・ 分かりやすい説明だった。
- ・ 若年層にフォーカスした就職支援の具体的な取組を聞くことが出来ました。
- ・ 実際の取り組み、その経験を聞かせていただき参考になりました。
- ・ 採用に悩んでいる事業者の方が多いので、学んだことをぜひ役立てたい。

普通

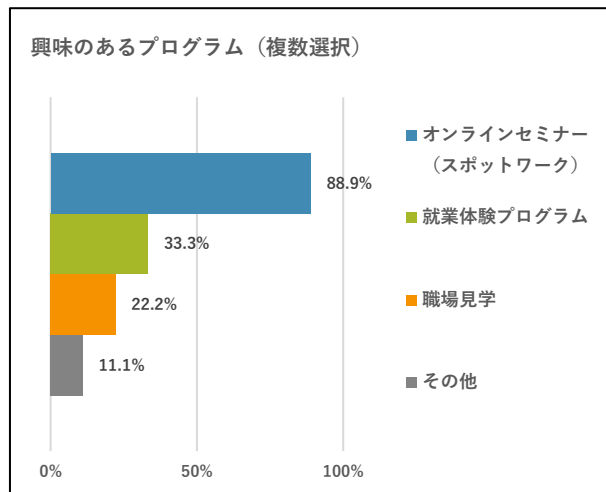
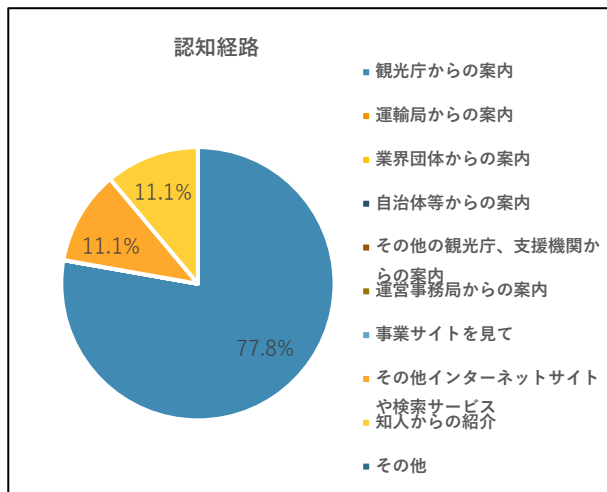
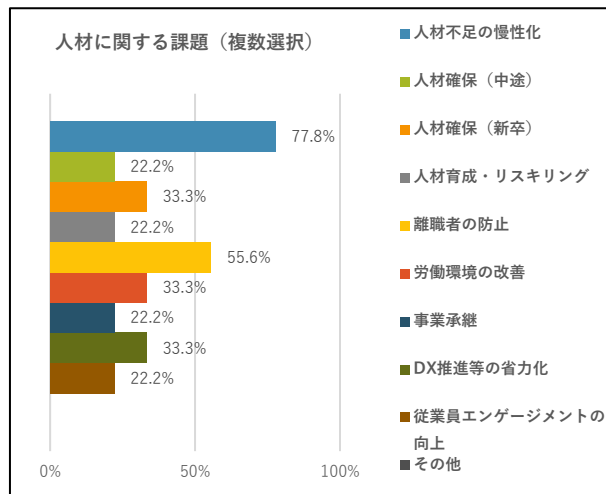
- ・ 観光学科の学生のためにインターン先や就職の求人を探している。今回聞いた採用の際の受け入れ側の視点を学生に伝えながら、早期の内定を獲得していきたい。

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会



その他

- 採用のポイントはすごく参考になりました。



● 考察

本セミナーは、少子高齢化の進行やインバウンド需要の回復を背景に人材ニーズが高まる中で、宿泊業における若手人材の確保育成定着について見直すきっかけを提供することを目的としてトークセッション形式で実施した。アンケート結果では、「満足」が44.4%、「普通」が55.6%となった。これは、体系的に知識を整理して伝える講義形式と比較すると、トークセッション形式ではモデレーターとのやり取りを中心に進行するため、情報の整理のされ方や内容の受け止め方に参加者ごとの違いが生じやすいという特性が影響した可能性がある。一方で、登壇者が実際に取り組んだ成功事例の紹介については高く評価されており、現場の温度感や具体性という点では、トークセッション形式の強みが十分に発揮されたといえる。また、人材に関する課題として「人材不足の慢性化」に加え、「離職者の防止」を挙げる回答が多く見られたことから、参加者は採用活動そのものだけでなく、採用後の定着や育成に対する関心が特に高いことがうかがえる。今後の改善策として、トークセッション形式による共感や現場感のある情報提供に加え、講義形式による施策や考え方の整理を補完的に組み合わせることで、理解度を高め、実践につながりやすい構成とすることが有効であると考えられる。

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

■ オンラインセミナー（目標：3回、結果：3回、参加者数：延べ285人）

オンラインセミナーについては、計3回実施した。宿泊事業者が直面する人材活用や業務改善に関する課題に対し、制度説明や具体的な取組事例を中心としている。対面式セミナーと同様にアーカイブを事業サイトに掲載した。

プログラム名	開催日時	講師
① 宿泊事業者のための人材活用 オンラインセミナー [テーマ：データ分析省人化]	令和7年10月21日	NTTドコモビジネス株式会社 ビジネスソリューション本部 事業推進部 グロースマーケティング推進室 山北 陽子氏
② 宿泊事業者のための人材活用 オンラインセミナー [テーマ：宿泊業の高付加価値化のための 経営ガイドライン]	令和7年12月9日	観光庁 観光産業課 三宅 智大氏
③ 宿泊事業者のための人材活用 オンラインセミナー [テーマ：スポットワーク活用]	令和8年1月14日	株式会社タイミー 市場開発部 広域統括G ソリューションパートナー 島名 朗人氏 株式会社タイミー 北野 智史氏

プログラム	予約数	参加数		
		宿泊事業者	関係者	合計
①	221	118	57	175
②	102	42	31	73
③	42	13	24	37
合計	365	173	112	285

■ 宿泊事業者のための人材活用オンラインセミナー [テーマ：データ分析・省人化]

開催日時：令和7年10月21日

講師：NTTドコモビジネス株式会社 ビジネスソリューション本部
事業推進部 グロースマーケティング推進室 山北 陽子氏

NTTドコモビジネス株式会社 ビジネスソリューション本部

ソリューションサービス部 第二マネージドソリューション部門 今井 駿佑氏

参加者数：175人

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● 実施風景



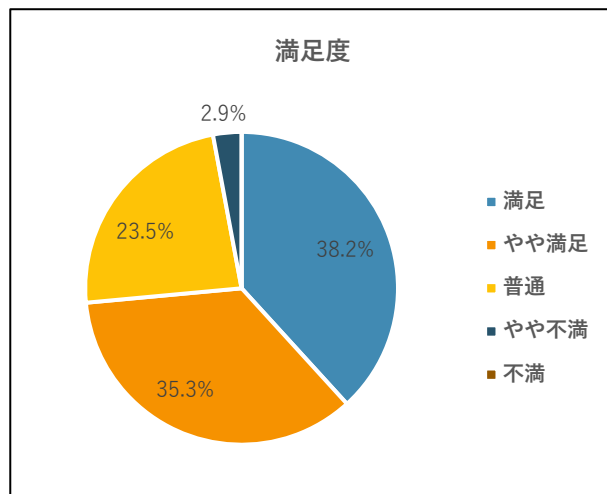
● 事前アンケート集計

関心事項等

- 宿泊業のデータ分析について、取るべきデータはなにか。
- 宿泊業における省人化の目的、重要性
- 客室係、和食料理人の確保に苦慮しております。適格な課題解決手法があれば
- 省人化の具体的な事例
- どのようなツールでデータ分析をするのか。データの取得方法は容易かどうかそれぞれのツールは費用対効果が出るだけの内容となっているのか
- 人材不足対策の取り組みについて
- データ分析における稼働率アップ施策
- 省人化設備投資、補助金関係
- 厨房スタッフの省人化・効率化
- 省人化設備興味ある
- 観光庁 人材不足対策事業の取組事例
- 課題である人材不足の解決手法や、離職を防ぐための有効な手法を知りたい
- これまでデータ分析をしていなかったホテルが導入を始める際に、何から実施するのがスムーズかを教えていただければありがたいです。また、参考教材になる本などあればご紹介をお願いしたいです。
- 宿泊施設の省人化対策
- 求人応募の分析
- 具体的な効果、増加したコスト、顕在化した課題（コスト以外）、想定されるリスク
- ・データの集める最低限の項目。 ・データ集め方 ・集めたデータの管理方法、整理方法 ・零細旅館でのデータ活用導入を勧めるコツ
- 採用獲得のポイント等（賃金、条件など）
- データ取得分析、ツール利用等の費用。
- 零細宿泊事業者が一体となって、IT化、DX化を進めることができる方法はないでしょうか？
- セミナーでは、顧客分析やレベニューマネジメントの適正化、価格弾力性等の定量化などの内容を希望いたします。

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● 事後アンケート集計



満足度の理由

満足

- 宿泊事業者が抱える具体的な課題感を知ることができたため
- 目的を明確化することの重要性、補助金の具体例が伺えたため
- 宿泊事業者目線のデータ活用、KPI設定の項目などの例が勉強になりました。
- データ活用の視点が参考になった
- 実際の事例など多くの種類を紹介してくださり分かりやすかった。
- 現場のIT化やDX化の先端事例を持つことができた点
- 知りたいと思っていた事を聞いた
- 具体的な事例もまじえて大変有益でした。
- 現状弊社で困っている部分の情報があった
- 観光DX関連はよく整理されていた
- 現在導入しているデータやシステム、オペレーションを客観視しつつ、地域や宿泊施設様の成功事例等もお聞きすることができ、大変参考になりました。
- 補助金を知ることができたから。
- AI技術の進み具合が加速している様子理解できました。
- 事例紹介もあり非常に勉強になりました。
- 具体的な省力化のDX対策を知ることができた。
- 理解しやすい内容でした。
- 補助金のことを知れたからです。
- 具体的な事例を説明していただき参考になりました。

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

やや満足

- データ活用については概要構成といったレベルでNTTビジネスのプロモーションを伺っている感じを受けた。
- 真新しい内容が少なかった
- 宿泊業の導入事例については、沖縄県内にも周知したいと思いました。
- 事例があったため、分かりやすかったです。
- AI活用や省人化など、知らなかったことが多くありました。
- データ利活用の概要が改めて確認出来た。活用事例(紹介のあったwebページも見たが..)が少なく、参考になる事例が無かった。また、参考事例は出来れば、横展開出来る様に導入の仕様(会社,製品名)まで記載されている方が望ましいと思われる。また、同内容でも簡略的に載せる事でどの様な施策を展開している宿泊施設が多いか?確認出来るので、補助金活用の施設は全て載せる方が良いと思った。
- 説明量が多すぎる
- データ活用マーケティングのヒントを頂けた。
- 省力化事例をもう少し多ければ良い
- 省人化で色々な補助金がある事が良かった。
- 設定時間が短かったかも
- データ活用～人手不足対策についてももう少し掘り下げる内容だと思っていた。
- 肅々とご案内いただいたが、具体的な効率化の例が見られなかった

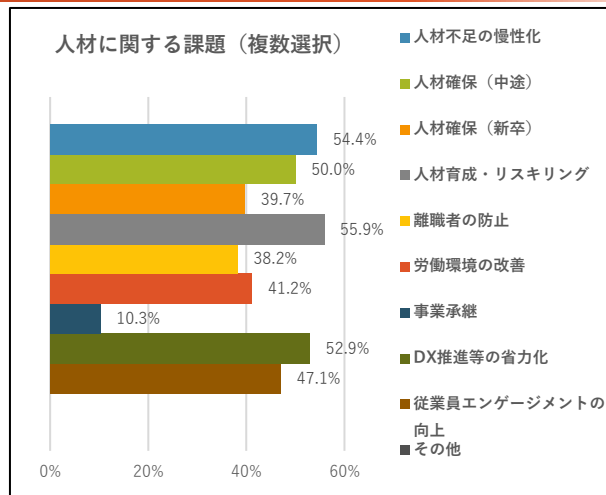
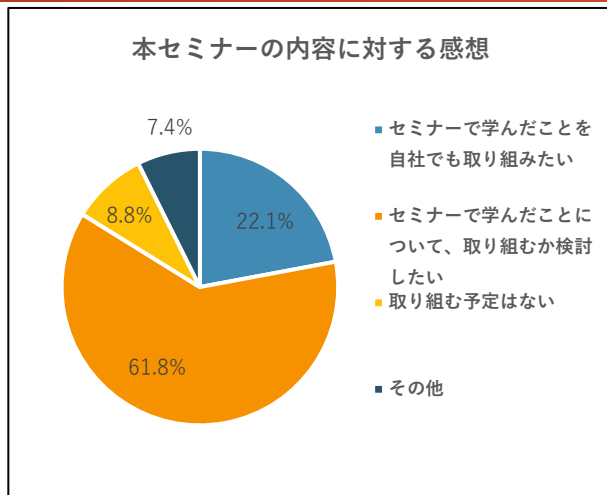
普通

- もう少し宿泊業のデータ活用例を紹介して欲しかったです。
- 事例についてもっと詳しく説明があればよかった
- データ分析、特にデータの入手可能先などについて、詳しい情報が欲しかった。
- データ活用についてはどのようにデータを取得するのかの部分をもっと聞きたかった。前半の説明はあまり必要なかった
- 生成AIの活用において知り得たこと。(アレルギー対応などすぐにでも導入したいと感じました)
- 特段新しい学びはなかった
- もう少し採用や人材確保(離職防止)、育成に繋がる内容があると良かったです。
- 省人化事例をもっと深掘していただきたかった。
- すでに導入しているツールが多かった。
- 前半は駆けあしで具体的な利用がもう少し見たかった。後半はもう少し事例が欲しい。特に申請のソリューションとしてないようなもの(除雪機や芝刈り機などもあるようだったので)そのあたりも知りたかった。
- 導入事例及びその効果の紹介をもう少し知りたい、支援を受ける手続き、条件等の案内を知りたかった。

やや不満

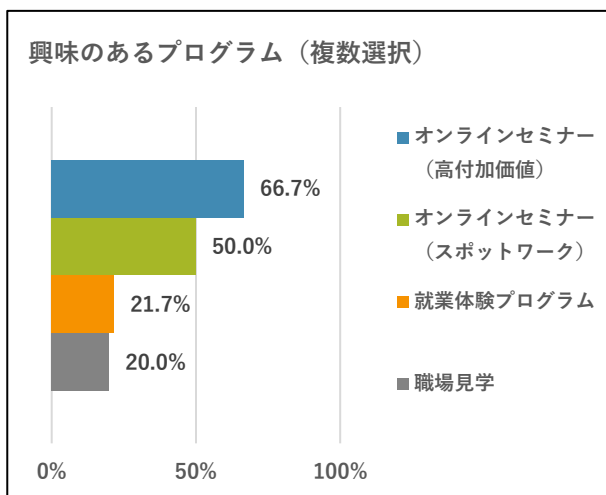
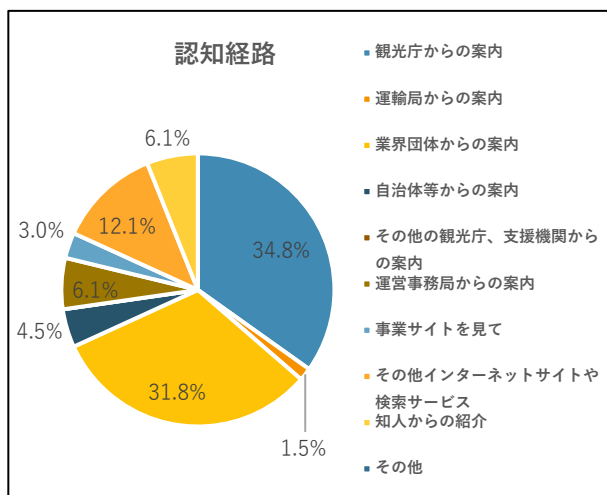
- 具体例が少なく、実際の業務に役立つことがなかったため

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会



その他

- 当連盟の活動の参考にしたい。
- 製品販売を行っているため、補助金の利用含めた形で宿泊事業者の方々のお役に立てるような提案が行えればと思います。
- 費用について説明がなかったので残念
- 既に取り組んでいる内容もあった
- ヒントを活かし自社に合ったデータ活用を検討したい
- 一部ある
- 本セミナーの内容を参考にして社事業に取り組みたい



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● 考察

本セミナーは、人手不足により宿泊業の経営課題が顕在化する中で、生産性向上や人材確保に向けた取組を見直す機会を提供することを目的に、データ分析や省人化に関する事例を交えたノウハウを共有した。データ分析の基礎的な考え方から省人化の事例までを体系的に整理して紹介したことで抽象的になりがちなテーマを分かりやすく伝えられ、参加者の理解促進につながったものと推測される。結果として、「満足」「やや満足」と回答した割合が73.5%となり、宿泊事業者が直面する課題に即したテーマ設定や、実務に直結する内容が一定の評価につながった。一方で、アンケートの自由記述では、紹介された事例について、導入に至るまでのプロセスや実施後の効果、運用上の工夫など、より踏み込んだ説明を求める声も多く見られた。今後は、成功事例における導入前後の変化や効果をより具体的に示すとともに、段階的な進め方や留意点を補足することで、実務担当者が自社での導入をより具体的にイメージできる構成とすることが求められる。

■ 宿泊事業者のための人材活用オンラインセミナー

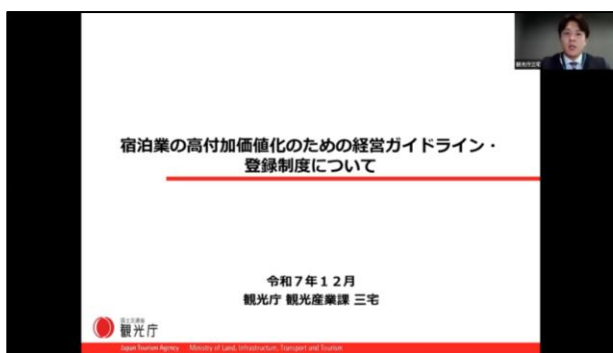
[テーマ：宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン]

開催日時：令和7年12月9日

講師：観光庁 観光産業課 三宅 智大 氏

参加者数：73人

● 実施風景



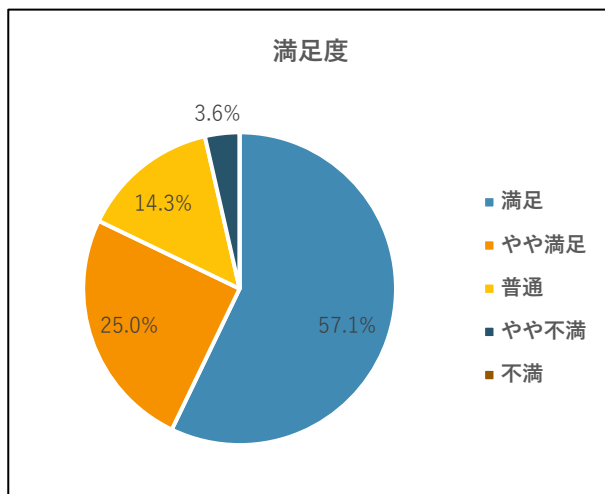
● 事前アンケート集計

関心事項等

- ・ 具体的に補助金の優先評価か、優先送客や案内なのか、登録団体へのメリットを詳しく聞きたい
- ・ ガイドラインをクリアするために、どのような課題を克服しなければいけないのか？
- ・ 登録について及び心のバリアフリー認定制度についてが特に聞きたい内容です。
- ・ どのように高付加価値をつけるか。
- ・ 手続きや準備の手順

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● 事後アンケート集計



満足度の理由

満足

- 基本的なところが分かりやすかった
- 高付加価値等旅館登録についてしることができました。
- 制度の基本的な内容やルール等について理解できた。
- 説明分かりやすかったです。
- 細かく丁寧な説明であった
- わかりやすい説明でした
- 内容が理解しやすかった
- 参考になりました。
- 準高付加価値化旅館と高付加価値旅館の違いを明確にすることができた。
- 制度についての申請の詳細について知ることが出来たため

やや満足

- 登録の道筋がわかり何をすべきかがわかった。
- ある程度理解した
- 心のバリアフリーについてももう少しあるとよかった
- 宿泊業の高付加価値化登録制度のメリット（事業者として経営のベースづくり、補助金の加算評価）を理解できた。
- 資料は事前に見ておきたかった
- 分かりやすかったため

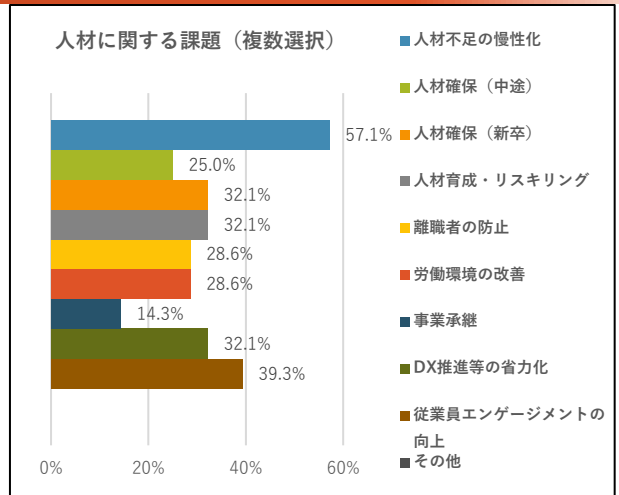
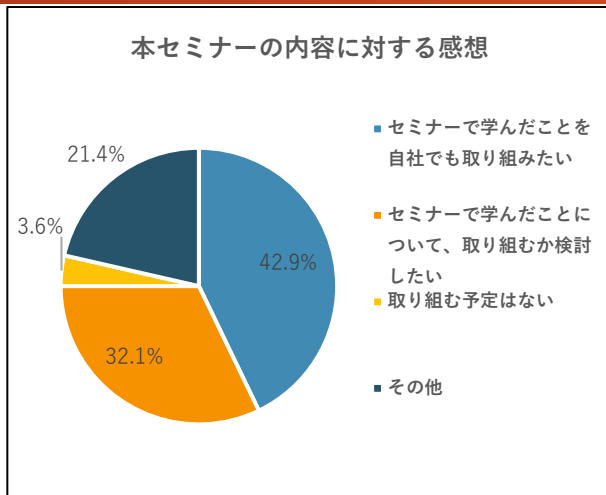
普通

- ある程度資料を読み込めばわかることではあったが、ポイントを強調されていたので良かった。
- 制度のアウトラインを把握することができた
- 枠組み自体の説明が主たる内容でした。読めば理解できる内容ですので、わかっているけどできない、その理由をどうやって解決するのか、という部分にウェイトを期待していました。

やや不満

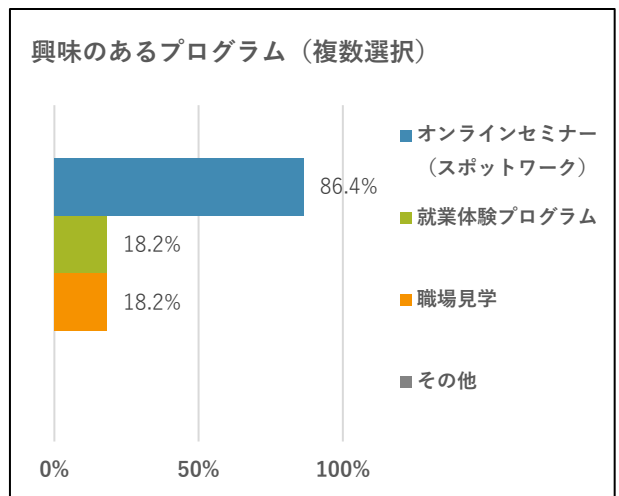
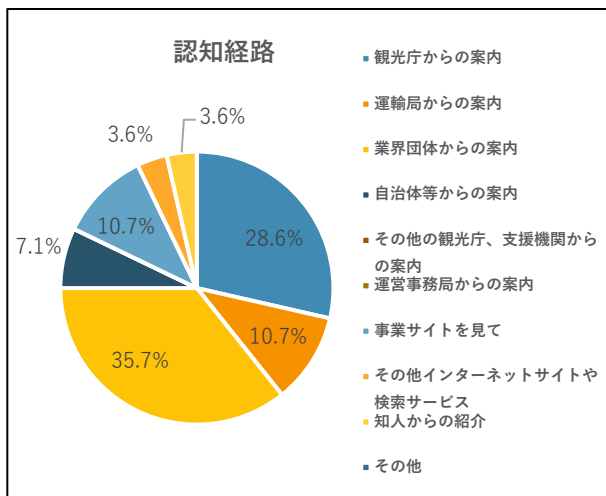
- ある程度資料を読み込めばわかることではあったが、ポイントを強調されていたので良かった。

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会



その他

- ・ 問い合わせの参考としたい。
- ・ 地域内の宿泊施設へのサポートに活かしたい
- ・ 取り組みたいがハードルが高い
- ・ 機会があれば会員に制度を紹介したい
- ・ 登録業務に取り組む上で活用していきたい。
- ・ お取引先に共有したい。



● 考察

本セミナーでは、「宿泊業の高付加価値化のための経営ガイドライン」および登録制度について、制度の趣旨や全体像、区分の違い、申請の流れといった基礎的な内容を中心に解説した。その結果、「制度の基本が分かりやすかった」「内容やルールを理解できた」「説明が丁寧で理解しやすかった」といった意見が多く、特に制度に初めて触れる参加者や理解が十分でなかった層に対して、制度理解の促進に効果があったと考えられる。加えて、登録制度のメリットとして、経営のベースづくりや補助金申請時の加点評価につながる点が理解されたことは、制度を経営戦略の一要素として位置づける認識の醸成につながったと言える。一方で、すでに制度概要を把握している参加者からは、実行段階における課題や具体的な取組事例への言及を求める声が挙がった。今後は、制度の基本説明を継続しつつ、実際に登録に至った事業者の事例や、導入時の課題工夫点を補足することで、「分かる」から「取り組める」へとつなげる内容構成とすることが、さらなる満足度向上につながると考えられる。

3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

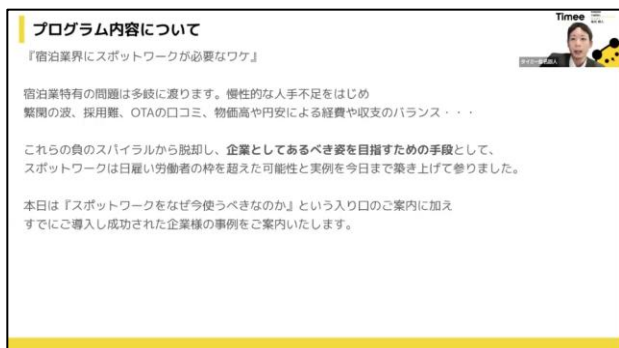
■ 宿泊事業者のための人材活用オンラインセミナー [テーマ：スポットワーク活用]

開催日時：令和8年1月14日

講師：株式会社タイミー 市場開発部 広域統括G
ソリューションパートナー 島名 朗人 氏
株式会社タイミー 北野 智史 氏

参加者数：37人

● 実施風景



プログラム内容について

『宿泊業界にスポットワークが必要なワケ』

宿泊業特有の問題は多岐に渡ります。慢性的な人手不足をはじめ
繁閑の波、採用難、OTAの口コミ、物価高や円安による経費や収支のバランス・・・

これらの負のスパイラルから脱却し、企業としてあるべき姿を目指すための手段として、
スポットワークは日雇い労働者の枠を超えた可能性と実例を今日まで築き上げて参りました。

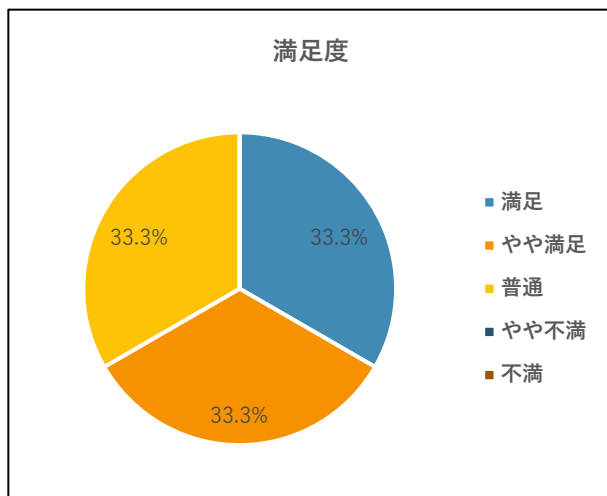
本日は『スポットワークをなぜ今使うべきなのか』という入り口のご案内に加え
すでにご導入し成功された企業様の事例をご案内いたします。

● 事前アンケート集計

関心事項等

- 要因不足解消について。
- 既存従業員（客室清掃スタッフ）から短時間来られても・・・という声があるまた、毎回違う人が来た場合、毎回同じ説明しないといけない時間は非効率との声もある
- スポットワーク導入事例
- 宿泊業におけるスポットワークの先進的な導入事例。裏方以外の活用方法が有れば教えてください。
- 既にお世話になってますが、ワーカー母集団の増やし方について成功事例があれば披露ください。

● 事後アンケート集計



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

満足度の理由

満足

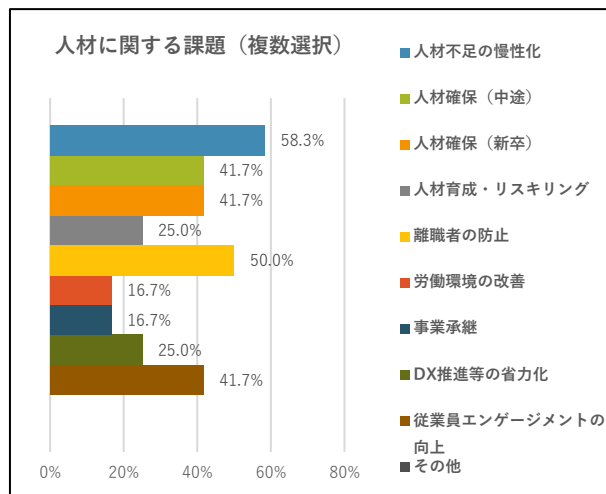
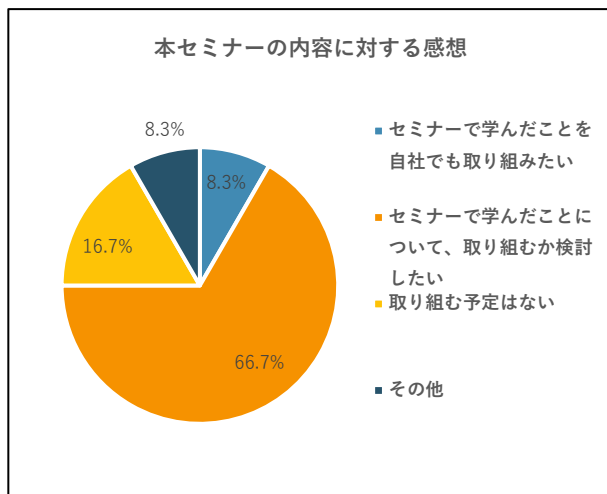
- 具体的な事例が分かりやすい
- スポットワークについてメリットや実際の声などを理解できたため。
- 専門的な事例もあり、わかりやすかった。
- 分かりやすい説明でした。

やや満足

- 事例紹介、質問の回答も丁寧でわかりやすかったです。
- スポットワークの認知度は拡大しており、1年半前に当連盟の3600会員の活用調査をタイミー様をお願いしたところ54%でした。活用実績がある施設にとっては、利用価値を高めるための手法やノウハウを求めています。今回は未活用対象向けの内容と思われましたので、次回はステップアップのウェビナーを実施していただきたいです。

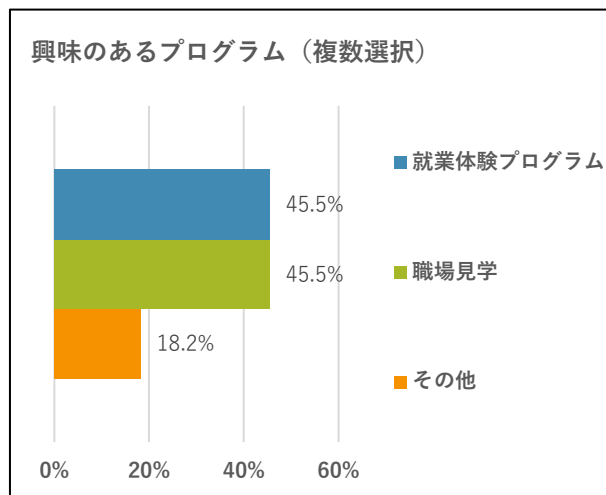
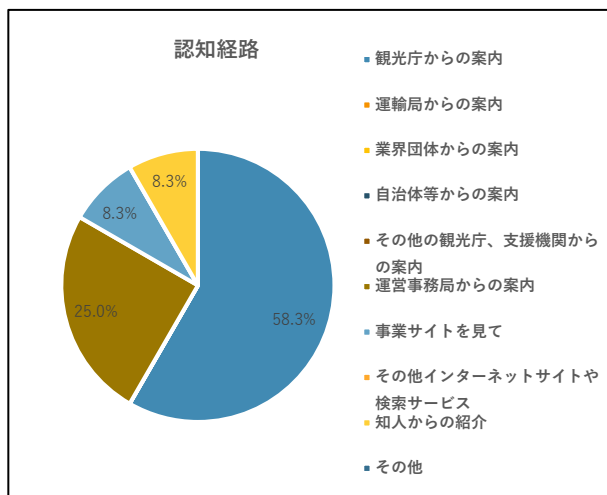
やや満足

- それなりに事例が紹介されていたが、やや具体性に欠けたため



その他

- 知識習得になりました



3. 宿泊事業者向け人材活用セミナー相談会

● 考察

本セミナーは、宿泊業界が直面する人手不足や採用難を背景に、スポットワークを人材確保の新たな選択肢として認識してもらい、今後の人材戦略を検討するきっかけを提供することを目的として実施した。具体的な導入事例や現場の声を交えてスポットワークの活用実態を紹介したことで、メリットや活用イメージを具体的に伝えることができた点が評価できる。必要な時間帯や業務に限定して人材を確保できる柔軟性の高さについて理解が進み、人手不足対策の一つとしてスポットワークを検討する契機となった。一方で、アンケート結果では、「学んだことを自社でも取り組みたい」と回答した割合が8.3%、「取り組むか検討したい」が66.7%となり、直ちに実行へ踏み出す意向を示した層は限定的だった。スポットワークは業務の切り出しや受け入れ体制の整備など、導入・運用にあたって検討すべき事項が多い手法でもあるため、今後は検討段階から実行段階へとつなげる情報提供が求められる。

(3) 全体考察

● 実施手法・運営面について

対面開催の最大のメリットは、質疑応答等を通じて参加者と講師との間に双方向のコミュニケーションが生まれ、参加者一人ひとりの疑問や課題に応じた内容の深掘りがしやすい点にある。今後、対面開催の参加者を増やしていくためには、少人数での質疑応答や意見交換の時間を設けること、地域や事業規模が近い参加者同士の対話機会を創出することなど、対面ならではの特性をより明確に打ち出し、現地参加を選択する動機づけを行うことが重要である。一方で、宿泊業は現場業務の制約が大きく、移動や時間確保の負担から対面参加のハードルが高い側面もあり、オンライン開催と比較すると参加者数は限定的となる傾向が見られる。こうした点を踏まえ、今後対面開催を実施するにあたっては、ハイブリッド形式およびアーカイブ配信を継続することで、当日参加が難しい事業者に対しても参加機会を確保し、機会損失を防いでいくことが重要である。

● セミナーの効果と課題

アンケート結果等からは、内容への理解や関心は高いものの、実践に踏み出せず検討段階にとどまる事業者も見られた。セミナーへの参加を通じて得られた情報や気付きは多い一方で、それらを実践につなげるまでには様々なハードルが存在しており、理解と行動の間には段階的な支援が必要であることがうかがえる。こうした課題を解決するためには、セミナー内外において「最初の一步」を具体的に示すことが重要であると考えられる。また、セミナー後に就業体験プログラム等の関連施策へ接続することで、各事業者の状況に応じた判断や実行を後押しすることが可能となる。着手しやすい具体的な第一歩の提示に加え、セミナー後の相談対応や関連プログラムへの接続、アーカイブを活用した継続的な情報提供を組み合わせることで、参加者が自社の状況に応じて無理なく実践へと進める環境を整備していくことが重要である。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

(1) 実施概要

主にこれから就職活動を迎える学生等を対象に、宿泊業で働く魅力について体験を通じて理解を深め、将来の就職先として具体的に検討できる機会の創出を目的として、複数日程での就業体験プログラムを実施した。

プログラムは学生の夏季冬季春季の長期休暇での実施を想定。1事業者のみでの実施だけでなく、業界団体や地域団体が窓口となり複数の事業者が合同で実施する形式も含め、年間6件のプログラムを実施した。開催地域によっては、学生人口が少ないなど、集客に苦戦することが想定されること、参加学生の負担軽減の観点から交通費を補助することとした。

多くのプログラムで定員を超える申込を獲得し、また高い満足度を得ることができた。

※本事業は令和5年度より産学協議会により定義されたインターンシップを類型のうち「①オープンカンパニー」または「③汎用的能力専門活用型インターンシップ」の実施を想定し、受け入れ事業者と調整した。全てのプログラムが①型での実施となったため、個別プログラムでは「インターンシップ」の呼称は使用しなかった。

● 実施したプログラム概要

プログラム名	開催日時	場所	実施形態	定員
① 「別所温泉」で若旦那若女将密着体験！	令和7年9月3日～5日	長野県上田市別所温泉	合同開催（4社）	30
② 「大歩危祖谷地区」宿泊業で就業体験プログラム	令和7年9月8日～10日	徳島県三好市大歩危祖谷地区	合同開催（5社）	8
③ JR東海グループのホテルで2daysの就業体験プログラム！	令和7年12月14日～15日	愛知県名古屋	単独開催	30
④ JR東海グループのホテルで2daysの就業体験プログラム！	令和7年12月25日～26日	愛知県名古屋	単独開催	30
⑤ おもてなし旅館の魅力を知ろう！旅館での就業体験&地域体験	令和8年2月5日～6日	長野県諏訪市	単独開催	8
⑥ 史と未来をつなぐおもてなしを現場で学ぶ2daysの就業体験プログラム！	令和8年2月14日～15日	広島県尾道市	単独開催	15

※ 実施形態について

宿泊事業者の中には、事業者の規模等により単独での実施が困難なケースも想定し、本プログラムでは業界団体や地域団体をハブにした合同での開催も可能とした。地域の複数の宿泊事業者が合同で受入れることで、参加者の宿泊等や運営に係る事業者の負担軽減に加え、参加者募集時のスケールメリットにより、実施地域外からの参加者を獲得することができた。また、多数の参加者が集まることで地域との交流が活性化し、宿泊業での仕事だけでなく、地域の魅力に触れる機会を創出した。

(2) 実施の流れ

各インターンシップ就業体験プログラムは、概ね以下の流れで実施した。

① 受入れ企業の募集選定

受入事業者の募集にあたり、まずは業界団体に対して本事業全体の説明と合わせて、インターンシップ就業体験に関する要望のヒアリング実施した。その後、各業界団体を通じて加盟宿泊事業者に本プログラムを案内し、関心の有無を確認した。また、本事業の一環で実施した宿泊事業者向けプログラムに参加した事業者や、当社および本プログラムの再委託先として連携した株式会社エイチアイエスと取引実績を有する宿泊事業者に対して本プログラムを案内し、関心のある企業を募った。

候補企業全社に対して、個別に実施時期、期間、受入れ可能人数、事前の準備等について確認した上で、実施の可否について再度検討していただき、最終的に6件がプログラム化された。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

② プログラムの作成

全ての実施団体または実施事業者と、事前に本プログラムの趣旨理解及びプログラムの内容を検討するための打ち合わせを実施した。

本プログラムは学生等への魅力発信と同時に、受け入れ事業者に対して、昨今の新卒採用において主流となっている就業体験の導入に向けたノウハウ習得機会としての側面も持たせるため、カリキュラムは運営事務局のアドバイスのもと、原則各事業所が作成した。

フロント業務や料飲部門（調理補助は配膳補助）、館内設備の清掃や保守等、いずれも実際に行われている業務が組み込まれた。また体験が困難な業務については、見学や社員との交流等を実施することで補完した。また、就業体験の他には、事業所の魅力を体験する機会として、実際に提供されている食事の体験や地域資産の見学、また実施事業者が抱える課題についてのワークを実施する等、各事業所での工夫が見られた。

③参加者の募集

策定したプログラムは本事業サイト及び当社が運営する就職情報サイト「Re就活（転職希望者向け）」及び「Re就活キャンパス（学生向け）」に掲載し、また各サイトで申込の受付を行った。また各プログラムのPRの一環として、プログラムの特徴が分かる名称をそれぞれ策定した。

参加者募集のための周知広報は、実施事業者と相談の上、周知する地域や対象を選定し、以下の方法で実施した。

※集客結果は各プログラム詳細に記載

メディア	内容	使用したプログラム
WEBSNS広告	Google、Yahoo、Meta (Instagram、facebook) 等の配信サービスを活用し、プログラム開催地域や近隣の都市部で、対象となる年代層や関心領域のユーザーに対して広告を配信した。 各メディアにおける出稿量は、広告費用やクリック数クリック率等をAIがこまめに分析調整し、最適化を図るプログラムを活用した。	⑤⑥
「Re就活」 「Re就活キャンパス」ユーザーへの周知	当社が運営する各就職情報サイトのイベント情報ページに開催情報及び申込フォームを設置。各サイトの会員ユーザーに対してダイレクトメール（1開催あたり約50,000件）を配信した。	①②⑤⑥
メルマガ登録者への周知	本事業で実施した大型就職イベントを活用した魅力発信においてブースに訪問した求職者や、事業サイト内のフォームで登録したユーザー（約250人）に対してプログラム情報を案内した。	①～⑥
関係機関との連携	①別所温泉地域でのプログラムは、日本学生観光連盟が実施する就業体験プログラムと連携して実施した。参加者募集においても日本学生観光連盟内でプログラムの周知及び申込受付を実施した。	①

④ オリエンテーションの実施（合同開催のみ）

単独開催と異なり、複数の事業所に分かれてプログラムに取り組むことになり、全体へのインフォメーションの機会に限られることから、合同開催でのプログラムは開催の概ね1週間前に、オンラインでオリエンテーションを実施した。

オリエンテーションでは参加に際しての注意事項やプログラムの詳細説明のほか、受け入れ事業所や地域の魅力について紹介をすることで、参加者へのプログラムへの意欲の醸成を図った。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

⑤ 当日運営

全プログラムに運営事務局が随伴し、運営をサポートした。
各開催の冒頭に、本事業の趣旨説明を実施し、また終了時にはアンケート及び参加者の交通費補助に申請受付を実施した。プログラムについては実施事業所と事前に調整し、必要に応じてその一部を事務局が運営した。

⑥ プログラム終了後の対応

プログラム終了後、実施事業所に確認が取れたプログラムについては、実施内容について紹介するレポートを作成し、事業サイトで公開した。

レポートは参加できなかった学生等への魅力発信と同時に、本プログラムの実施に関心を持つ企業に対して実施事例として紹介した。



実施レポート

(3) 実施結果（目標：100人、結果107人、達成率107%）

今年度は年間100人の参加者獲得目標に対して、122人の参加枠を設け、107人が参加した。プログラムの性質上、定員以上の受入ができず、直前のキャンセルをカバーすることが困難だったが、予約者へのこまめに連絡を取ることで、多くのプログラムで8割以上の参加率となり、全体の目標を達成することができた。

プログラム名	場所	受入事業者	定員	申込人数	参加人数
① 「別所温泉」で 若旦那若女将密着体験！	長野県上田市 別所温泉	旅宿 上松や かしわや本店 南條旅館 緑屋	30	26	25
② 「大歩危祖谷地区」 宿泊業で就業体験プログラム	徳島県三好市 大歩危祖谷地区	大歩危温泉 サンリバー大歩危 祖谷渓温泉ホテル秘境の湯 ホテルかずら橋 ホテル祖谷温泉 峡谷の湯宿 大歩危峡まんなか	9	12	7
③ JR東海グループのホテルで 2daysの就業体験プログラム！	愛知県名古屋市	JR東海ホテルズ	30	30	29
④ JR東海グループのホテルで 2daysの就業体験プログラム！	愛知県名古屋市	JR東海ホテルズ	30	30	28
⑤ おもてなし旅館の魅力を知ろう！ 旅館での就業体験&地域体験	長野県諏訪市	株式会社井口 浜の湯	8	25	6
⑥ 史と未来をつなぐおもてなしを 現場で学ぶ2daysの就業体験プログラム！	広島県尾道市	尾道国際ホテル	15	23	12
		合計	122	146	107

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

■ 「別所温泉」で若旦那若女将 密着体験！

● 実施概要

- 開催日時 : 令和7年9月3日(水)～5日(金)
 開催場所 : 長野県上田市 別所温泉
 参加人数 : 25人(定員:30人/申込人数:26人)
 実施事業者 : 上松や、かしわや、南條旅館、緑屋
 連携機関 : 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会:受入事業所の誘致、会場等手配 他
 日本学生観光連盟:参加者募集



参加者受入事業者

● 開催までの流れ

① 開催に向けた準備

本事業は、例年全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会(全旅連)青年部と日本学生観光連盟(学観連)により毎年実施されている「若旦那若女将密着体験プロジェクト」と連携し、実施した。

全体のプログラム設計、参加者の一般公募及び参加者の移動手配は主に運営事務局が担務し、受け入れ事業者及び学観連との連絡窓口を全旅連青年部が担い、会期中のプログラム運営に必要な食事や宿泊場所等の手配を担った。

② 参加者の募集

参加者は学観連での募集と並行して、本事業サイト及び「Re就活キャンパス」を活用し一般公募を実施し、全体で26人が申込となり、25人が参加した。



事業サイト募集ページ(左)
Re就活キャンパス募集ページ

③ 事前オリエンテーションの実施

会期中全員が集合する機会が限られることもあり、開催1週間前に参加者向けにオリエンテーションを実施した。本プログラムの狙いと3日間を通じて実施するグループワークの内容を事前に伝えることで、参加に向けた準備を促進し、プログラムの充実を図った。

● プログラム内容

日程	時間	プログラム内容
1日目	12:45	入所式
	13:00	セミナー 別所温泉の地域の魅力について グループ分け、3日間を通じたワークの説明
	14:00	フィールドワーク①: 地域魅力発見
	17:30	振り返りミーティング
	18:00	夕食(上松や)



フィールドワーク

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

日程	時間	プログラム内容
2日目	7:30	朝食
	8:30	各旅館にてグループごとに就業体験
	18:00	「上松や」にて夕食
3日目	7:30	朝食
	9:30	フィールドワーク② 報告会の準備等
	11:00	報告会、グループワークの発表
	12:00	休憩昼食
	13:00	退所式



職場体験（調理）

● 就業体験について

グループごとに4事業所に分かれ、各事業者が事前に用意したカリキュラムに沿って就業体験を実施した。

実施内容

- 上松や : フロント、設備、客室温浴施設清掃、調理 等
- かしわや : フロント業務体験、ロールプレイ、館内見学、交流会 等
- 南條旅館 : 館内見学、フロント業務体験等
- 緑屋 : 館内見学、グループワーク 等

昼食は全旅連が手配し、各受入事業者のスケジュールに従ってグループごとに昼食会場に移動した。

● グループワークについて

3日間を通じて「就業体験先の宿泊施設の改善」をテーマに据え、フィールドワークと就業体験を通じて発見した地域や各事業者の魅力、課題等をまとめ、3日目の報告会でグループごとに発表した。

1日目のフィールドワークは別所温泉で旅行者が訪問する観光施設等をグループごとに散策した。

3日目のフィールドワークは大雨のため、館内でのグループワークに変更し、発表に向けた準備を行った。



グループワークの発表

グループA（上松や）

【REPORT】
上松や
旅行プラン

グループA
2023年5月5日

【DAY 1】

お昼が多い

上松や温泉旅館は温泉が中心の宿舎。温泉が中心の宿舎のため、お昼が多いです。

地元食材

地元の食材を使った料理を出しているお店。ここではお昼に地元食材が食べられます。

【DAY 2】

上松やの紹介

- アニメや歴史上の人物とのコラボ
- 1人旅の旅行者向けの設備やプラン
- SDGsを意識した取り組み
- 非公開のおもてなし

【旅行プラン】

日本文化に興味のある外国人1人旅向けプラン

日	内容
1日	変換ちゃんこラーメン
2日	ガイドツアーメランジャーサービス
3日	温泉の旅行サービス

グループB（かしわや）

【就業体験について】

▷内容

- 接客業務体験
- フロント業務のシミュレーション
- 設備などのフィールドワーク

▷ポイント

- 接客業務体験は1人1人異なる
- 接客業務体験は1人1人異なる
- 接客業務体験は1人1人異なる

【かしわやの現状】

客単価

約 4,500円

客数

約 100名

客室

100室

滞在料

約 1,000円

※客単価は1人あたり

【改善プラン】

▷アフターサービス

- 1人旅の旅行者向けの設備やプラン
- SDGsを意識した取り組み
- 非公開のおもてなし

※SDGsを意識した取り組み

※非公開のおもてなし

【まとめ】

大人のための静かな高級宿

人の少なさを逆にとったブランディング

客室を指定し、満足度UP

リピーターを増加させ自己集客率を高める

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

グループC (緑屋)

「緑屋」PR戦略 OnLine

- SNS活用
Instagram, TikTokへのロール投稿
- アピールポイント
(一棟貸切、貸切温泉、温泉掛け流し、Welcome Baby、オープン3年目)
- *TikTokは、Instagramと内容が同じにならないように投稿(SNSごとに差別化するため)

「緑屋」集客プラン 概要

- 特典① 無料温泉飲み券プレゼント(別所温泉内) → ②-③
- 特典② 温泉宿泊プラン+宿泊費割引
東京駅から新幹線最上駅から別所温泉行き往復切符セブ割引
通常往復13,700円(片道6,850円) → 9,300円 **★30%割引**
- 特典③ 貸切バスプラン+宿泊費割引
東京駅から別所温泉までの往復貸切バス
通常往復10,000円(3,700円/人) → 8,147円 **★15%割引**

グループD (南條旅館)

別所温泉での旅行プラン

50~60世代の方、小さいお子様連れの家が多い
ゆるゆる
若い女性グループを層やしたい

自然と静寂を活かしたまちづくり

- 地域住民と観光客の交流の場
- SNSの発信活用、オプスターの作成
- 宿泊で気軽に体験できる環境づくり
- 観光客向けの連携

学親連で例年本プログラム後、しばらく期間をおいて実施される報告会をプログラム内に組み込むことで、全ての参加者が、プログラムを体験して得た知見やアイデア、感想をシェアすることができるため、報告会をプログラム内で実施した。報告会はオンライン中継で関係者にも配信した。

各グループの発表後、各受入事業者の担当者と本プログラムに随伴した全旅連青年部より発表内容についての講評を行った。短期間ながら地域の特色、旅館の特色を捉えたアイデアが高く評価された一方、地域の宿泊業の抱える課題等に対してさらに深い理解を期待する評価の声も挙げられた。

● アンケート

Q.プロジェクトを通じて得られたこと

- 旅館の方々が普段どのような苦勞をされているのかや社長とお話させて頂いて、経営者目線としての苦勞や楽しみなどを知ることが出来んな目線から旅館を知ることが出来た。
- おもてなしとサービスの違い
- ゲストのことも経営のことも両立して経営できることがとても大事でそれを両立するのはとても大変だということが勉強になりました。
- 旅館の裏側を知ることが出来た。
- 旅館な従業員の1日の動きや、その旅館に対する想いやこだわりなどを詳しく学ぶことができて、勉強になりました。
- ホテルではなく旅館の経営の課題
- 宿泊業の方たちの地域に対する思いが伝わってきて、たんなる仕事の枠組みに収まらない意欲が勉強になった
- 旅館は旅館でもいろんな種類、ターゲット層があるなと勉強なった。歴史のある旅館の中で想像は一緒の内容であると考えていたが、実際は聞けば聞くほど違いに気づくことができて面白かった。
- 旅館業の仕事
- 旅館業の裏側を知ることができ、人に喜んでもらうホスピタリティを学ぶことができた。
- 現場の方の声を聞くことができ、宿泊客に対してどのような精神でサービスをしているのか知ることができました。また実際に旅館の裏側を見せて頂いたことで、旅館内の工夫を体感することができました。
- ペルソナ像を作る大切さ
- 何か案を考えるとときに5W1Hを意識して考えることで抽象的ではなく、具体的に現実的な案を考え出すことができた

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

- プレゼンの準備の話し合いのときに色々な視点からの疑問や本来考えたい企画からズレていないかを常に気にして企画していかないとどこかでねじれが生じてしまうなど学びました。
- 発表のアドバイスを沢山頂いて今後のゼミでも生かせると思いました。
- 別所温泉などの魅力や課題、それに対する対策をプレゼンテーションすることが難しかったのですが、人にわかりやすく伝えるにはどうすればいいのか、学ぶことが出来ました。
- 旅館や地域の特性を生かしたprの方法
- 旅館業のお仕事や経営はもちろん、最後のプレゼンにて有難いお言葉や、過程を通して現実的に考えることやプレゼンにて大切なことなどをたくさん学ぶことができた。
- 経営されている社長のお話を直に聞いたこと。団体行動を取り締まる難しさ。情報共有の大切さ。

Q.プロジェクトを通して宿泊業に対する興味イメージの変化はありましたか？

- 更に宿泊業に興味を持ちました。
- 旅館は中抜けなどがあつたり、しっかりとした休みが無く、大変なイメージがあつたのですが、その中でも皆さんそれぞれ自分の役割に誇りを持って誠実に付き合っていたので大変なことばかりではないということに気づかされました。
- 今までホテルしか印象がなかった宿泊業に関して、旅館という新しい分野の視野も広げることができホテルとはまた違った日本の良さなどを伝えることが好きな人に対してすごく魅力的だと感じました。
- 接客だけでなく裏の企画や、実際に旅館にいて接客等をする人だけでなく、今のインターネットの技術も含め沢山のところからの支援ももらって支え合つてこそその宿泊業だなと感じました。
- 旅館の課題がよくわかつた
- 実際に話を聞くことで、より解像度が上がった
- 現実アナログな面が多く残っているなど感じた。
- より一層宿泊業の魅力を感じました。
- 私は以前から宿泊業界に関心を持っていましたが、今回のプロジェクトを通して接客だけではなく、経営や観光業全体を支える仕事にも興味を持つようになりました。人を喜ばせるためにはどうしたらいいのか、ということを目なさんが集まつて試行錯誤されていることを体感できたことが強く印象に残っています。
- 万人に受ける旅館経営よりも、ターゲット層を絞ることが重要なことを知れた。
- 宿泊施設がお客さん、地域住民、地域の環境に影響を与えているとこ。
- プロジェクトを通して、旅館同士がライバルと言う認識ではなくて、地域全体を盛り上げていくという考え方や改善案が多いことに驚きがあつた
- 全てスマホ完結の旅館があること。しかしそれはクレジット支払いのみであつて、クレジット番号を打ちたくない人は中に入るので難しいなどと思つたが、ターゲット層を絞っていると聞きし、納得した。
- 宿泊業の裏側を知るといふ貴重な経験ができて良かった。
- キラキラしているイメージがあつたが、裏では沢山の努力をしている。
- 自分は宿泊業ではなくて観光業の方に携わりたいかなと明確になつた

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

● 考察

本プログラムは、これまで全旅連青年部と学親連が取り組んできた「若旦那若女将 密着体験プロジェクト」をベースに、本事業の目的にも沿うようにプログラムを調整することで実施した。参加者の多くは学親連に所属しており、前年度の同プログラムに参加した経験を有する学生もいたが、前年度は異なる設計、趣旨のプログラムに対しても前向きに取り組む姿勢が見られた上、新しい発見、気づきを得たという感想も見られ、概ね趣旨に沿う企画運営ができたものと考えられる。

● 本プログラムの企画について

今回は、就業体験の実施だけでなく、就業体験を含むすべてのプログラムを通じて得られた知見や経験を活かして「就業体験先の宿泊施設の改善」について、最終日にグループごとに案をまとめて発表する形態とした。本形態を採用した背景は以下の点が挙げられる。

- 学親連より、前年度はまでは報告会をプログラム終了から数カ月後に実施しており、参加できない参加者もいたためフィードバックが得られないケースがあったこと。
- 開催時期は閑散期に当たり客室稼働率が下がるため、就業体験だけでは時間を余してしまう可能性があること。
- 学親連会員が多く、もともと宿泊業に対して一定の理解を有しているため、体験するだけでなく体験を活かした考察を求めることが可能であること。

本プログラムにより知識として理解を深めただけでなく、プレゼン内容を検討する過程で他の観光地や宿泊施設と比較や現在のマーケット全体の中の位置づけ、利用者のペルソナなど多面的に宿泊業について捉えようとする取り組みが各グループで見られた。

宿泊業の仕事は、勤務形態や人手不足が顕著な業界の一つであることから、学生の中には過酷な職業という印象を持つ学生もしばしばいる中で、仕事そのものへの理解に留まらず、その仕事を持つ意義や貢献性について気づきを得たかの感想も見られたことは、本事業の目的である「宿泊業の魅力を理解する」観点でも効果的な取り組みであったと考えられる。

● 運営について

全体でのプログラムは運営事務局が進行し、各事業所での就業体験は各事業所で実施し、運営事務局は実施状況を確認し、必要に応じて事業所の運営をサポートした。

「若旦那若女将密着体験プロジェクト」は毎年実施されているもので、全旅連の中でもこれまでの取組が共有されているため、受入に際して必要な準備を各事業者が把握できていた。当日は天候が不安定だったが、その点も考慮され柔軟な取り組みが見られた。

また学生の管理については、現地で学親連役員とこまめに連絡を取りあうことで、必要なインフォメーションもスムーズに行き渡らせることができた。本プログラムのように、複数の事業所に分かれたプログラムを進行する場合、連絡手段の確保が重要であり、連携体制に応じた連絡フローの構築が不可欠であると言える。

● 課題と改善点

実施日と実施可能な内容について

閑散期に実施することは、受入事業者側の対応人員の確保においてはメリットがあるものの、参加者に対しては実際の業務が見えづらだけでなく、閑散とした印象がネガティブなイメージを与えることが懸念される。また就業体験の内容においても利用者がいないため、食事の提供や清掃等の宿泊業務の稼働がなく、説明のみに留まるケースも見られた。

受入事業者の対応が可能な範囲で、より実務的な体験が可能な時期を選択できないか、検討が求められる。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

■「大歩危祖谷地区」宿泊業で就業体験プログラム

● 実施概要

- 開催日時 : 令和7年9月8日(月)～10日(水)
 開催場所 : 徳島県三好市 大歩危祖谷地区
 参加人数 : 7人(定員:9人/申込人数:12人)
 実施事業者 : 大歩危温泉 サンリバー大歩危
 祖谷渓温泉ホテル秘境の湯
 ホテルかずら橋、ホテル祖谷温泉
 峡谷の湯宿 大歩危峡まんなか
 連携機関 : 大歩危祖谷いってみる会:就業体験の受け入れ
 一般社団法人そらの郷:地域体験プログラムの運営協力
 四国運輸局:前年度実施、オブザーバー



参加者受入事業者

● 開催までの流れ

① 開催に向けた準備

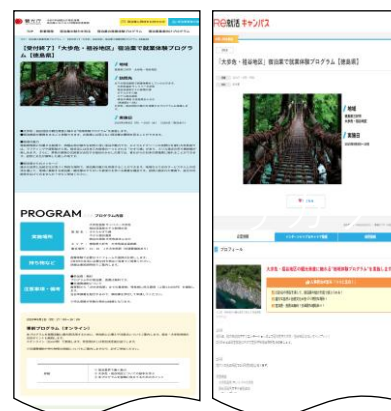
本プログラムは、昨年度に四国運輸局が実施した就業体験プログラムの後継として、参加者エリアを広げて実施した。実施にあたり、大歩危祖谷温泉郷の複数旅館で形成される「大歩危祖谷いってみる会」および「一般社団法人そらの郷」と連携し、プログラム全体を設計した。参加者の公募、受け入れ事業者での体験プログラムの調整は運営事務局が担当した。

② 参加者の募集

参加者は本事業サイト及び「Re就活キャンパス」を活用し募集し、全体で12人が申し込み、7人が参加した。

③ 事前オリエンテーションの実施

会期中全員が集まる機会が限られることもあり、開催1週間前に参加者向けにオリエンテーションを実施した。本プログラムの狙いと3日間を通じて実施する就業体験の内容を事前に伝えることで、参加に向けた準備を促進し、プログラムの充実を図った。



事業サイト募集ページ(左)
Re就活キャンパス募集ページ

● プログラム内容

日程	時間	プログラム内容
1日目	12:30	昼食オリエンテーション 就業体験先の案内
	13:30	地域体験 大歩危峡観光遊覧船 乗船 祖谷のかずら橋 道の駅、周辺の散策 そらの郷によるガイドを実施
	17:00	夕食交流会 ホテルかずら橋にて実施 地域食材による夕食と受け入れ施設の方との交流を通じて、地域の魅力理解を深めた
	19:30	就業体験先の宿泊施設に移動、館内見学



地域体験



夕食交流会

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

日程	時間	プログラム内容
2日目	終日	各宿泊施設で就業体験プログラム
3日目	7:30	朝食
	午前中	各宿泊施設で就業体験プログラム ※2日目の続き
	12:00	昼食 終了オリエンテーション 感想の交換 事業者、四国運輸局からの総評
	13:30	終了



職場体験（食事会場の準備）

● 就業体験について

5事業所に分かれ、各事業者が事前に用意したカリキュラムに沿って就業体験を実施した。

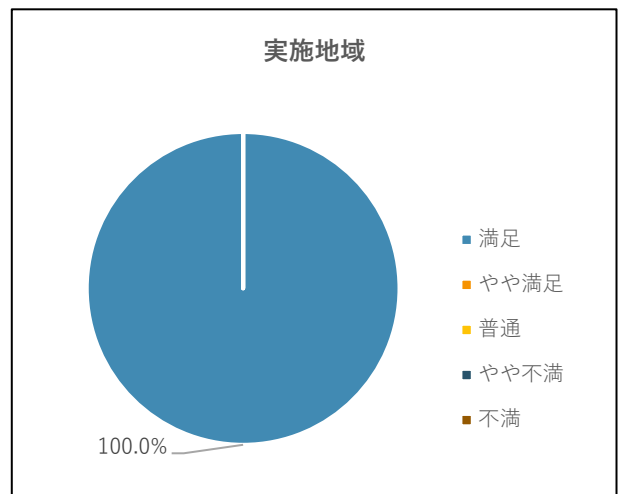
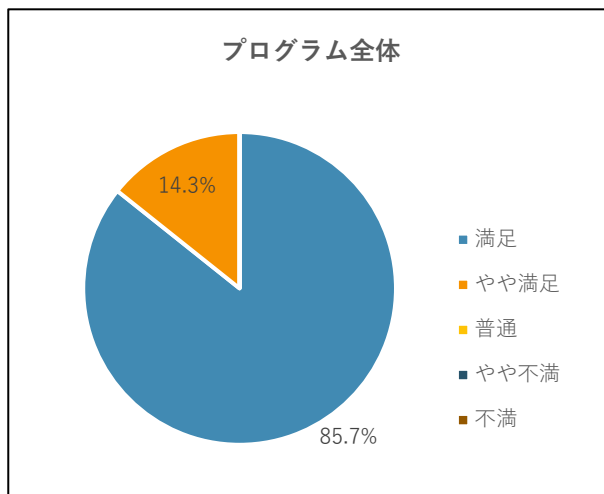
実施内容

サンリバー大歩危：フロント、客室清掃 等
 ホテル秘境の湯：フロント、食事会場の準備 等
 ホテルかずら橋：フロント、調理 等
 ホテル祖谷温泉：客室清掃、案内業務 等
 大歩危峡まんなか：フロント、調理 等

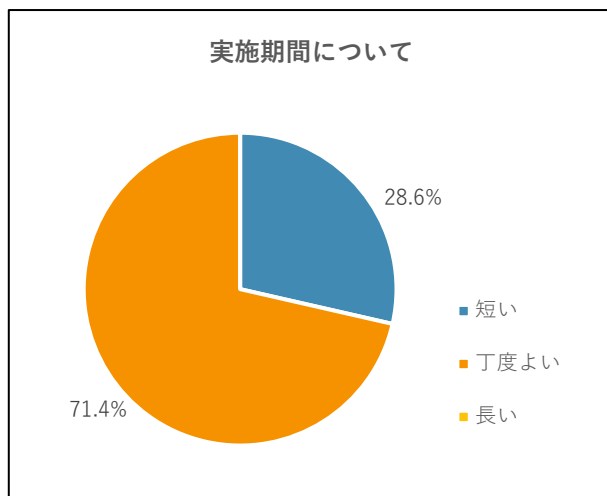
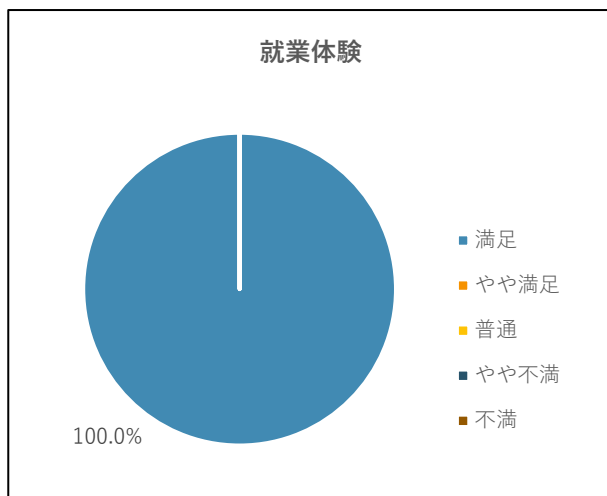
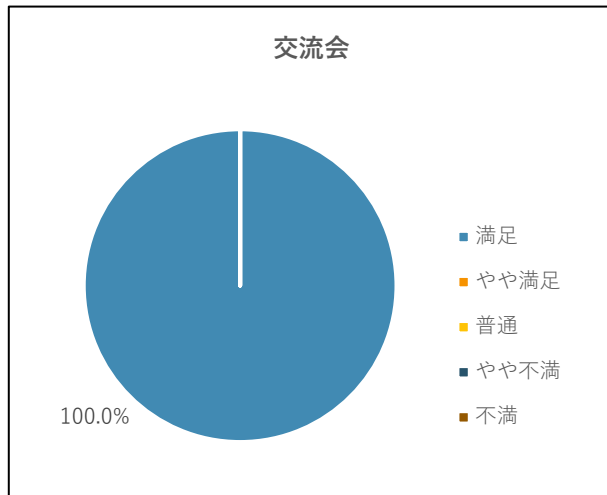
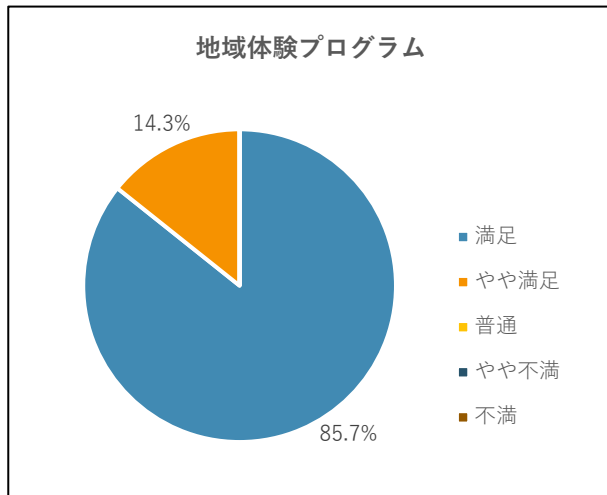
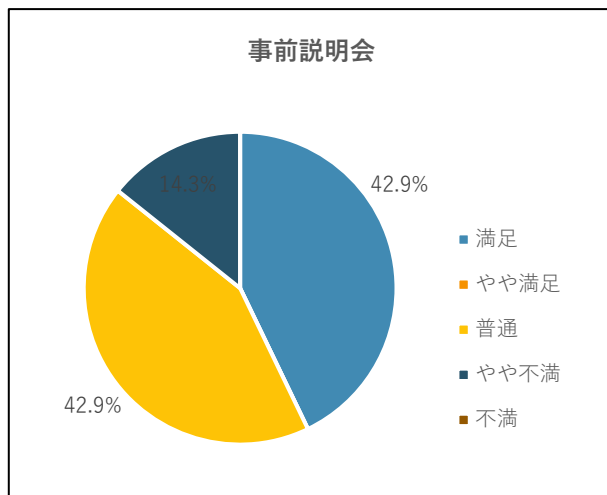
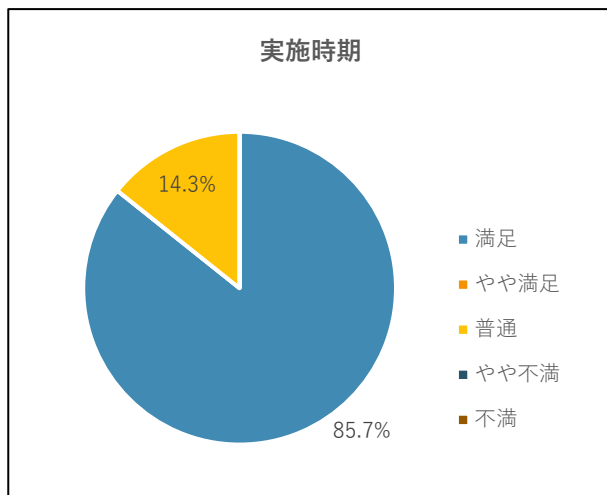
各施設1~2名の少人数で実施した結果、参加者が業務に深く関与し、職務内容の理解を深める機会となった。施設によっては、フロントでの接客や館内案内、調理補助等、実務に即した体験が実施された。参加者は担当業務に責任をもって取り組む姿勢が確認され、就業体験の充実につながった。なお、レクチャー担当者への質問や意見交換も活発に行われ、会話を通じて理解を深める様子が確認された。

● アンケート

Q. 各プログラムの満足度

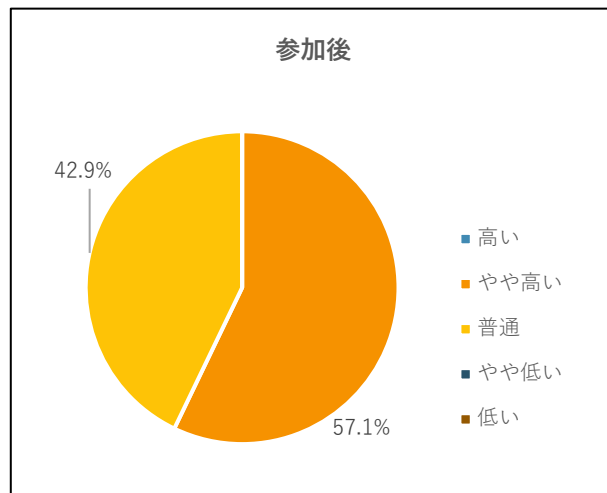
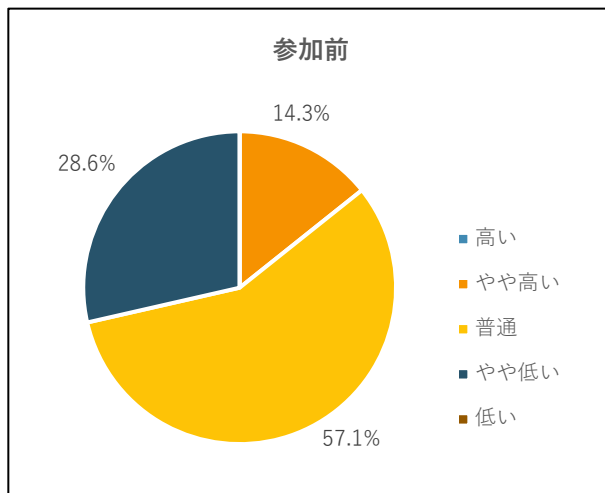


4. 学生等向けインターンシップ職業体験



4. 学生等向けインターンシップ職業体験

Q. 宿泊業への就職志望度



Q. 志望度が変化した（しなかった）理由

- ・ 実際に働いて職場の表と裏を見てこの職業の魅力について理解したため。
- ・ 宿泊業の解像度が上がったから。特に、お客様と直接接するフロント業務が心から楽しかった。
- ・ 体験してみて、どのような業界なのかよく分かったから。
- ・ まだ他の企業をあまり見ておらず、候補の1つにあるという状態になったから。
- ・ 就業体験を通してお客様から感謝の言葉をいただく中で、私はお客様の顔が見える仕事をしたいのだと強く感じたため。
- ・ 旅館の裏側を見ることで働く姿が想像できたから。
- ・ まだじっくり考えたい。今回の体験で決定打とはならなかった。

Q. 今回体験したこと以外で、プログラムにあった方が良かったこと

- ・ 参加者同士の交流時間
- ・ 自分が体験した宿泊施設以外の候補もどのような感じの施設なのか見てみたいと思いました。
- ・ 市役所の方に話を聞いてみることに。

Q. 本事業に対する感想

- ・ お堅いものかと初めは思っていたが、気軽に参加でき、素晴らしい体験ができるとても良い事業だと感じた。
- ・ 期間は短かったけど、様々な業務を体験できたのがよかった。1人だったのは少し淋しかったので、もう1日伸びていたら少ししんどかったかもしれない。旅館の方たちや事務局の方も本当にあたたかくて、充実した3日間だった。
- ・ 宿泊施設周辺の観光をしたことで地域の魅力を知ることが出来たし、地域について知ることによって宿泊業で働いている時に地域の1人として活性化に貢献に携わっていることを実感しました。
- ・ 観光客としてその土地の魅力に触れながら、宿泊業従事者として魅力をお客様に届ける立場も経験できる、大変実りのあるプログラムでした。ありがとうございました。
- ・ 今回経験したことはこれからとても自分にとって糧になると考えています。ホテルや旅館に客として泊まる時は、裏で何をしているのかと考える楽しさを与えてくれ、また仮に自分がサービス業のお仕事に就職したとすると、この事業のことから自分がどのような行動をすべきかというヒントを得られると感じています。
- ・ とても有意義だった

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

● 考察

本プログラムは「大歩危祖谷いってみる会」に所属する5施設との連携により、地域開催として実施した。参加学生は2泊3日の日程で、少人数による就業体験を通じて、各施設の現場により深く入り込んだ学びを得ることができた。また、参加者からは宿泊業の魅力にとどまらず、「大歩危祖谷地区」という地域全体の魅力に触れられたという意見が多く寄せられた。都市圏では得がたい、地方ならではの自然食人との距離の近いサービスを体感できたことは、参加者の理解促進に寄与しており、概ね趣旨に沿った企画運営ができたと考えられる。

● 地域体験プログラムについて

今回は就業体験に加え、開催地域の魅力を体感できる内容とし、初日を地域体験プログラム中心の構成とした。本形態を採用した背景には、主に以下の点が挙げられる。

- 参加者は関西圏等の遠方からの参加が多く、就業体験と併せて地域の魅力も実感してもらうため
- 多くの地元関係者の協力による交流機会を設けることで学びや気づきを得てもらい狙いがあったため
- 5施設での分散実施により、就業体験中は参加者が1～2名に分かれるため、参加者同士の交流機会が不足しやすい状況であったため

地域体験プログラムを実施したことで、地区に関する知識理解にとどまらず、自然や食の体験を通じて日本の地方観光地の魅力を実感したという声が確認された。また、交流会を通じて、地域に誇りを持って働く地元関係者から刺激を受けたという感想も見られた。結果として、アンケートにおいても実施地域および地域体験プログラムの満足度が非常に高い傾向が示された。さらに本プログラムは、「どのように働くか」に加え、「どこで働くか」「どのような意識で働くか」といった視点を参加者が考える契機となった。就業体験に「地域理解共感形成」を組み合わせたことは、本事業の目的を補完する付加価値として有効であり、意義ある取り組みであったと考えられる。

● 宿泊業への就職志望度の変化

アンケート結果では、参加前に宿泊業への志望度を「やや高い」と回答した学生は14.3%であったのに対し、参加後は57.1%まで増加した。また、参加後に「やや低い」「低い」と回答した学生は0名であった。志望度が高まった理由としては、就業体験を通じて宿泊業の裏側や現場を理解し、仕事のやりがいや意義を実感できたという声が多かった。加えて、地元の人との交流や地域体験を通じて、「自分が地域の一員として地域活性化に関わることの楽しさ」を感じたという感想も見られた。本プログラムは就業体験単体にとどまらず、大歩危祖谷地区で開催するからこそ提供できる価値を参加者に提供できたと評価できる。

● 課題と改善点

参加者について

本プログラムは参加者9名を想定していたが、アクセス面の課題により遠方からの参加者を中心に直前キャンセルが2名発生し、施設によっては1名で就業体験を行うケースが生じた。就業体験中に参加者同士が感想を共有し合い、相互に学びを深めることは学習効果の観点から重要であるため、各施設に複数名を配置できる運営体制の整備に加え、実施期間中に参加者同士が交流できる機会をより確保するなど、運営面の改善が必要である。

参加率向上に向けては、実施前に行う事前プログラムにおいて、自己紹介や交流の機会を設け、参加者同士が互いを理解したうえで当日を迎えられるようにすることで、参加への心理的ハードルを下げるのが期待される。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

■JR東海グループのホテルで 2daysの就業体験プログラム！

●実施概要

開催日時 : 第1回 令和7年12月14日(日)～15日(月)
 第2回 令和7年12月25日(木)～26日(金)
開催場所 : 愛知県名古屋市
参加人数 : 合計57名 (第1回 29名 第2回 28名/定員: 各回30名)
実施事業者 : 名古屋マリオットアソシアホテル

※事業サイトを介さず、受入企業が使用している外部の就職支援サイトを活用して募集を行ったため、申込人数の集計対象外としている。



参加者受入事業者

●プログラム内容 (各回共通)

日程	時間	プログラム内容
1日目	13:00	集合(名古屋マリオットアソシアホテル)
	13:15	オリエンテーション
	13:50	アイスブレイク
	14:25	社員座談会
	15:20	館内見学
	17:10	振り返り
	17:25	終了
2日目	8:50	集合(名古屋マリオットアソシアホテル) アイスブレイク
	9:10	グループワーク
	11:15	食事休憩グループワーク
	14:00	グループワーク発表
	15:10	振り返り
	16:00	終了



事業サイト プログラム紹介ページ

●就業体験グループワークについて

6グループに分かれ、宿泊部門、レストラン部門、宴会部門、営業部門、管理部門それぞれのサービススタッフの業務を想定した企画作成業務体験を実施した。グループごとに発表を行い、受入企業の担当者から実務の視点を交えたフィードバックを受けることで、宿泊施設における各部門の役割理解や、サービス品質向上に向けた考え方を学ぶ機会とした。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

● 感想

- 知っているホテルで就業体験ができたことが、まずとても貴重な経験だと感じました。これまではお客さんとして利用する立場でしかホテルを見たことがなかったため、働く側の視点でホテルについて学ぶのは初めてでした。実際の現場を見ながら説明を聞くことで、ホテルの仕事や考え方をより深く理解することができ、勉強になりました。
- 社員の方との質疑応答の時間があり、仕事内容だけでなく、働く中で感じていることややりがい、大変な点などを直接聞いたのが良かった。
- ホテルの仕事はフロントや客室、レストランなどそれぞれのポジションのみで成り立っているのではなく、それぞれの役割がつながっているんだと感じました。想像しているよりもチームワークが重要な仕事だと思いました。
- グループとして様々なホテルを運営されていて、ホテルごとに繁忙期や客室数、コンセプトも違うことが印象に残っています。機会があれば他のホテルも見学してみたいです。
- グループワークで考えた内容に対して、社員の方からフィードバックをもらえて学びになりました。自分たちの意見を現場の視点で見ってもらうことで、考え方の違いや新しい気づきがありました。今後、旅行でホテルに泊まる際には、働く側の視点も意識して、さまざまな角度からホテルを見てみたいと思います。
- 社員の方の話を聞いて、ホテルで働くことに対して具体的なイメージを持つことができた。楽しいことばかりではなく大変なことも多いと思うが、お客様のために働くホスピタリティは素敵だなと思った。
- フロントやレストランの仕事は想像していたが、思っていたよりも多くのポジションがあることを知って驚きました。
- グループワークでは他の学生の意見を聞く機会になって新鮮でした。フィードバックもただけて仕事内容だけでなく、社会人として働くことに対しても学びを得ることができた2日間でした。

● 考察

本プログラムの受入事業者は、令和7年6月29日に開催された「Super Business Forum (大阪)」においてパネルディスカッションに登壇しており、その際に希望をヒアリングし、自社で例年実施している学生向けプログラムと連携する形で実施に至った。過去の開催時は交通費の支給は行われていなかったが、本事業を活用することで、従来参加しやすかった名古屋駅周辺や東海地方の学生に限らず、その他の地域からの参加に伴う学生の経済的負担を軽減することが可能となった。結果として、学生の参加ハードルを下げ、より幅広い地域の学生に対して就業体験の機会を提供できた点は、本事業ならではのメリットであると考えられる。

● グループワークの実施について

就業体験プログラムにおいて発表を含むグループワークを実施したことは、学生が宿泊業の各部門の役割を理解するとともに、ホテル全体が部門間の連携によって成り立っていることを俯瞰的に捉える機会となった。現場見学や社員からの説明を踏まえたうえで企画を検討し、発表まで行うプロセスを設けたことで、体験内容を整理し、自身の言葉でアウトプットする機会が生まれ、就業体験プログラム全体の学習効果を高める重要な要素であったと評価できる。また、このような発表を含むグループワークは、学生が宿泊業の仕事を組織的に理解することにつながり、企業側にとっても入社後の認識のずれやミスマッチの軽減が期待される。あわせて、学生の反応や関心の方向性を把握できる点から、企業理解や採用広報、人材育成の入口として位置づけることができる有効な手段であり、将来的な人材確保や育成につなげていく仕組みとして、今後も積極的に活用していくことが望ましい。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

■おもてなし旅館の魅力を知ろう！旅館での就業体験&地域体験

●実施概要

開催日時 : 令和8年2月5日(木)～6日(金)
 開催場所 : 長野県諏訪市 上諏訪温泉 浜の湯
 参加人数 : 6人(定員:8人/申込人数:25人)

●開催までの流れ

①開催に向けた準備

宿泊業における人材確保促進業務の一環として実施した宿泊事業者向けのインターンシップ活用講座にて、本プログラムの案内を行い受入を希望する企業を募った結果、浜の湯での実施が決定した。実施にあたっては、受け入れ事業者が主体となって行った。なお、全体のプログラム設計、参加者の公募、グループワークを含む当日の運営調整については運営事務局がサポートを行った。

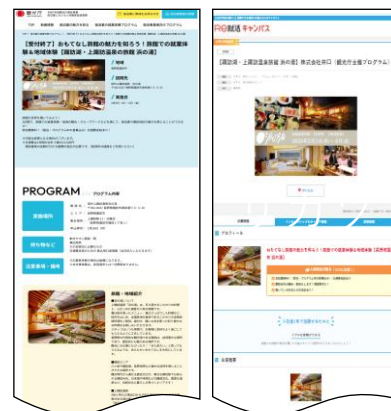
また、地域体験プログラムの実施にあたっては、宮坂醸造株式会社および片倉館の協力を得た。

②参加者の募集

参加者は本事業サイト、「R e就活キャンパス」及びWEBSNS広告により周知し、25人から申込があり、抽選により8人を選出、6人が参加した。



参加者



事業サイト募集ページ

●プログラム内容

日程	時間	プログラム内容
1日目	11:30	集合自己紹介
	12:00	昼食
	13:00	オリエンテーション 館内見学
	14:00	就業体験 2グループに分かれて実施
	17:00	地域体験プログラム① 歴史的建造物(片倉館)の見学 財団法人片倉館が案内を実施
	18:30	夕食交流会 地域食材による夕食と受け入れ施設の方との交流を通じて、地域の魅力理解を深めた



就業体験



地域体験

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

日程	時間	プログラム内容
2日目	8:00	朝食
	10:00	地域体験プログラム② 諏訪市の名産品について知ろう 宮坂醸造が説明、案内を実施
	11:45	地域体験プログラム③ 立石公園の散策
	12:30	昼食
	13:15	グループワーク
	14:30	グループワークの発表感想共有 受け入れ事業者からの総評



地域体験



発表会

● 就業体験について

参加者を3名ずつの2グループに分け、各グループ2時間30分の就業体験を実施。全員が制服を着用し、実際の業務環境に近い形で取り組んだ。

実施内容

フロント：来館されたお客様へのお出迎え、挨拶や接遇のレクチャー 等

客室案内：お客様を客室までご案内、丁寧な言葉遣いや立ち振る舞いのレクチャー 等

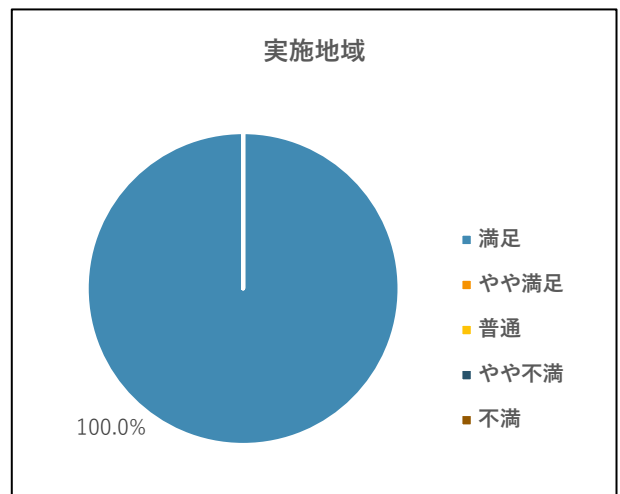
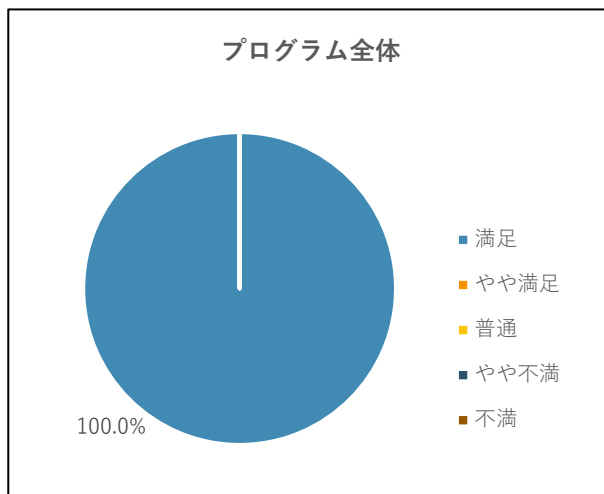
清掃：施設内外の清掃業務 等

● グループワークについて

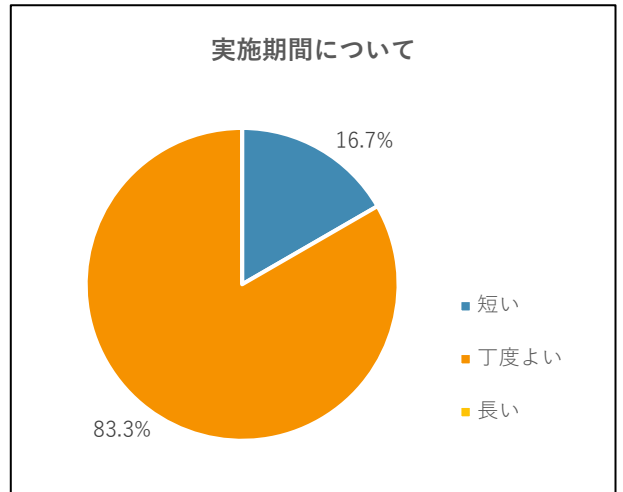
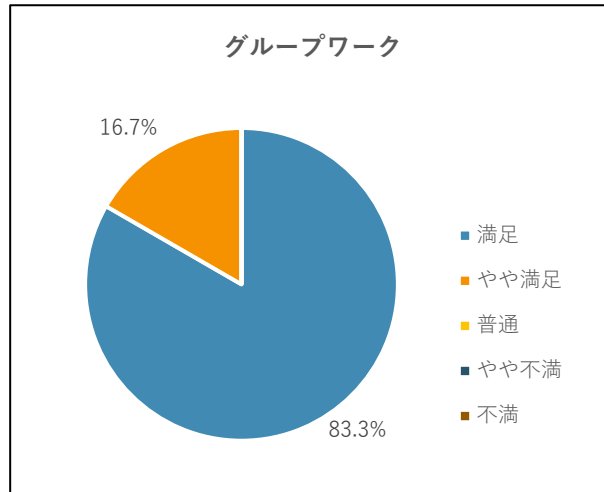
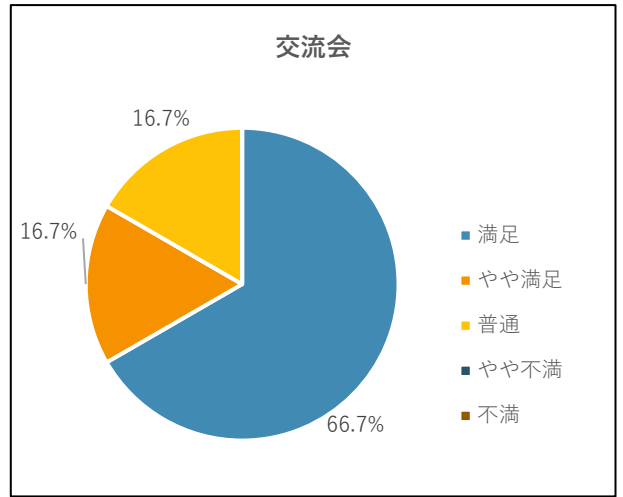
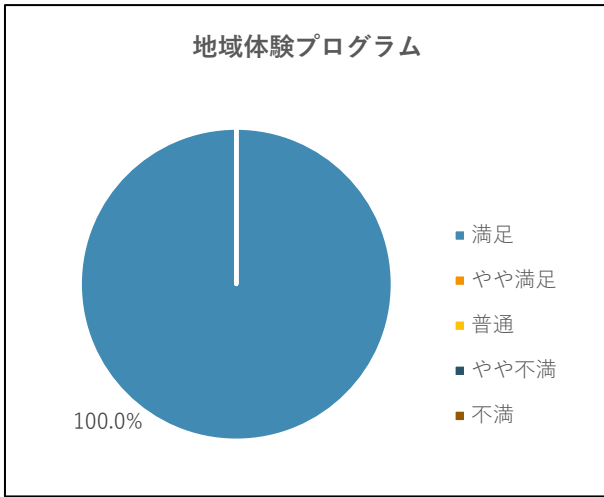
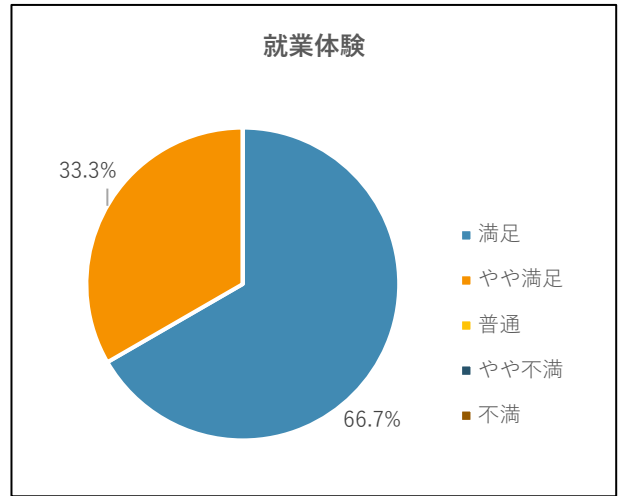
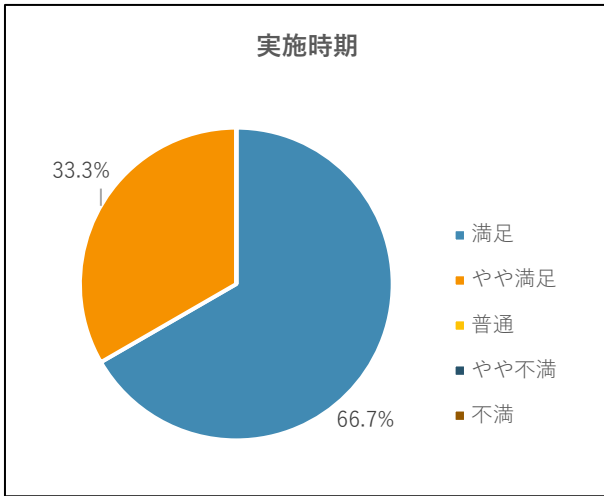
「施設地域の魅力を伝える新たな体験プラン」をテーマに、地域体験就業体験交流会を通して得られた気づきをもとに、魅力を活かした体験プランの検討を行った。検討後はグループごとに成果を発表した。約1時間という限られた時間の中で、参加学生は相互に協力しながら意見を整理し、発表に向けた準備を進めた。発表では、学生の視点を活かし、館内資産であるレコードや温泉に加え、地域資源である花梨、諏訪湖等を活用した、具体性の高い体験プランが提案された。発表後には浜の湯担当者より総評があり、諏訪地域および浜の湯の現状を踏まえた分析が的確である点、ならびに実践につながる提案である点が高く評価された。

● アンケート

Q. 各プログラムの満足度

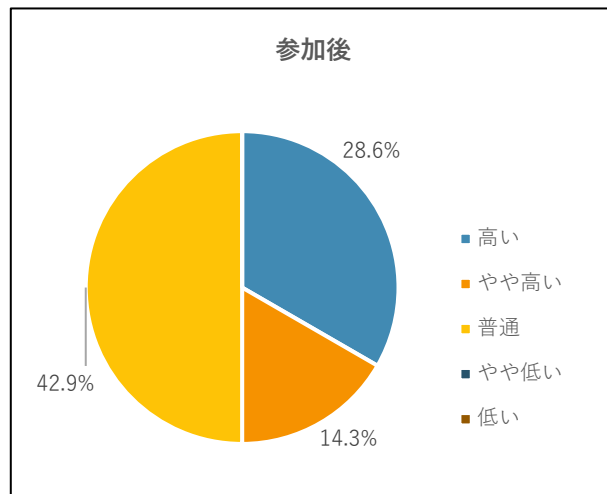
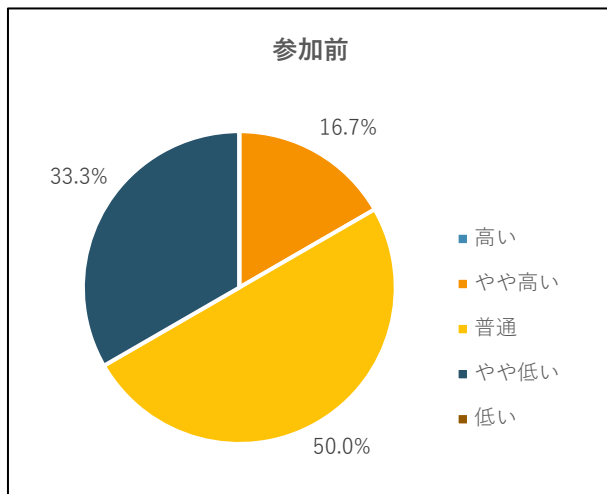


4. 学生等向けインターンシップ職業体験



4. 学生等向けインターンシップ職業体験

Q. 宿泊業への就職志望度



Q. 志望度が変化した（しなかった）理由

- 旅館の人と交流することで、宿泊業の楽しさを知ることができた。
- 支配人の話を聞いて、この業界の良さがわかった。
- 検討先として可能性が高くなった
- 宿泊業の当たり前を支える人々の存在を感じることができ、安心安全快適な体験を支える立場になりたい気持ちが強くなったため。
- 宿は泊まるだけという認識がすごく変わったこと。お客様の居心地の良さを考え、笑顔の循環する業界がこんなにも素晴らしいものだと思えて感じられた。

Q. 今回体験したこと以外で、プログラムにあった方が良かったこと

- 旅館の他の従業員の方とも交流する機会。（支配人だけではなくフロントの方や食事担当の方）
- 片倉館のお風呂に入ってみたかったです

Q. 本事業に対する感想

- 就業体験を経て、現場の人が実際に感じているものを知ることができました。また、今まで触れる機会がなかった酒造業など諏訪エリアの様々なものへの感心も抱いた。とても良い経験になりました。ありがとうございました。
- この1泊2日を通して、宿泊業界に対する考え方が変わった。この業界についてあまり考えたことはなかったが、興味がより湧いた。とてもためになる体験だった。ありがとうございました。
- 就業体験を充実させるために事前研修があってもよいと思った。会食で従業員の方ともっとお話したかった。
- 自分の進路を決めるための有意義な経験となった。進路に悩む学生には是非参加してほしいと思った。
- こんなにも素晴らしい体験をさせていただきありがとうございます。まだ就活のことを深く考えていなかったのですが、宿泊業という業界を知る第一歩となりましたし、大きな経験になりました。グループワークを通してたくさんの人の話を聞くことができたし、自分の考えを言える機会になったと思います。

● 考察

本プログラムは、1泊2日で就業体験に加え上諏訪地区の地域資源に触れ、地域関係者との交流を通じて、宿泊業を「職場」だけでなく「地域と一体の取組」として捉える機会となった。参加者からは「旅館のサービスの裏側を知ることができた」「提供する側の視点を学べた」といった意見が寄せられ、来訪者としては見えにくい業務や役割を体感することで、宿泊業に対する認識が具体化したと考えられる。

● 地域体験プログラムについて

地域体験では、歴史的建造物の見学、名産品に関する学習、立石公園の散策など、複数の地域資産に触れる構成とした。就業体験だけでは得にくい「地域で働く暮らす」視点が補完され、アンケートでも実施地域および地域体験プログラムの満足度が高い傾向が確認された。宿泊業を職場としてだけでなく地域の営みとして捉える導線として、地域体験の有効性が示された。

● 地域の人との交流について

浜の湯担当者や地域関係者から直接話を聞く機会を多く設けたことで、参加者は現場の実情（業務の工夫、地域連携の考え方等）に触れ、旅館に対する先入観の更新につながった。グループワークでも、館内見学就業体験で得た情報を根拠として提案を組み立てる様子が見られ、現場の声が学びの定着とアウトプットの質向上に寄与したと考えられる。

● 宿泊業への就職志望度の変化

アンケート結果では、参加前に宿泊業への志望度を「やや高い」と回答した学生は16.7%であったのに対し、参加後は「高い」「やや高い」と回答した学生が42.9%まで増加した。また、参加後に「やや低い」「低い」と回答した学生は0名であった。志望度が高まった理由として、業務体験に加え、働く人との交流を通じて仕事の意義やりがいを具体的に捉えられた点が挙げられており、体験+対話の設計が意識変化に結びついたことがうかがえる。

● 課題と改善点

就業体験プログラムについて

1泊2日の限られた日程の中で地域体験を多く組み込んだ結果、就業体験に充てられる時間が短くなった。また、実施時間帯の影響により、来館者対応等の現場感を伴う体験が限定的となり、アンケートにおいても就業体験の満足度が地域体験と比べて伸びにくい結果となった。

今後は、就業体験プログラムの実施内容について事前に事業者との打ち合わせを十分にを行い、事業者が主体となって現場の実情に即した体験内容を設計運営できるよう、運営事務局が調整整理を行いながら支援することで、お客さまの出入りが少ない時間帯であっても、業務の意図や判断の観点まで学べる、よりリアルな就業体験となるよう検討していく。あわせて、参加人数に対してプログラム内容や体験機会の配分が妥当であるかを開催前に確認し、体験内容に偏りが生じない運営体制を整える必要がある。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

■歴史と未来をつなぐおもてなしを現場で学ぶ2daysの就業体験プログラム！

●実施概要

開催日時 : 令和8年2月14日(土)～5日(日)
 開催場所 : 広島県尾道市
 参加人数 : 12人 (定員: 15人 / 申込人数: 23人)
 実施事業者 : 尾道国際ホテル

●プログラム内容

日程	時間	プログラム内容
1日目	12:15	集合(尾道駅)
	12:30	オリエンテーション 事業説明 自己紹介
	13:30	フィールドワーク 千光寺 尾道本通り商店街 尾道ロイヤルホテル U2
	16:30	2日目説明
	18:30	夕食交流会
2日目	7:30	朝食
	9:00	就業体験
	13:00	昼食(尾道ロイヤルホテル)
	14:00	振り返り(尾道ロイヤルホテル)
	15:30	解散(尾道駅)

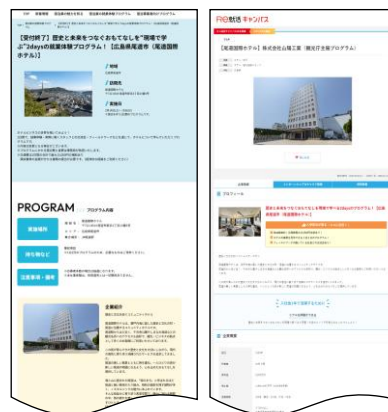
※2日目はグループホテルの尾道ロイヤルホテルにて昼食と振り返りを実施した。



就業体験



フィールドワーク



事業サイト募集ページ(左)
Re就活キャンパス募集ページ

●就業体験について

3グループに分かれ、フロント、レストラン、宴会の部門の就業体験を実施した。

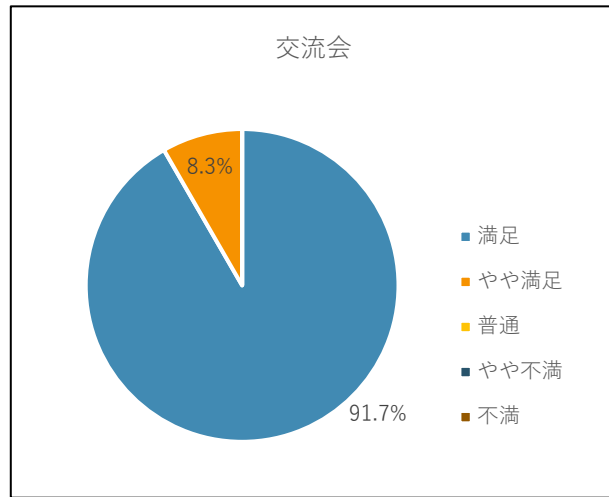
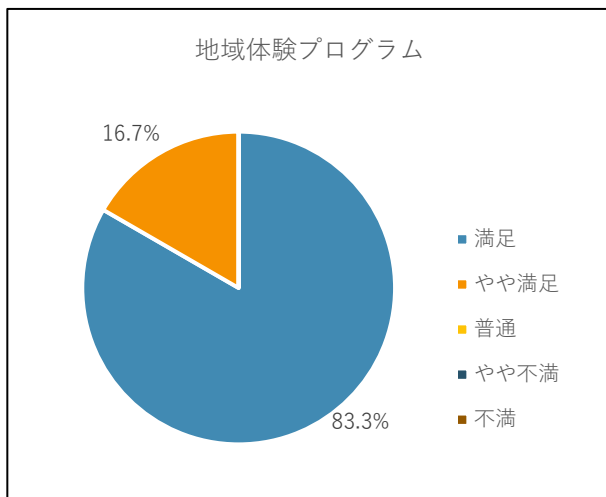
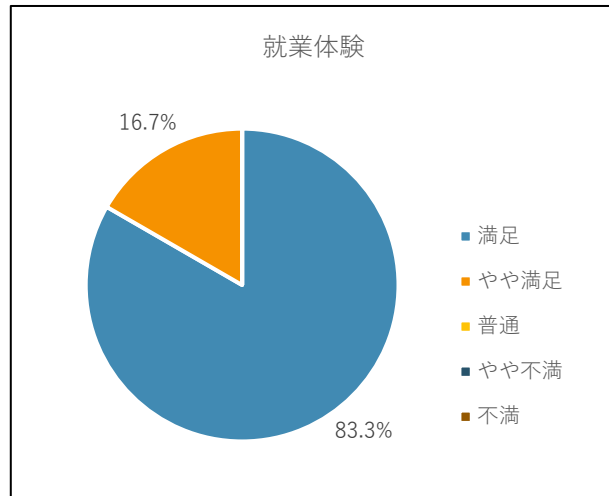
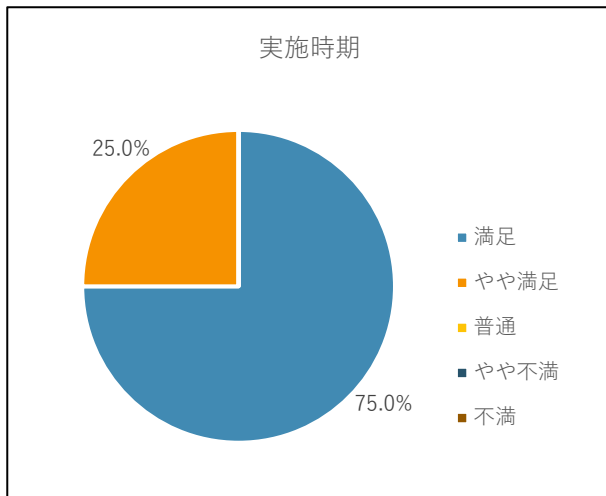
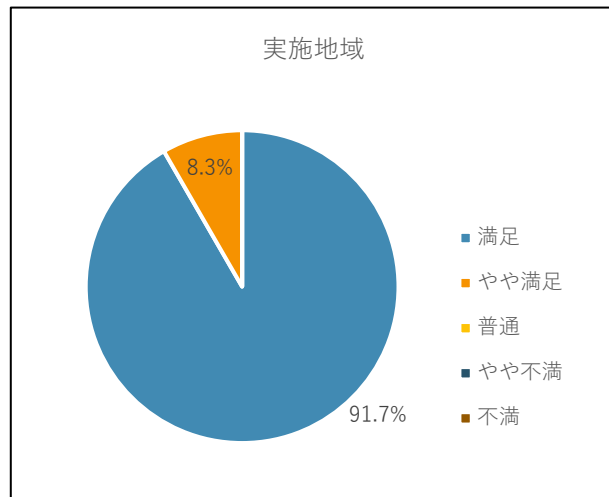
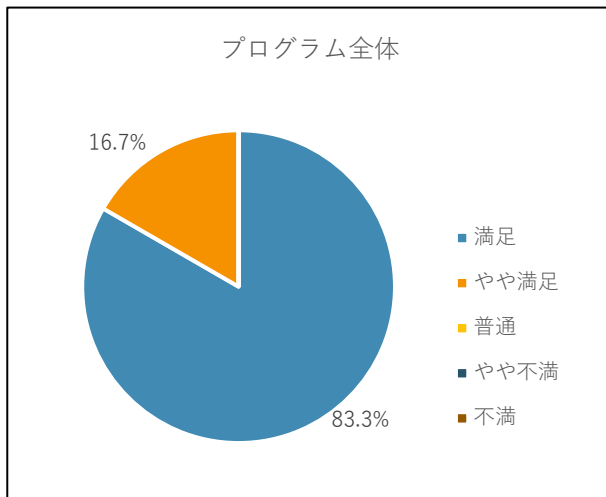
実施内容

フロント : チェックアウトや予約清掃管理システムのレクチャー 等
 レストラン: 食器の扱いに関するレクチャー 等
 宴会 : 飲み物の注ぎ方、サーブに関するレクチャー 等

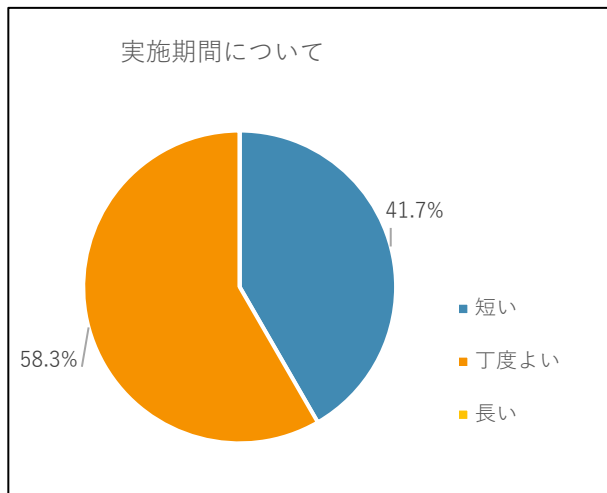
4. 学生等向けインターンシップ職業体験

● アンケート

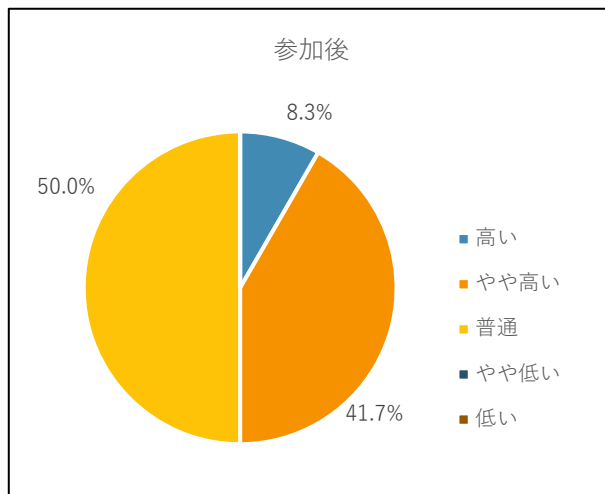
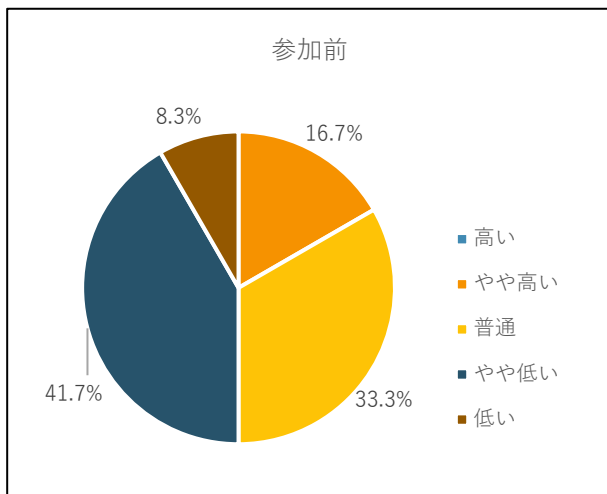
Q. 各プログラムの満足度



4. 学生等向けインターンシップ職業体験



Q. 宿泊業への就職志望度



Q. 志望度が変化した（しなかった）理由

- 観光業の奥深さを知ったから
- 宿泊業で働くやりがいなどを聞いて興味を持つことができた。
- 宿泊業のこだわりや地域に与える影響を知って面白いと感じたから。
- 宿泊業の現場で働いている人の心配りに接して、とても魅力的でやりがいのある仕事だと感じたため。
- 宿泊業といっても色々な関わり方があって、それぞれが本当に細かい部分まで目を向けていて、そんな宿泊業界に就職してみたいと思うようになったから
- 宿泊業は人と関わる仕事と思っていたが、マーケティングなどでの関わり方もあると今回の体験をして分かった。あまり就職希望などはなかったが、さまざまな角度からでも宿泊業と関わられることを今回の体験プログラムで知れたため。
- 職場体験を経て、宿泊業に従事する方のホスピタリティや普段サービスを受ける側からは見えない気配りなどが見え、宿泊業に関する知見が深まった。宿泊業に従事し、お客様とコミュニケーションを取ることの面白さを少し味わうことができた。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

- 職場体験を経て、宿泊業に従事する方のホスピタリティや普段サービスを受ける側からは見えな
い気配りなどが見え、宿泊業に関する知見が深まった。宿泊業に従事し、お客様とコミュニケー
ションを取ることの面白さを少し味わうことができた。
- 具体的な内容を基本部分だけでも実践的に知ることができて、宿泊業へのイメージがよりはっき
りとしたから
- 裏側の部分を知ること、想像する宿泊業に正確性が増したから。
- 一つ一つの所作などや普段気づかないようなところまでこだわりがあってカッコ良いと思った。
自分もこだわったおもてなしをやってみたいと思ったから。
- 以前までは、少し興味はあるもののどんな仕事なのか、具体的な内容は知らずにいたのであまり
関心が無かったのですが、今回様々なスタッフの方と関わり、熱心に仕事内容を教えてくださり、
もっと知りたいな、実際に接客を通してお客様と関わってみたいな、と感じるようになりました。

Q.今回体験したこと以外で、プログラムにあった方が良かったこと

- 交流の時間がもっとあれば、楽しかった。
- 難しいかもしれないが、実際にバイトみたいな感じでフロントとかにたってお仕事をするプロ
グラム
- 地元民と話せる機会が欲しかった。
- 数時間だけでも実際に働く時間があると参加者としてはより接客業の醍醐味を知ることができ
るのではないかと感じた。
- もっと街の歴史を知る機会があると嬉しかった。
- 実際にお客様と接すること
- 十分尾道のことを知るきっかけになったのですが、もっと尾道を知れるようなイベント（地域
の人と関わったり、もっと色々な場所を散策する機会）があったら嬉しいなと思いました。

Q.本事業に対する感想

- 観光業について知ることができてよかった。そのホテルによって強みがそれぞれ違うことに知
ることができた。
- 交通費の支援をしていただいて、参加しやすいプログラムで良かった。観光と宿泊業の実態な
ども深く知ることができ、良い経験になった。また、他のプログラムにも是非参加したいと思
う経験ができた。
- 尾道という地域について知り、その地域の宿泊業が担う役割やホテル業とはどういうものか知
ることができて面白かった。参加して良かったと感じる。また同じようなプログラムに参加し
たい。
- ホテルだけでなく、観光地や商店街など、尾道を様々な面から感じることで非常によ
かった。普段あまり意識しないホテルマンという職業についての知見も深めることができ、と
ても良い経験になった。
- 2日間お世話になりました。交通費や食費、宿泊費まで出していただき、このような体験がで
きたことをすごく嬉しく思います。もっともっと体験してみたかった気持ちです。また、宿泊
業には強く関心を抱いている訳ではなかったのですが、お話を聞いてみると、ホテルはサービ
ス業だけでなく、地域産業の活性化やデジタル化など、様々な分野を横断していることを知り、
関心を持つようになりました。視野を広げることができた貴重な体験でした。ありがとうございました。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

Q.本事業に対する感想

- 尾道という地域そのものが初めてであって、新鮮な気持ちで全てのプログラムを体験できた。また、ホテル業界は常に今まで迎えられる側だったため、実際にどんなことをしてどんなところに目を向けているのか、どんなスキルが必要なのかといったあらゆる視点を見つけることができた。私生活にも行かせるようなマナーと言ったものも学べたため有意義なものであった。加えて、尾道における歴史や課題というものも理解できたため、今後、大学での学びにおいてそういった課題を深堀し、そこからの解決策も見いだせるような人材になりたいと考える。
- インターネットで調べたり、動画を見るだけじゃわからないとこ、裏側などを今回の体験で味わえた。ホテルの裏側や接客の仕方、今の課題など、ホテルで働いている人から直接聞いたことで、自分の中でホテル業界の課題に対して考えるきっかけになった。
- プログラム実施期間が短い中で、尾道の観光名所を訪れ、食を楽しみ、宿泊業の実情を知りつつ職場体験を行うという、貴重な機会を通して解像度を高めることができた。非常に有意義でかつ楽しい時間でした。
- 宿泊業というものに漠然とした憧れがあり、旅行における宿泊先はいちばんの楽しみでした。短い時間でしたが、そんな業種の体験をさせていただいて、将来を考える上でもさらに深堀してみたいと思いました。またお話を通して、観光地における宿泊業はどんな影響があるのか、どんなことができるのか、考えることができ、学びが深まりました。自分の学部でこのプロジェクトが広まったらいいなと思います。尾道は観光資源がとても豊かで個性のあるものなので、それを知ってもらうために、拡散されるために今後の展望がとても気になります。一度ご縁があった土地なので、私自身も何かの形でまた関わりたいです。
- 就業体験の際、テーブルマナーや従業員側の細かい所作について知り、その所作の理由として「10%のサービス料に対する価値を提供する」と話されていたのが非常に印象的であった。普段あまり気にしていないようなものでも、ホテル側の配慮やホスピタリティの精神があることから、今後他のホテルや旅館に宿泊した際にも観察していきたいと感じた。今まで尾道市の名前は知っていたが、観光資源については詳しく知らなかったため、散策をしていた時に多様な観光資源に触れることができ、非常に魅力的であった。坂や寺社、海だけでなく、文学や映画の資源があることを知り驚いた。これを地域外により発信することで、地域にファンを取り入れやすそうだと考えられた。
- 実際のホテルで働いている方の間近で終業体験ができてとても興味深かった。普段ホテルに泊まってる時に意識しないようなところまで気をくばっていただいていることに気づけた。その他尾道を満喫できた。普段関わらないよう人と話せたことも楽しかった。
- 今回の就業体験プログラムを通して、尾道の魅力はもちろん、実際に働いているスタッフの方々の熱い思いだったり、どんな事に気を使ってどのようなおもてなしをされているのかははっきり分かってとても良かったです。思い返すとホテルの方々は色々な場面に配慮し、おもてなししてくださっているなど考えるきっかけになったし、そういった直接なおもてなしだけでなく、裏で様々なサービスの準備をしてくれているのだなと感じ、私もそういった「見えない気配り」に目を向けるようにしたいなと感じました。私は以前からずっと尾道に行ってみたく感じていたので、行く前からワクワクしていたのですが、実際の尾道は期待以上に素敵な場所でした。また機会があればぜひ訪れたいです。貴重な体験をありがとうございました。

4. 学生等向けインターンシップ職業体験

● 考察

本プログラムは、令和7年10月21日に実施した宿泊事業者向け人材活用オンラインセミナー（テーマ：データ分析省人化）に参加した受入事業者が、アンケートにおいて「宿泊業の就業体験プログラム」に関心を示していたため、事務局から個別に案内し、実施に至ったものである。プログラムは宿泊業の業務理解に加え、地域理解を軸とした構成を行った。参加学生からは地域の観光資源や歴史、宿泊業が地域と密接に関わっている点への理解が深まったほか、現場で働くスタッフから直接話を聞くことで業務の裏側や課題を実感できたとの声が寄せられ、概ね当初の目的に沿った成果があったと考えられる。

● 本プログラムの内容について

プログラムを通じて、学生はホテル業務の表面的なイメージだけでなく、接客の背景にある考え方や、スタッフ一人ひとりの役割、業務に求められる姿勢やスキルについて理解が深まったとの声が上がった。特に、テーブルマナーや所作の意味、サービスの価値に関する説明については印象に残ったという声が多く、宿泊業におけるホスピタリティの本質や「見えない配慮」に気付くきっかけとなった点は、本プログラムの大きな成果といえる。また、地域散策を通じて、尾道という地域そのものに初めて触れる学生も多く、歴史文化観光資源の多様性を体感することで、宿泊業が地域産業の一部として果たしている役割への理解が促進された。ホテル単体ではなく、地域全体を含めて宿泊業を捉える視点が養われた点は、職業理解にとどまらない学びにつながったと考えられる。

● 課題と改善点

スタッフや地域の人との交流時間を求める意見から、学生が業務内容の理解にとどまらず、人を通じて宿泊業や地域の在り方を知りたいというニーズを持っていることが読み取れる。交流会や地域散策は実施しているものの、限られた時間の中では情報提供が中心となり、学生一人ひとりの疑問や関心に十分応える余裕がなかった可能性があった。一方で、受入企業にとっては通常業務と並行した対応が難しい実情もあることから、交流機会の拡充にあたっては企業側の負担に配慮する必要がある。今後は、日常業務の延長線上で実施可能な形で交流要素を組み込むとともに、交流の「量」を増やすのではなく、時間役割内容を限定した効率的な交流設計を検討したい。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

(1) 職場見学プログラム

主に、これから就職活動を迎える学生等を対象に、宿泊業で働く魅力について職場見学を通じて理解を深め、将来の就職先として具体的に検討できる機会を創出することを目的として、日帰りでの職場見学プログラムを実施した。

プログラムは、都市部のホテルから地方の旅館まで、形態および地域の異なる施設で実施し、年間6件のプログラムを開催した。開催地域によっては学生人口が少なく、集客に苦戦することが想定されたことから、参加学生の負担軽減を目的として交通費の補助を行った。

多くのプログラムで定員を超える申込を獲得し、また高い満足度を得ることができた。

● 実施したプログラム概要

	プログラム名	開催日時	場所	実施形態	定員
①	宿泊業の職場見学会（グランドホテル浜松）	令和7年12月22日	静岡県浜松市	単独開催	5
②	ヨーロッパの伝統と気品が漂うクラシカルなホテルの職場見学プログラム！	令和8年1月19日	東京都港区	単独開催	15
③	アートと音楽が交差する屈指の個性派ホテルで特別ランチ付き職場見学プログラム！	令和8年1月20日	東京都新宿区	単独開催	20
④	地域の旅館の魅力に触れる見学会&交流会！特別ランチ付き	令和8年2月3日	宮城県仙台市	単独開催	15
⑤	総合型リゾートの仕事の魅力に触れる職場見学ツアー	令和8年2月25日	大分県別府市	単独開催	30
⑥	歴史と未来をつなぐおもてなしを現場で学ぶ職場見学プログラム	令和8年2月26日	広島県尾道市	単独開催	16

(2) 実施のながれ

各職場見学プログラムは、概ね以下の流れで実施した。

① 受入れ企業の募集選定

受入事業者の募集にあたり、まずは業界団体に対して本事業全体の説明と合せて、インターンシップ就業体験に関する要望のヒアリング実施した。その後、各業界団体を通じて加盟宿泊事業者に本プログラムを案内し、関心の有無を確認した。また、本事業の一環で実施した宿泊事業者向けプログラムに参加した事業者や当社および本プログラムの再委託先として連携した株式会社エイチアイエスと取引実績を有する宿泊事業者に対して本プログラムを案内した。

候補企業全社に対して、個別に実施時期、受入れ可能人数、事前の準備等について確認した上で、実施の可否について再度検討していただき、最終的に6件がプログラム化された。

② プログラムの作成

全ての実施団体受入事業者に対し、事前に本プログラムの趣旨共有および実施内容の検討を目的とした打ち合わせを実施した。本プログラムは、学生等に対する事業者の魅力発信に加え、受入事業者にとっても、近年の新卒採用で主流となりつつある就業体験の導入に向けたノウハウを習得する機会となるよう位置付けた。このため、カリキュラムは運営事務局の助言のもと、原則として各事業所が作成した。プログラム内容は、施設説明、館内見学、社員との交流を基本構成とし、可能な事業所では、事業所の魅力をより具体的に体感できるよう、実際に提供している食事の試食等を組み込む工夫を行った。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

③ 参加者の募集

策定したプログラムは本事業サイト及び当社が運営する就職情報サイト「Re就活（転職希望者向け）」及び「Re就活キャンパス（学生向け）」に掲載し、また各サイトで申込の受付を行った。また各プログラムのPRの一環として、プログラムの特徴が分かる名称をそれぞれ策定した。

参加者募集のための周知広報は、実施事業者と相談の上、周知する地域や対象を選定し、以下の方法で実施した。

※集客結果は各プログラム詳細に記載

メディア	内容	使用したプログラム
WEBSNS広告	Google、Yahoo、Meta（Instagram、facebook）等の配信サービスを活用し、プログラム開催地域や近隣の都市部で、対象となる年代層や関心領域のユーザーに対して広告を配信した。 各メディアにおける出稿量は、広告費用やクリック数クリック率等をAIがこまめに分析調整し、最適化を図るプログラムを活用した。	④～⑤
「Re就活」 「Re就活キャンパス」ユーザーへの周知	当社が運営する各就職情報サイトのイベント情報ページに開催情報及び申込フォームを設置。各サイトの会員ユーザーに対してダイレクトメール（1開催あたり約50,000件）を配信した。	②～⑤
メルマガ登録者への周知	本事業で実施した大型就職イベントを活用した魅力発信においてブースに訪問した求職者や、事業サイト内のフォームで登録したユーザー（約250人）に対してプログラム情報を案内した。	②～⑤

④ 当日運営

全プログラムに運営事務局が随伴し、運営をサポートした。

各開催の冒頭に、本事業の趣旨説明を実施し、また終了時にはアンケート及び参加者の交通費補助に申請受付を実施した。プログラムについては実施事業所と事前に調整し、必要に応じてその一部を事務局が運営した。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

(3) 実施結果（目標：100人、結果73人、達成率73%）

今年度は、年間100人の参加者獲得を目標として事業を実施した結果、73人の参加があった。申込人数は135人と目標を上回ったものの、本プログラムは性質上、定員を超えての受入ができないため、参加人数は申込人数を下回る結果となった。

特に東京都での開催については、アクセス面で気軽に申込みがしやすい地域特性もあり、当日キャンセルが多く発生した。その影響により、結果として定員を下回る人数での開催となった。

一方、集客面で懸念していた地方開催では、想定を上回る申込があり、キャンセルも少なかったことから、定員に近い多くの参加者に参加いただけた。

プログラム名	場所	受入事業者	定員	申込人数	参加人数
① 宿泊業の職場見学会（グランドホテル浜松）	静岡県浜松市	グランドホテル浜松	5	5	4
② ヨーロッパの伝統と気品が漂うクラシカルなホテルの職場見学プログラム！	東京都港区	企業名非公開	15	15	5
③ アートと音楽が交差する屈指の個性派ホテルで特別ランチ付き職場見学プログラム！	東京都新宿区	株式会社 新宿東急ホテルズ	20	26	11
④ 地域の旅館の魅力に触れる見学会＆交流会！特別ランチ付き	宮城県仙台市	秋保温泉旅館 蘭亭	15	20	13
⑤ 総合型リゾートの仕事の魅力に触れる職場見学ツアー	大分県別府市	企業名非公開	30	53	24
⑥ 歴史と未来をつなぐおもてなしを現場で学ぶ職場見学プログラム	広島県尾道市	尾道国際ホテル	16	16	16
合計			101	135	73

※参加企業のうち、一部企業については非公開を希望されたため、企業名を記載していません。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

■ 宿泊業の職場見学会（グランドホテル浜松）

● 実施概要

開催日時：令和7年12月22日(月)
開催場所：静岡県浜松市
参加人数：4人（定員：5人／申込人数：5人）
実施事業者：グランドホテル浜松

● プログラム内容

時間	プログラム内容
9:00	集合
9:05	ホテルについて説明
9:30	館内見学
10:00	質疑応答



実施風景①



実施風景②

● 開催までの流れ

① 開催に向けた準備

本プログラムは、浜松市内の高校の教員より、「在学中の高校3年生の中には、卒業後の進路として就職を見据えている生徒がおり、宿泊業における職場見学の機会を設けたい」との相談を受けたことを契機として企画されたものである。

これを受け、運営事務局において、高校近隣である浜松駅周辺の宿泊施設を中心に、高校生向けの職場見学プログラムの受入が可能なホテルの検討および打診を行った結果、「グランドホテル浜松」にて本プログラムを実施することが決定した。

② 参加者の募集

相談のあった高校専用の就業体験プログラムとして企画したため、一般公募は行わず、学校内において教員から学生へ案内を行った。プログラム内容については、運営事務局と受入先であるホテル側で協議のうえ決定し、実施概要をまとめた学校向けの案内チラシを作成し、学校へ共有した。その結果、5名の申込みがあり、当日は4名が参加した。



学校向け案内チラシ

● ホテルについての説明

ホテル担当者より、約30分間、ホテルに関する説明および案内を実施した。

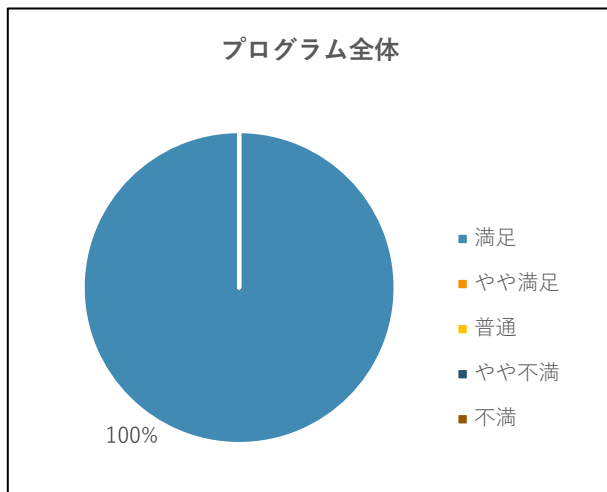
説明内容

- ・ 会社概要、沿革
- ・ 部署構成、各部署の案内
（宿泊部、バンケットサービス、レストランサービス）
- ・ 社員教育について
- ・ 求める人物像

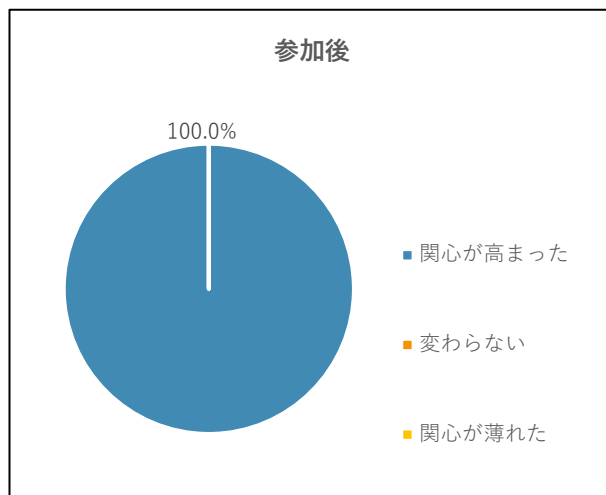
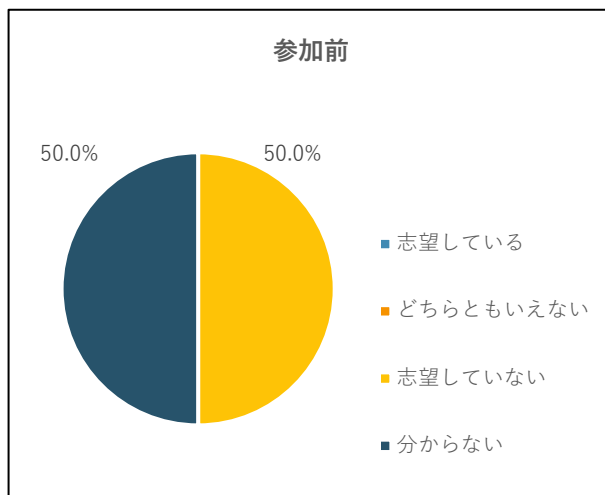
5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

● アンケート

Q. プログラムの満足度



Q. 宿泊業への就職志望度



Q. 志望度が変化した（しなかった）理由

- 実際のホテルの内装だったり従業員の熱意を見ることができて関心が高まった。
- 今まで見てきた職業と違う仕事を知ることができてよかった。
- 今まで知らなかった部分を知ることができ、もっと知りたいと思ったから。
- 魅力を知ることができたから。

Q. 本事業に対する感想

- 普段見ないような所が見ることができて新鮮だった。働く人が熱心にお客様のことを考えているのが伝わってきた。満足する見学会だった
- 実際に泊まってみるホテルと今回みたいに仕事する側としてみるホテルで見えなかったものや知らなかったことを沢山知れてよかった。
- 普段見れないところや知れないことを知れておもしろかった。
- 普段見れないようなところを見れたり、理解が深まるような説明を受けることができた。また、様々な部屋や施設を見ることができて楽しかったです！ありがとうございました。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

● 考察

本プログラムは高校生にとって学校では知ることができない宿泊業やホテル業界の仕事を体系的に知ることができる内容であり、進路選択の一助となる非常に有意義なプログラムであったと評価できる。特に、ホテルの歴史や組織構成、各部署の役割、求める人物像といった説明は、高校生にとって将来の「働く姿」を具体的に想像するきっかけとなった。大学生と比較すると視野や業界理解の幅は限定的である一方で、その分、体験や説明が与える影響は大きく、職業観の形成に与える直接的な効果は高いと感じられた。

● 館内見学について

来年3月より Marriott ホテルとして新たに運営が開始される予定であり、当日は館内各所で改修工事が進められている状況であった。しかしながら、工事が完了している客室や、通常は目にするのでできないバックヤードまで丁寧に案内いただいたことで、参加学生および引率教員にとって、ホテル業務の実態をより具体的に理解できる貴重な機会となった。特に、リブランドを控えた過渡期ならではの現場の様子に触れることができた点は、他にはない学びの要素であり、参加者の満足度向上につながったと考えられる。

● 教員との連携について

本プログラムの実施にあたっては、高校教員との連携も大きな成果の一つであった。高校の先生との協力により、高校生に対して宿泊業・ホテル業界の魅力を効果的に伝えることができ、高校側にとっても、通常の授業では提供が難しい実践的かつ具体的な体験機会を生徒に届けることができた点は有益であった。加えて、教員自身にとっても宿泊業の魅力や現場の実情を理解する機会となり、今後、生徒に対して業界を紹介する際の知見や、外部と連携した学びの場を創出するためのノウハウを得る契機となった。これにより、将来的にも教員主導で同様の機会が生み出される可能性が広がったと評価できる。

● 課題と改善点

本プログラムは、卒業までの期間が限られた時期での開催であったため、参加者の中にはすでに進路が決定している学生も含まれており、見学後に進路について十分に検討する時間を確保しづらかった点が課題として挙げられた。その結果、就業体験を通じて得られた気づきや関心が、必ずしも具体的な進路選択へと結び付きにくい状況であったと考えられる。

一方で、アンケート結果からは、参加者全員が宿泊業に対する関心が高まったと回答しており、本プログラムの内容や構成が、高校生にとって有意義なものであったことがうかがえる。これらを踏まえると、今後は高校1年生や2年生も対象とすることや、進路選択までに一定の時間的余裕がある段階で開催することの有効性が改めて確認された。早期の段階で地元企業の魅力や働く意義を直接伝えることは、職業観の形成に寄与するとともに、将来的な地元就職へとつながる可能性を高めるものと考えられる。

運営事務局としては、今後も受入事業者と密に連携しながら、高校生の理解度や関心の度合いに応じたプログラム設計を行い、単なる見学にとどまらない、より実践的な職業理解を深める機会としての質の向上を図っていく必要がある。宿泊業への関心喚起および地域に根ざした人材確保につながる取り組みとして、引き続き内容の改善と発展を重ねていくことが重要である。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

■ヨーロッパの伝統と気品が漂うクラシカルなホテルの職場見学プログラム！

● 実施概要

開催日時 : 令和8年1月19日(月)
 開催場所 : 東京都港区
 参加人数 : 5人 (定員: 15人 / 申込人数: 15人)
 実施事業者 : 企業名非公開



実施風景①

● プログラム内容

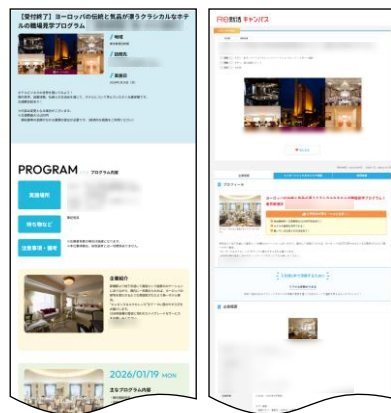
時間	プログラム内容
13:30	集合(企業名非公開)
13:35	オリエンテーション
14:05	館内見学
14:45	就業体験
15:40	交流会
16:30	終了



実施風景②

● 就業体験について

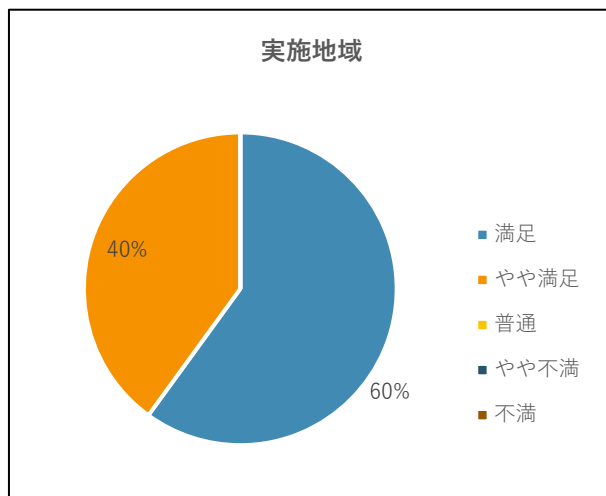
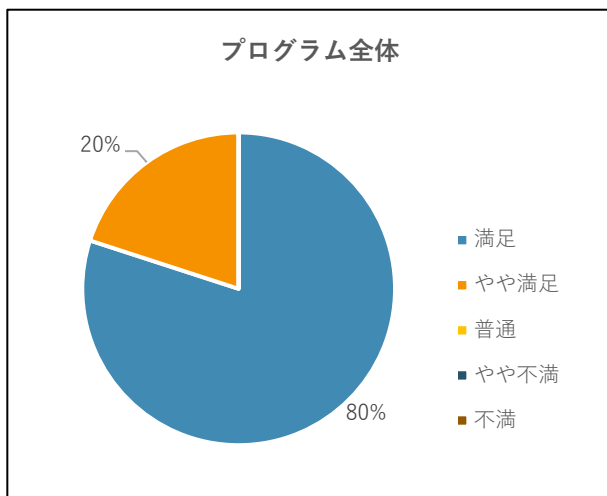
宿泊施設における接遇の考え方や日常業務における取組について紹介を行ったうえで、実務を想定した立ち居振る舞いの実践体験を実施した。特に、お辞儀については、立った状態および座った状態それぞれの場面を想定し、姿勢や動作、所作のポイントを確認しながらレクチャーを受けた。



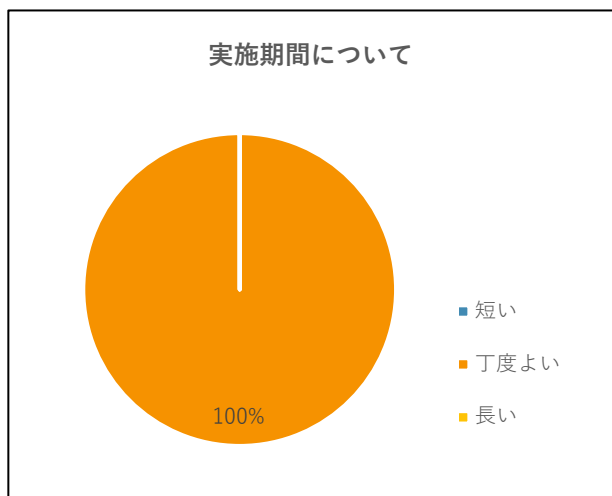
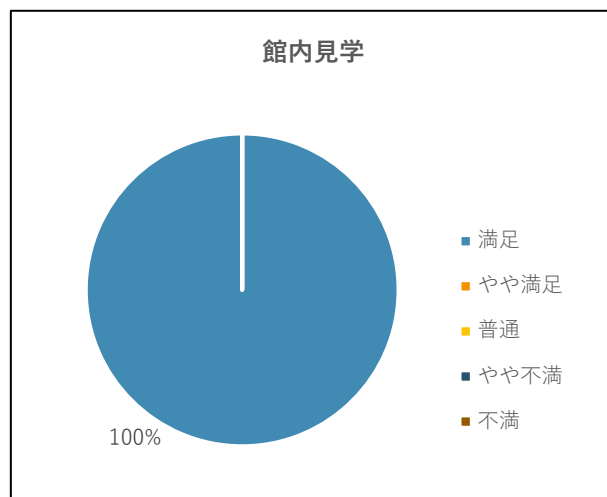
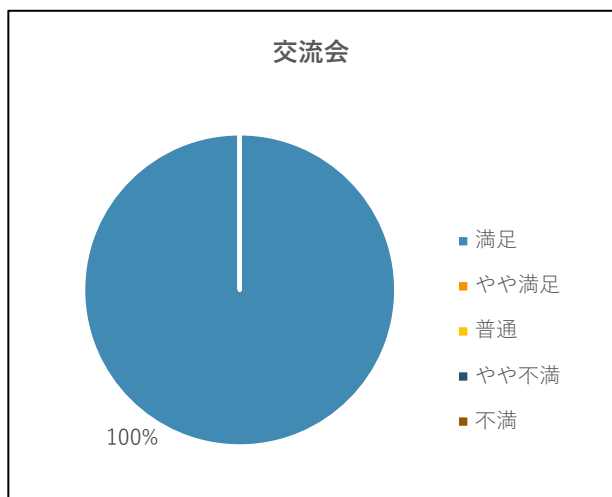
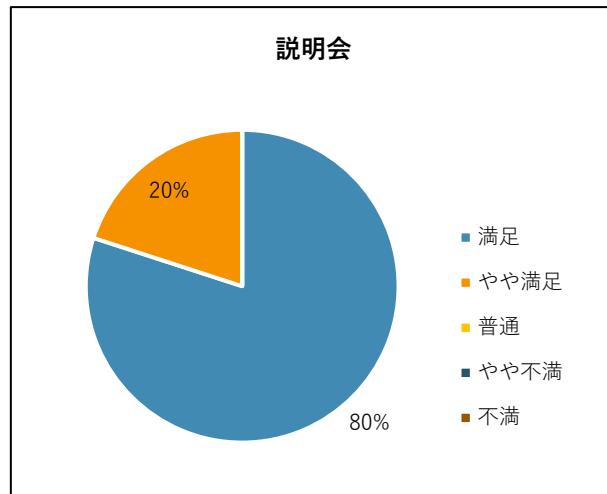
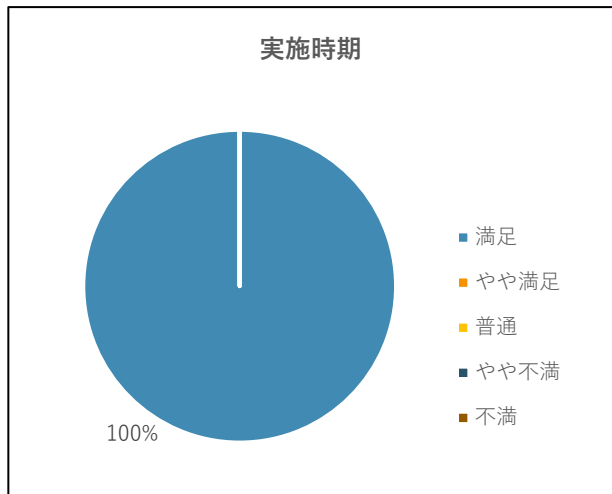
事業サイト募集ページ(左)
Re就活キャンパス募集ページ

● アンケート

Q. 各プログラムの満足度

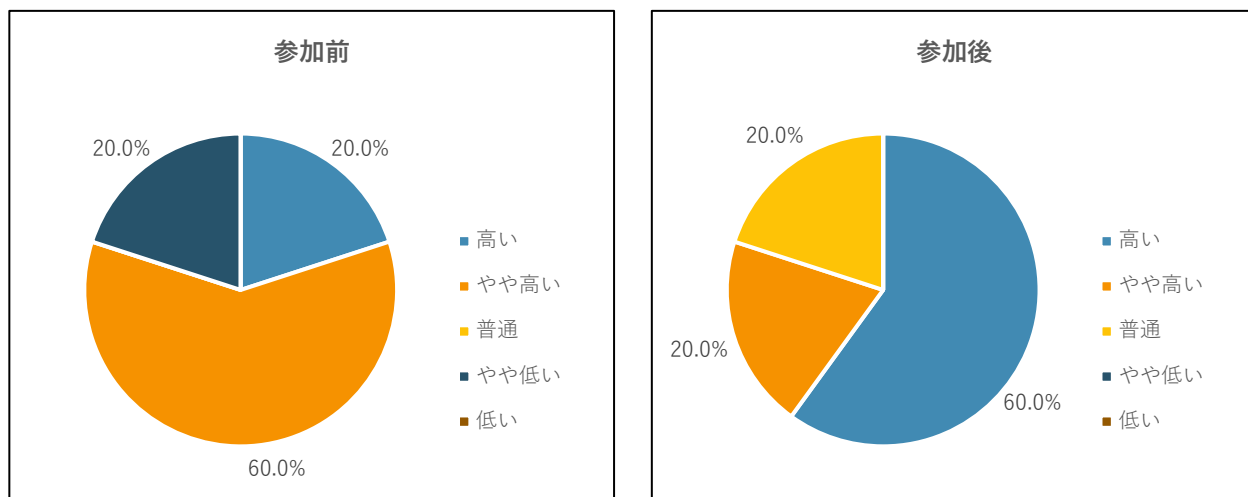


5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信



5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

Q. 宿泊業への就職志望度



Q. 志望度が変化した（しなかった）理由

- 他の業界が第1志望だから
- 実際に就職後のイメージを持ちやすくなったからです。
- もともと興味を持っていたが今日話を聞いてさらに働いてみたいという気持ちになった。

Q. 今回体験したこと以外で、プログラムにあった方がよいこと

- 実際に仕事体験など。

Q. 本事業に対する感想

- 人事担当の方がこちらの質問に更に深く答えてくださったことが印象に残っています。来てよかったと思いました。
- 知りたかったことをしっかりと聞け、さらに普段見れないようなところを見れたのでとても勉強になったし、たのしかった。

● 考察

本プログラムでは、受入事業者を例に、宿泊業における仕事内容や働き方への理解を深めることを目的として実施した。説明では、ラグジュアリーホテルやビジネスホテルといったホテル形態の違いに触れながら、サービスの考え方や業務内容の特徴について紹介した。あわせて、交流会や館内見学を通じて、施設の特色や強みへの理解を促し、宿泊業の多様な在り方を具体的にイメージする機会とした。その結果、学生が宿泊業の現場や働く環境への理解を深めることにつながり、概ね当初の目的に沿った成果が得られたと考えられる。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

● 満足度の高いプログラムについて

プログラム個別の満足度を見ると、交流会および館内見学について、いずれも非常に高い評価が得られた。館内見学については、客室、ラウンジ、レストランを中心に、スタッフによる解説を交えながら実施したことで、宿泊施設におけるサービス内容や付加価値を具体的に理解する機会となった点が、評価を高めた要因の一つと考えられる。また、交流会については、スタッフ2名が学生からの質問に直接答える形式としたことで、業務内容や働き方に関する疑問をその場で解消できた点に加え、現場で働くスタッフの考えや経験に触れる機会となったことが、宿泊業への理解をより具体的かつ実感を伴うものとしたと考えられる。以上のことから、実際の空間を体感し、現場スタッフと直接対話できる内容が、参加学生の満足度向上に大きく寄与したといえる。

● 課題と改善点

本プログラムは、予約人数は15名と確保できたものの、実際の参加人数は5名にとどまった。予約段階では学生の関心を集められていたことから、プログラムの訴求力については一定の効果があつたものと考えられる。一方で、実施が1月中旬だったため、平日の日に約3時間のプログラムとなったことから、学生にとっては授業、定期試験、レポート提出等と重なりやすく、当初は参加可能と判断していた学生であっても、直前になって学業等を優先せざるを得ない状況が生じたことが推察される。今回の結果を踏まえると、今後のプログラム実施にあたっては、学生のスケジュールを考慮し、定期試験期間を避けた時期設定や平日であっても午後遅めの時間帯、または土日での実施を検討することで、参加のハードルを下げる工夫が求められると考える。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

■アートと音楽が交差する屈指の個性派ホテルで特別ランチ付き 職場見学プログラム！

● 実施概要

開催日時 : 令和8年1月20日(火)
 開催場所 : 東京都新宿区
 参加人数 : 11人 (定員: 20人 / 申込人数: 26人)
 実施事業者 : 株式会社新宿東急ホテルズ



実施風景①



実施風景②

時間	プログラム内容
9:30	集合
9:45	オリエンテーション (ホテル概要、仕事内容の説明)
10:00	BELLUSTAR TOKYO, A Pan Pacific Hotelおよび HOTEL GROOVE SHINJUKU, A PARKROYAL Hotelの見学
11:05	就業体験
11:40	交流会ランチ ホテルスタッフの方5名にご参加いただき、3グループに分かれて実施

● 就業体験について

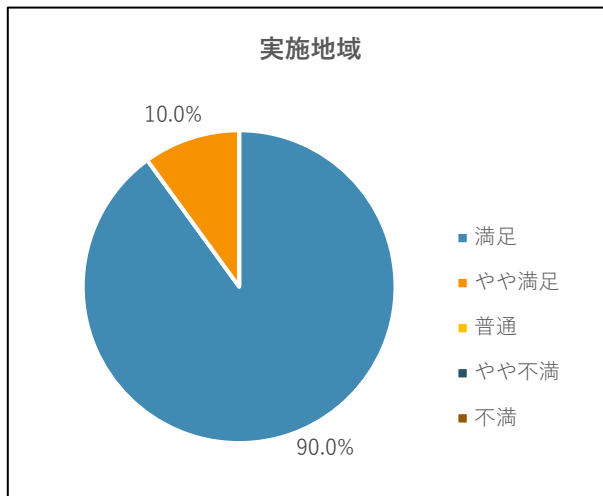
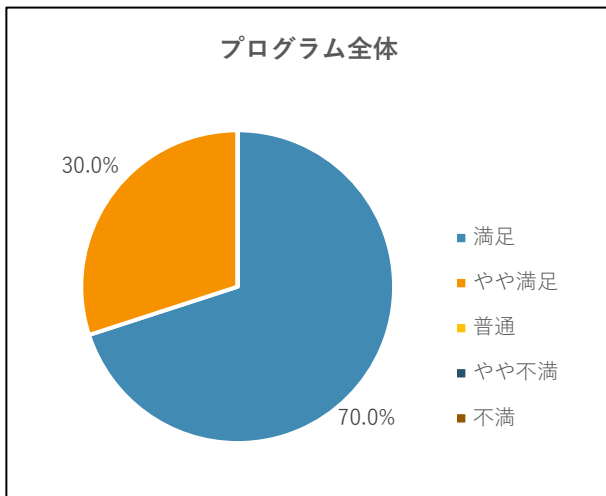
参加者を2グループに分け、靴磨き体験およびレストランサービス体験を実施した。靴磨き体験では、普段あまり目にする機会のない職業について、基本的な靴磨きの方法だけでなく、作業を行う上で意識している工夫やこだわりについて学んだ。また、レストランサービス体験では、主に飲み物の注ぎ方を中心にレクチャーを受け、基本的なルールや作法について理解を深めた。



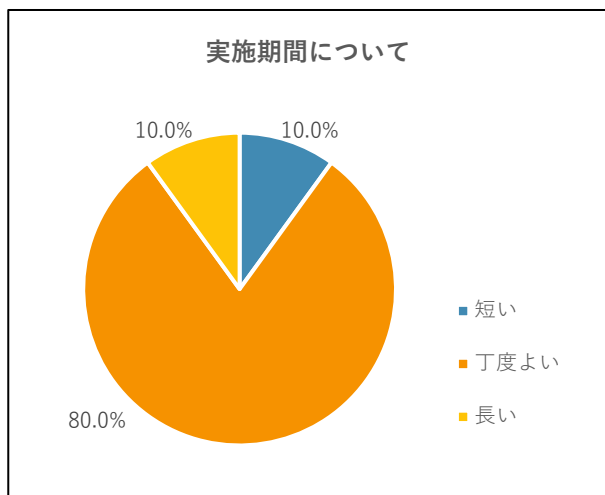
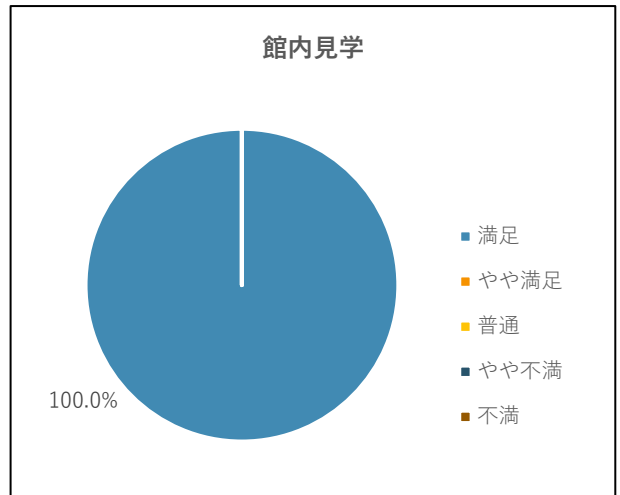
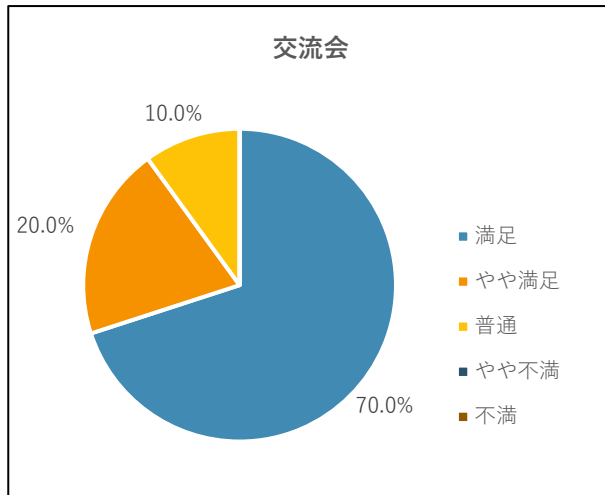
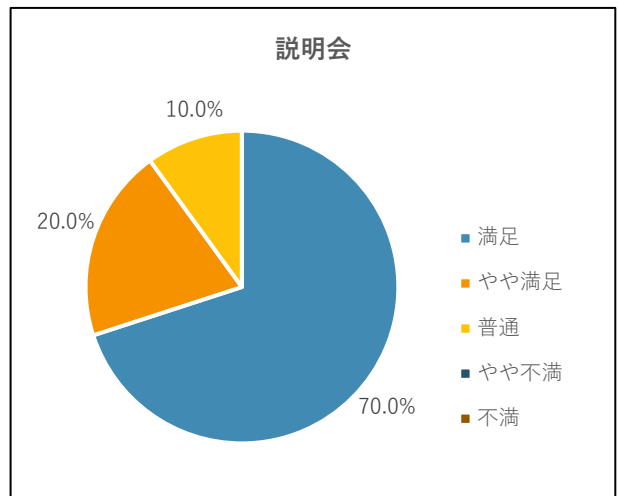
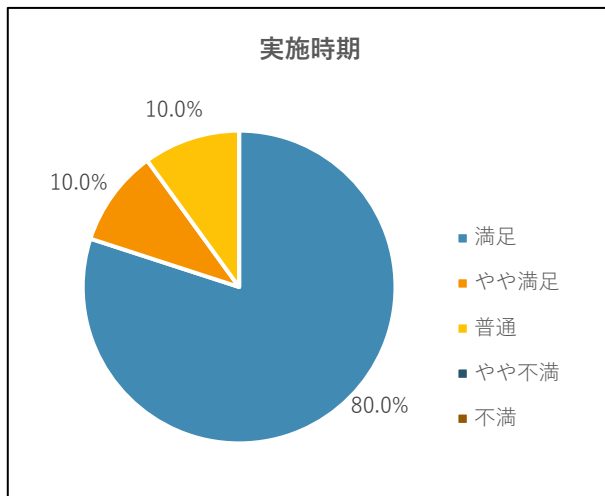
事業サイト募集ページ(左)
Re就職キャンパス募集ページ

● アンケート

Q. 各プログラムの満足度

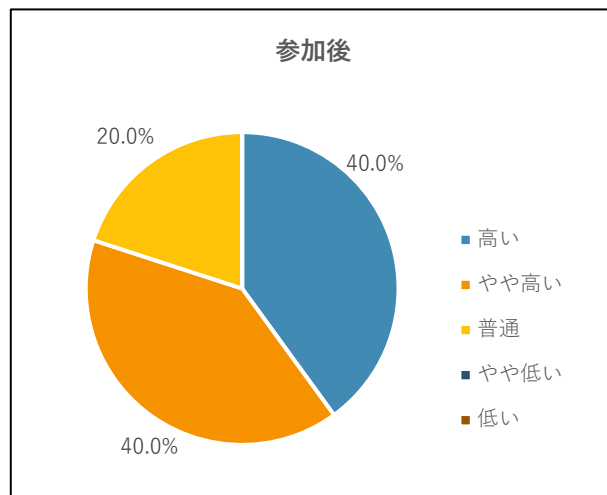
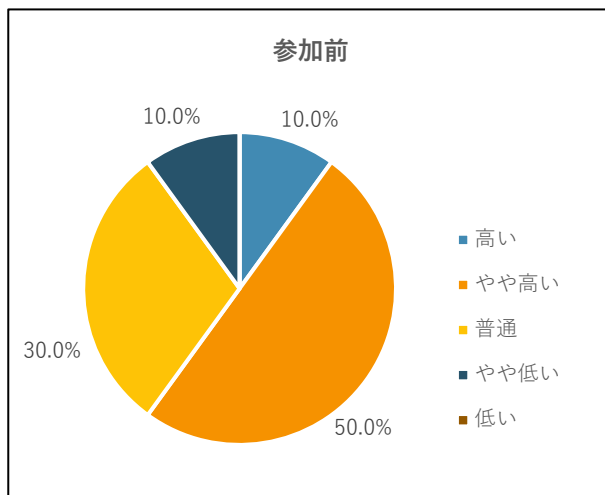


5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信



5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

Q. 宿泊業への就職志望度



Q. 志望度が変化した（しなかった）理由

- 企業の魅力や、仕事一つひとつのこだわりで感動したから。
- 働き方ややりがいなどについてのお話を聞いてホテル業界について理解が深まった。
- 実際に見学体験したことで明確な就職後のイメージを持つことができた。また、疑問ができた際には丁寧に説明をいただけた事でより理解が深まったから。
- 海外のお客様が多いと聞いていて、英語が苦手な私は向いてないかなと思っていましたが、最初は英語が喋れなくても業務を重ねていくうちに話せるようになって聞いて、安心したから
- 初めて経験した後、私も一生懸命働いてプロとして学ぶべきだと思いました
- 予想通りだったから

Q. 今回体験したこと以外で、プログラムにあった方が良かったこと

- 採用についても少しお話があったら良かったです。
- 客室やフロア清掃の手順の説明
- 体験内容をもっと種類が多い方がいい

Q. 本事業に対する感想

- 普段見ることのできない様な客室が見学できてよかったです。
- とても貴重な体験、働いている方のお話を聞くことができました。もし自分が働き始めたら、どのような仕事をするのか具体性を持つことができました。
- 普段見ることのできないお部屋の中など様々なものがみれてよかったです。
- 遠くから来ているので 開始時間を10時以降に送らせていただきたいです。
- 館内見学から座談会まで参考になるお話をたくさん聞くことができました。とても楽しく実りある時間でした。貴重な機会をくださりありがとうございます。
- 本日のプログラムで就活に向けた一歩を踏み出すことができた。今後どのように就職に向けて動いていくのか、より考えていきたいと思えるきっかけになりました。ありがとうございます。
- ホテルの客室まで見る機会はありませんため、非常に参考になりました。本日は貴重な機会をありがとうございます。
- このような経験豊富で尊敬できる人々と一緒に働くことは素晴らしい機会になるだろうと実感しました

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

● 考察

本就業体験プログラムは、インバウンドや富裕層を主な顧客とする都内ホテルを会場とし、地方旅館とは異なる宿泊業の在り方やサービスの質を体感できる機会として実施した。館内見学や就業体験、交流会を通じて、学生はホテル業務の表面的なイメージに留まらず、細部にまで配慮されたおもてなしの考え方や、働くスタッフの姿勢に直接触れることができた。参加者からは、仕事へのこだわりややりがいに感銘を受けたという声や、就職後の具体的な働く姿をイメージできたとの感想が多く見られ、宿泊業への理解促進および就業意欲の向上につながったと考えられる。現場体験と対話を組み合わせた構成は、職業理解を深めるうえで有効であった。

● 館内見学について

館内見学では、普段立ち入ることができない客室や施設を見学するだけでなく、空間設計や導線、備品配置などに込められた工夫やこだわりについても丁寧な説明が行われた点が特徴的であった。学生は、単に豪華さを感じるだけでなく、利用者の快適性や満足度を高めるための細やかな配慮が積み重ねられていることを理解し、サービスの奥深さに強い関心を示していた。また、インバウンド対応や富裕層向けサービスの考え方に触れることで、都内ホテルならではの役割や価値を具体的に学ぶ機会となった。見学体験を通じて、宿泊業における「目に見えないサービス」の重要性を実感する場となったと考えられる。

● 就業体験・交流会について

就業体験では、靴磨きやワインの注ぎ方、レストランサービスなど、学生が日常生活では接することの少ない業務を実際に体験した。業務手順の説明に加え、サービスを行う際に意識している点や仕事のやりがいについても現場スタッフから共有され、学生は「なぜその動作が必要なのか」を理解しながら体験を進めていた。特に、交流会において年齢の近い若手スタッフから直接話を聞いたことで、働くことへの不安が軽減され、数年後の自身の姿を具体的に想像しやすくなった点は大きな成果である。体験を通じ、宿泊業を専門的な職業として捉える意識が醸成されたと考えられる。

● 課題と改善点

当日は定員20名に対し11名の参加に留まり、直前キャンセルが多く発生した点が課題として挙げられる。東京都内での半日開催としたことで参加のハードルは下がったものの、宿泊を伴わない気軽さが結果としてキャンセル増加につながった可能性がある。また、募集時に「特別ランチ付き」といった要素を前面に打ち出したことで、ホテルやプログラム内容への理解が十分でないまま参加を検討した学生も見受けられた。今後は、ホテルの特徴や就業体験で得られる学びを明確に伝え、目的意識を持って参加する学生を集めるためのタイトル設計や事前情報提供の工夫が必要である。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

■アートと音楽が交差する屈指の個性派ホテルで特別ランチ付き 職場見学プログラム！

● 実施概要

開催日時 : 令和8年2月3日(火)
 開催場所 : 宮城県仙台市
 参加人数 : 13人 (定員: 15人 / 申込人数: 20人)
 実施事業者 : 秋保温泉旅館 蘭亭



実施風景①



実施風景②

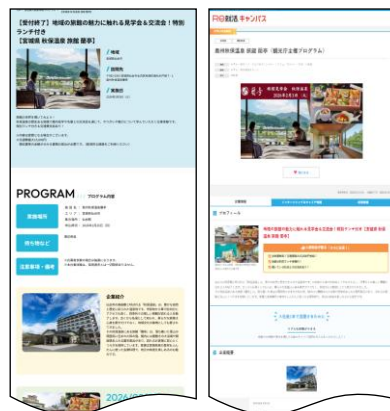
時間	プログラム内容
11:30	オリエンテーション (自己紹介、事務局案内、ホテル・仕事内容の説明)
11:45	館内の見学 (本館・グランピング施設・ドッグリゾート施設)
12:30	ランチ
13:30	交流会
14:30	終了式 (感想共有・担当者からの挨拶)

● 交流会について

交流会では、学生と年齢の近い若手社員3名にご参加いただき、学生からの質問に対してご回答いただいた。専門的な質問に加え、趣味などのプライベートな話題にも話が広がり、終始和やかな雰囲気の中で活発な交流が行われ、相互理解を深める機会となった。

● 館内見学について

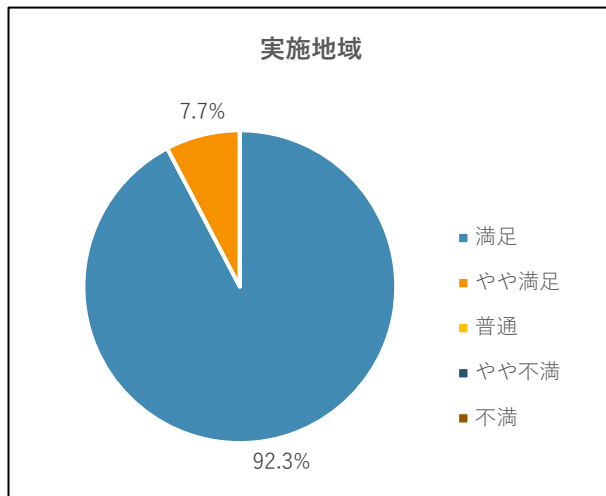
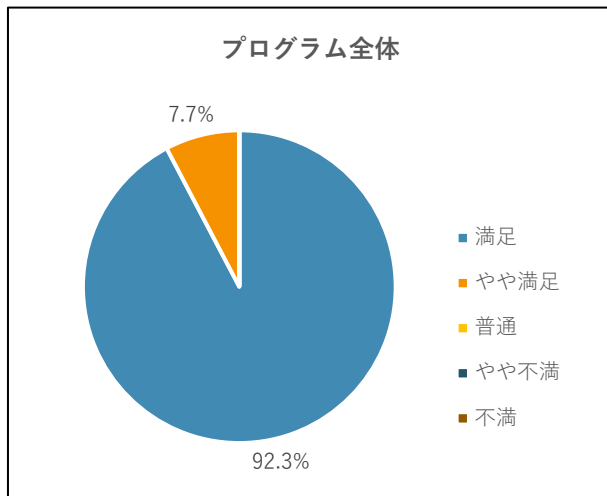
本館の和室・和洋室をはじめ、グランピング施設やドッグリゾート施設などの各種施設に加え、通常は立ち入ることのできない事務所等のバックヤードまで、多岐にわたるエリアを見学した。



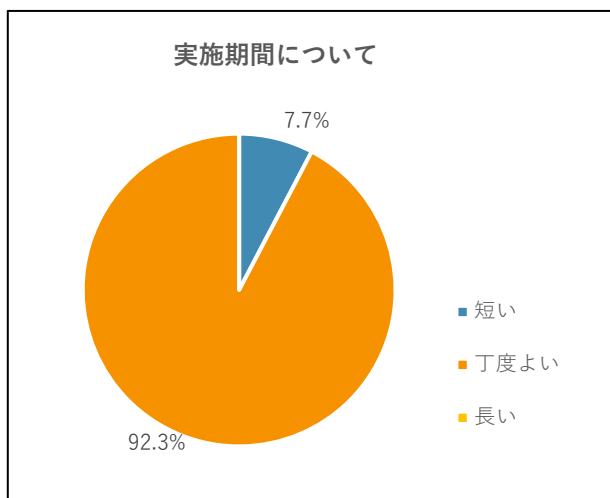
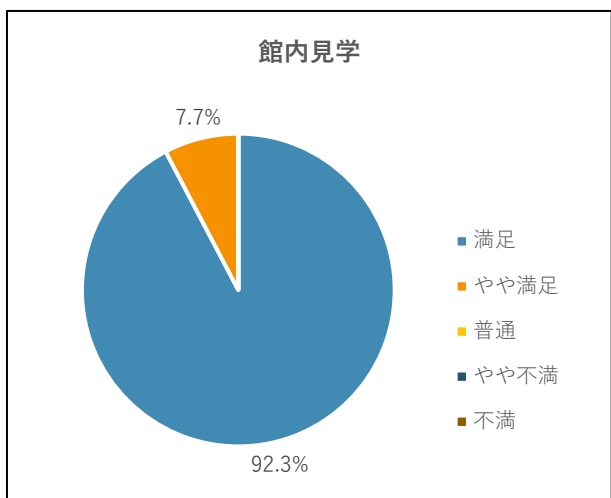
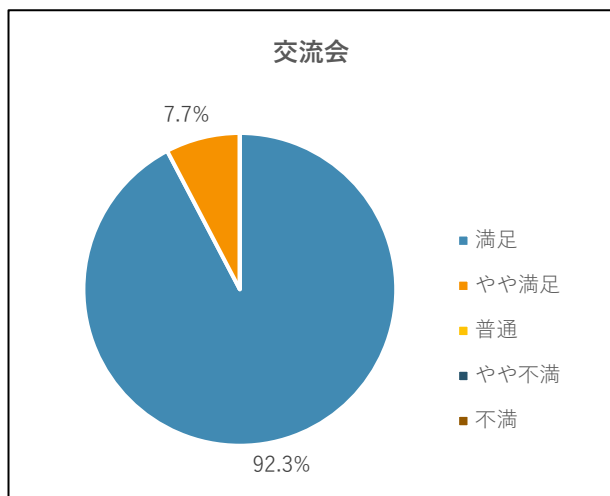
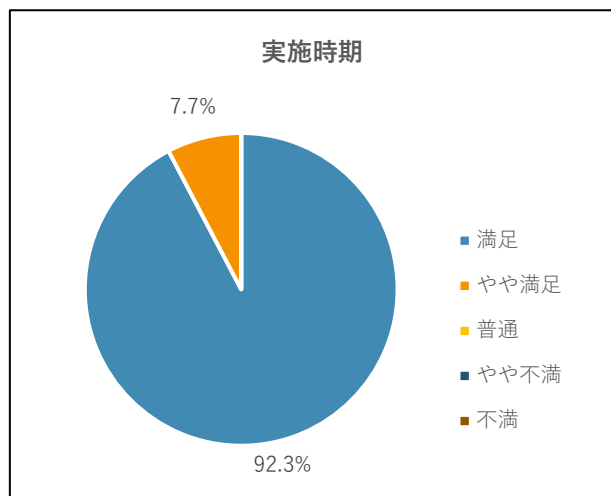
事業サイト募集ページ(左)
Re就職キャンパス募集ページ

● アンケート

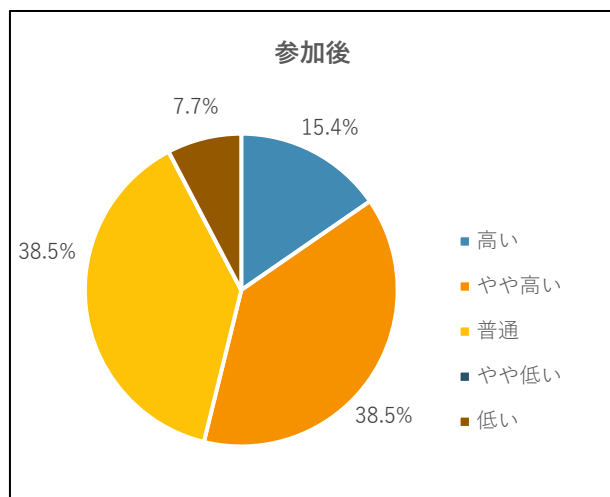
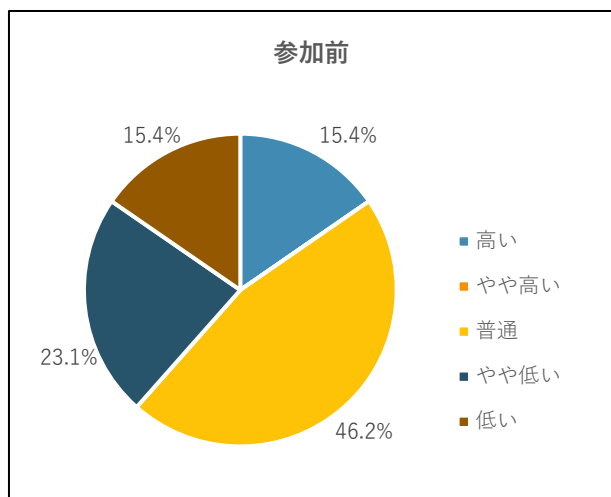
Q. 各プログラムの満足度



5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信



Q. 宿泊業への就職志望度



5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

Q.志望度が変化した（しなかった）理由

- 交流会で生の声を聞いて、社員同士年齢関係なく仲良いことを知りいい職場だと思ったから。
- 従業員さんの距離が近くて、助け合いながらチームとして働いている雰囲気がいいなと思ったから。
- 実際にお話を聞いてより宿泊業に興味がもてました。
- もっと色々な場所を見ないと比較できないので参考にはなったが変化はまだない
- 観光業について全く分かんなかったが接待の面白さを聞くことができて、人生の道が広がった。
- 大学の学びと繋がりそうな部分があった。働いている人が楽しそうだったから。
- 志望度は変化しました。今回のプログラムで無いと入れない場所の見学や社員の方との交流など、実際体験しないとわからないことが知れたので志望度は変化しました。
- お客様と直接関われる仕事へのやりがいを伺えたため
- 今回のプログラムに参加して、働いている人の実際のお話や旅館内で仕事をしている人たちの姿を見て、ホテル旅館業の仕事についてみることや聞くことができ、実際に働くとした時のイメージのようなものが浮かんできました。

Q.今回体験したこと以外で、プログラムにあった方が良かったこと

- グループを作ったのグループワークのようなものがあつたらいいなと思いました。1人で来ている方も多いため、グループワークで軽めのウォーミングアップもあると良いと感じた。
- 外観等もじっくり見たかった。
- ホテル旅館業務の一部を実際に見てみたかったです。(ex.部屋の掃除の工程など)

Q.本事業に対する感想

- 全然知らない世界の話を知ってとても面白かったです。従業員さんの年齢層も私たちと近くとても親しみやすく、楽しく交流できました。
- 客として訪問したとしても見れないところを見せていただき、そして実際に社員の方にお話を聞くことができて宿泊業の魅力がよくわかり、宿泊業により興味ができました。
- 観光業のことは全く知らなかったもので、少しでも知る機会を得られてよかった。とても参考になりました。
- 観光業の凄さを知ることができて楽しかった。もっと観光業について学びたいと思った！
- 楽しかったです。ラフな感じで参加できて、交流した社員さんにも気軽に質問ができてよかったです。
- 今回は蘭亭さんの客室を覗かさせていただき、とても楽しかったです。また、従業員さんと会話をしている社員同士がとても仲が良いのを感じました。お弁当やケーキも美味しく、泊まってみたいと思いました。また、宿泊業にも興味を持ったのでまたこのような機会があれば参加させていただきたいです。ありがとうございました。
- 実際働いている方のお話を聞いて良かったです。こういった仕事のことを聞く時はほとんどが年齢が上の方が多いですが、今回は年齢が近いこともあって話しやすく質問もしやすかったため有意義な時間過ごせて嬉しかったです。観光、宿泊業は、私たちはまだ客の立場でしか見たことがないため、裏のことはまだまだ知らないことばかりで貴重であるし、ホームページには載っていないようなことも実際来てみることで魅了が溢れていることを知れて良い機会でした。
- 全体的を通じて普段は体験できない場所に入ることや社員の方との交流もできたのでとても有意義な時間になった。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

- ・ グランピングや犬と泊まれる宿など 新しいことにも幅広く挑戦している企業に勤めたかったからここの宿に就職したという従業員の方のお話に共感して、就職先を選ぶ一つの要素として持ってみようと思った。
- ・ 今回秋保温泉の蘭亭での就業体験プログラムに参加して、旅館での業務実際に働いている人を見る、そして聞くことで偏見で凝り固まったホテル旅館業に対する考え方が、変わり具体的に考えられるようになりました。一人一人の方が楽しそうに働かれていて、旅館全体の雰囲気がとてもよかったです。

● 考察

本就業体験プログラムは、秋保温泉旅館 蘭亭を会場とし、旅館業に対する理解促進と職業観の醸成を目的として実施した。参加者は、高校生から大学生まで年齢層や参加動機が幅広く、多様な視点でプログラムに臨んでいた。館内見学や社員との交流を通じて、宿泊業を「利用者の立場」ではなく「働く側の視点」から捉える機会となり、業界への理解や関心の高まりが見られた。特に、現場で働く社員の声を直接聞くことで、宿泊業の実情や魅力を具体的に知ることができ、将来の進路選択を考える上で有意義な経験となったと考えられる。

● 館内見学について

館内見学では、本館の和室・和洋室に加え、グランピング施設やドッグリゾート施設、さらには事務所などのバックヤードまで幅広く案内いただいた。旅館という枠にとどまらず、多様な施設を展開している点を実際に見学したことで、参加者の多くが旅館に対する従来のイメージを更新する機会となった。特に、普段は見ることのできない運営の裏側を知ること、宿泊業が多くの部門や役割によって支えられていることへの理解が深まった様子がうかがえた。説明を交えた見学形式により、施設の特徴や工夫が印象に残りやすく、宿泊業の多様性や奥行きを実感する学びの場となった。

● 交流会について

就業年齢の近い社員と直接対話できる環境を整えたことで、参加者がリラックスして質問しやすい雰囲気が生まれていた。業務内容や働き方といった専門的な話題に加え、職場の雰囲気や人間関係、私生活に関する話題にも及び、宿泊業で働くことを身近に感じられる機会となった。食事とは別に交流の時間を設けたことで、表面的な質問に留まらず、仕事観や将来像に関する深い話が交わされていた点も特徴的である。参加者からは、社員同士の関係性や職場の雰囲気に魅力を感じたとの声も多く、働く環境への理解を深める場として有効であった。

● 課題と改善点

本プログラムでは就業体験としての実務体験の時間を十分に確保できなかった点が課題として挙げられる。館内見学や交流を通じて理解は深まったものの、実際の業務を体験する機会がなかったことで、仕事のやりがいや具体的な業務イメージを掴みにくかった可能性がある。今後は、簡易的な業務体験や作業見学を組み込むことで、より実践的な理解につなげることが望まれる。また、参加者には県外からの学生と宮城の学生が混在しており、多様な層が集まった点は成果である。今後はこの特性を活かしつつ、地域学生への訴求強化と、体験内容の充実を図ることが改善点として考えられる。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

■総合型リゾートの仕事の魅力に触れる職場見学ツアー

●実施概要

開催日時 : 令和8年2月25日(水)
 開催場所 : 大分県別府市
 参加人数 : 24人 (定員: 30人 / 申込人数: 53人)
 実施事業者 : 企業名非公開



実施風景①



実施風景②

時間	プログラム内容
11:30	オリエンテーション 会社紹介・ワークの説明
12:00	食事体験 ホテルビュッフェ形式で実施
13:00	館内見学
14:30	交流会
15:00	終了式

●食事・交流会について

食事はビュッフェ形式で実施、グループごとに分かれて和気あいあいとした交流を生み、社員や参加者同士との対話を通じて宿泊業の理解を深めた。また、「同じグループの人の良いところを見つける」といったワークを実施し、観察力や関係構築のあり方を体験的に学んだ。

●館内見学について

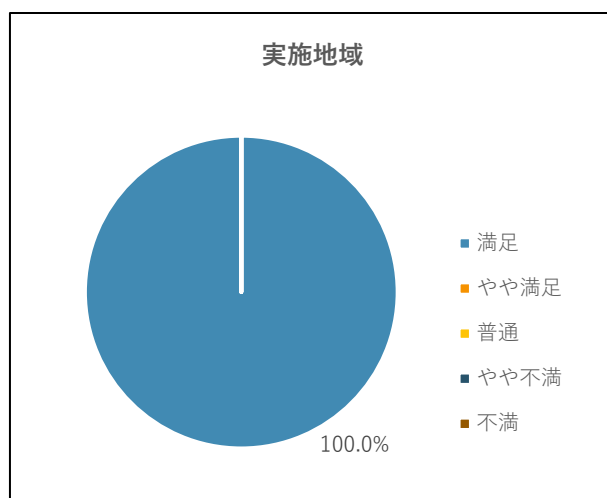
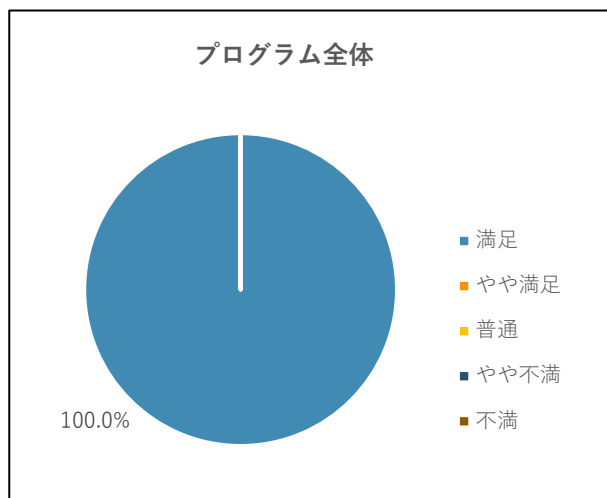
客室に加え、併設の娯楽施設や大規模なビュッフェ会場等を見学し、リゾート施設としての多様な機能を体感した。



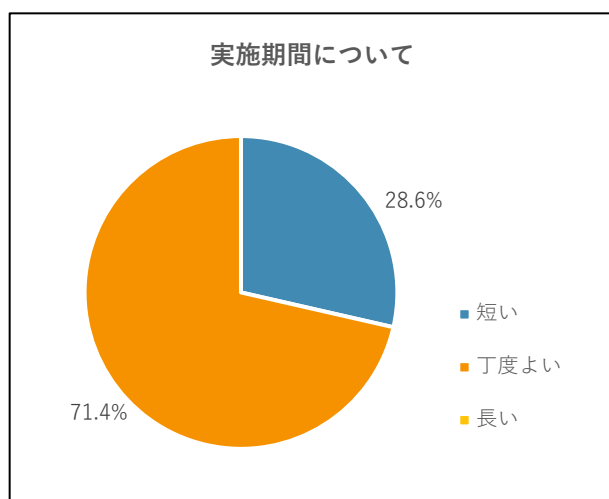
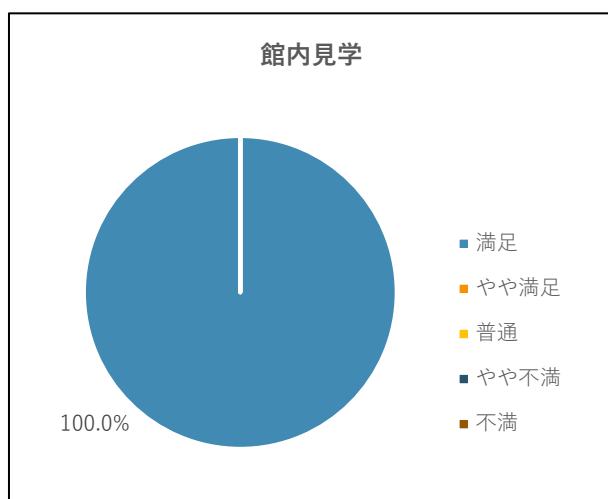
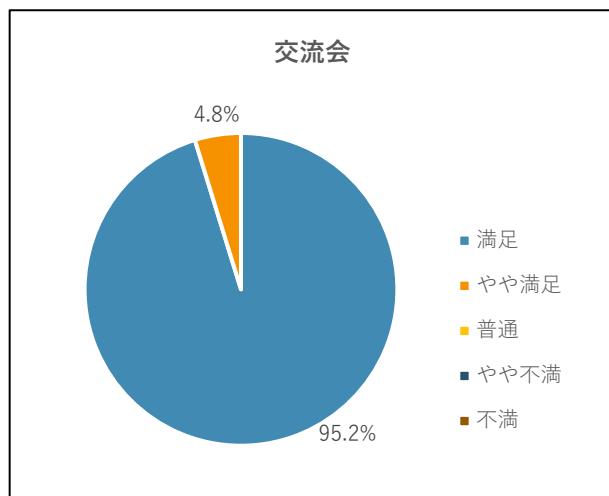
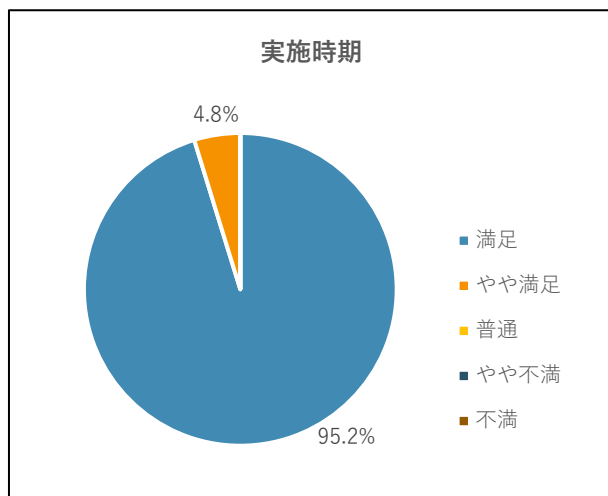
事業サイト募集ページ(左)
Re就活キャンパス募集ページ

●アンケート

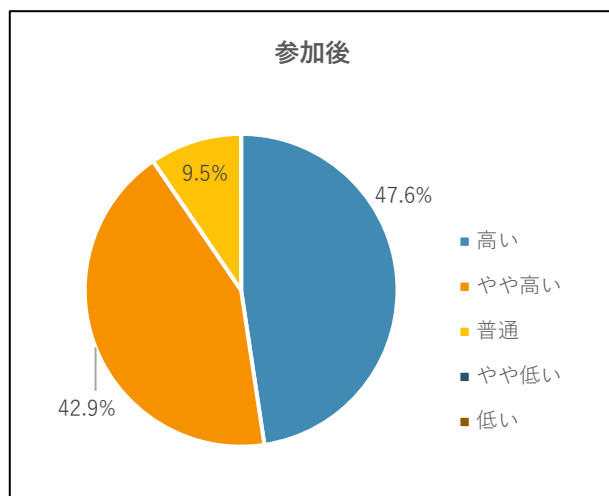
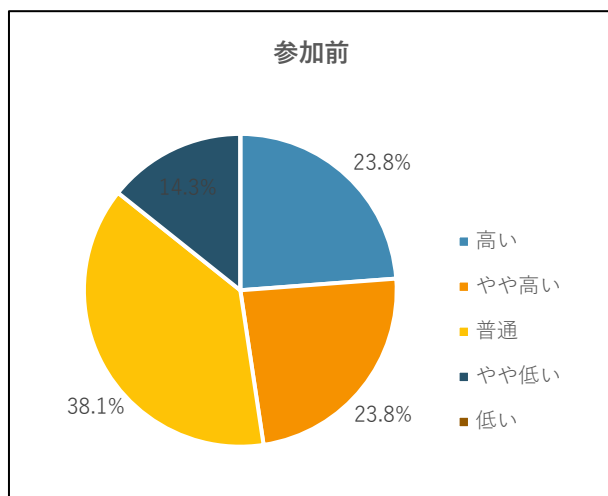
Q. 各プログラムの満足度



5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信



Q. 宿泊業への就職志望度



5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

Q.志望度が変化した（しなかった）理由

- 宿泊業のことが詳しく知れて働いてみたいと思った。
- 様々な仕事があっておもしろいと思ったから
- 生き生きと仕事されている様子が見れた
- 初めて来てとても良かった。スタッフの方もフレンドリーで分かりやすく教えてくださいました。
- もともと志望していて、もっと深いところまで知ることができて、楽しみになったから
- 内容の幅が広く、飽きが来ることがないと思ったため。また内容が多いことからくる刺激が多いと感じたから。
- 職場環境など普段見れないような場所まで知ることができ、宿泊業界にはどんな仕事内容があるのか話を聞くことができたから
- お客様をもてなしたいという思いが従業員さんをはじめ、やりがいとして発揮できる職だと実感できたため。
- 実際に働いてる姿を見て意欲が湧いたから。非常に綺麗なホテルで毎日気分が高揚しながら仕事が出来そうであったから。
- 客室見学や食事を体験したことで魅力をより感じたから。
- ホテルスタッフになりたい気持ちが話を聞いて高まったから。
- やはり何も知らないままだとキラキラとしているイメージがあったが、キラキラしているのは面の部分であって裏の部分もたくさん知ることができたから。
- 実際に見学したことで参加前よりも宿泊業で働くイメージがしやすくなったから。
- 元々宿泊業への志望があったため。しかし、今回のプログラムに参加し、志望度が高まった。
- 元々宿泊業を志していたがより強く宿泊業に就きたいと感じた。

Q.今回体験したこと以外で、プログラムにあった方が良かったこと

- 会社概要をもっと知りたかったです
- もう少しホテルの裏側も知りたかった
場所案内がスムーズではなかったので、事前に打ち合わせて鍵などを持っていたり、開けていたり出来たかなと思いました。
- もっと先輩社員との交流が出来る場があれば良いと思った。各テーブルで一人に対してトークするのはとても良かった。

Q.本事業に対する感想

- 楽しかったです。泊ってみたいと思いました。
- 有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- 普段見られないような細かなところや、ホテル全体を見渡すことができ将来の参考になりました。
- 説明会で大まかな内容をお聞きしていましたが、実際に目で見て体験させていただいて、より業務や魅力について理解を深めることができました。
- 食事が最高で、社員さん方ともとても楽しく話せました！ありがとうございました！
- よりホテルへの思いが強くなりました！
- スイートルームなどなかなか体験できないことをたくさん経験させてもらってとても楽しかったです！また参加したいと思いました。ありがとうございました！
- スケジュールは結構詰めていたけど、段取りも良く、楽しめたので今日は参加できて嬉しかったです。
- 他の方とも交流する機会が多くあり、とても学びになった。ホテルのイメージは良かったがさらに良くなった。
- 宿泊業界にもっと興味を持つことができたので、もっとこの業界について詳しく掘り下げて、魅力を知っていこうと思った

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

● 考察

機会となり、業務の実情と魅力を具体的に理解する有意義な経験となったと考えられる。職場見学プログラムは、宿泊業への理解促進と職業観の醸成を目的に実施した。参加者は高校生から大学生まで年齢層や参加動機が幅広く、多様な視点で臨んだ。館内見学や社員からの説明を通じ、宿泊業を「利用者」ではなく「働く側」の視点で捉える

● 館内見学について

館内見学では、客室に加え、併設の娯楽施設や大規模なビュッフェ会場等を見学し、リゾート施設としての多様な機能を体感できた点が成果である。参加者からは「初めて来てとても良かった」「内容の幅が広く刺激が多い」など、施設規模や雰囲気に対する肯定的な声が多く寄せられ、アンケートにおいても館内見学について「満足」と回答した参加者は100%であった。さらに、グループ分けを行い「同じグループの人の良いところを見つける」ワークを見学および食事会に接続したことで、限られた時間の中で初対面の相手の強みを捉える姿勢を促す機会となった。これにより、宿泊業において重要となる観察力や関係構築のあり方を体験的に学ぶ場となった。

● 就職志望度の変化について

本プログラムは他プログラムと比較して、参加前から宿泊業への志望度が高い層が一定数参加していた点が特徴である。加えて、参加前に志望度が高くなかった層も半数以上存在したが、実施後アンケートでは90.5%が「高い」「やや高い」と回答しており、全体として志望度向上が確認できた。理由としては、「宿泊業のことを詳しく知れた」「様々な仕事があって面白い」「生き生きと働く姿を見て意欲が湧いた」「裏側も知れてイメージが具体化した」等が挙げられ、職種の多様性と現場の空気感が進路選択の解像度を上げたと考えられる。食事会をビュッフェ形式で実施したことも、和気あいあいとした交流を生み、社員や参加者同士との対話を通じて「働く場」としての魅力をも自分事化する後押しとなった。

● 課題と改善点

参加者は高校生から大学生まで年齢幅があり、就職を見据えて参加した者から気軽に参加した者まで動機も多様であった。このため、参加者のステージ差により、期待する学び（業界理解、職種理解、選考・働き方の具体等）に乖離が生じ得る点が課題である。今後は進路検討段階に応じて、「業界理解中心」「就職意識醸成」「志望者向け深掘り」等の複数コースを設定し、学びの適合度を高めることが望まれる。また、日帰りでも多くの内容を実施した結果、実施時間が「短い」との声も一定数見られた。バックヤード見学や裏方業務、実際に働く様子を見学、先輩社員との交流時間の拡充を組み込むことで、「働く」視点の形成を一層促進できると考えられる。加えて、宿泊を伴う就業体験型プログラムとすることで、より深い理解につながる可能性がある。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

■歴史と未来をつなぐおもてなしを現場で学ぶ職場見学プログラム

●実施概要

開催日時 : 令和8年2月26日(木)
開催場所 : 広島県尾道市
参加人数 : 学生16人 (定員: 16人/申込人数: 16人)
 教員2人
実施事業者 : 尾道国際ホテル
連携機関 : 学校法人穴吹学園

●プログラム内容

時間	プログラム内容
11:15	集合(尾道駅)
11:30	オリエンテーション
12:00	昼食兼交流会
13:00	館内見学 就業体験
15:00	振り返り
15:30	終了



実施風景①



実施風景②

●実施までの流れ

本プログラムは学校法人穴吹学園と連携して実施したプログラムである。穴吹学園は、昨年度に四国運輸局が実施した就業体験プログラムに参加した実績があり、その際には留学生が参加していた。今年度についても同様の取組に関する意向を確認したところ、引き続き留学生を中心とした参加ニーズがあることが明らかとなった。これを受け、参加希望者数や学生が参加しやすいエリアといった条件を踏まえて実施先を検討した結果、尾道国際ホテルにおいてプログラムを実施することとなった。

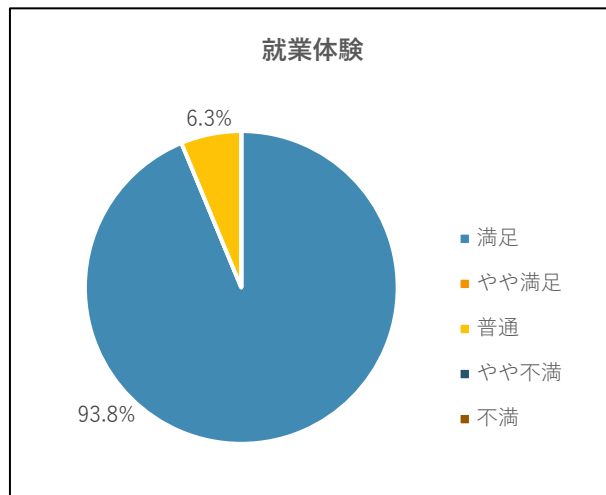
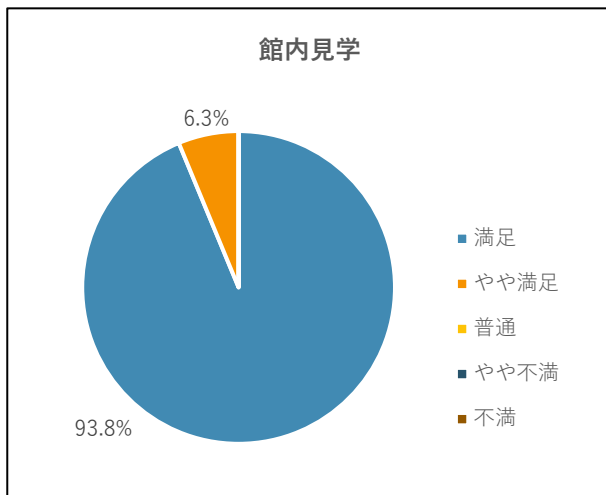
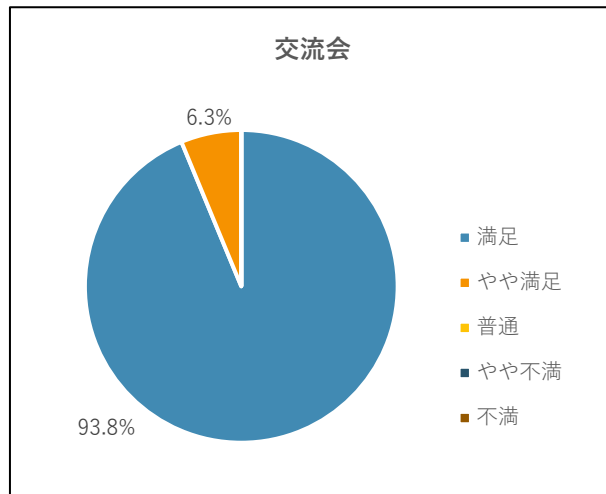
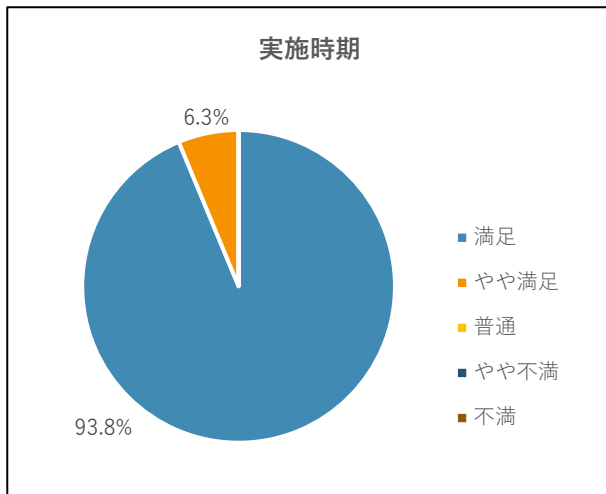
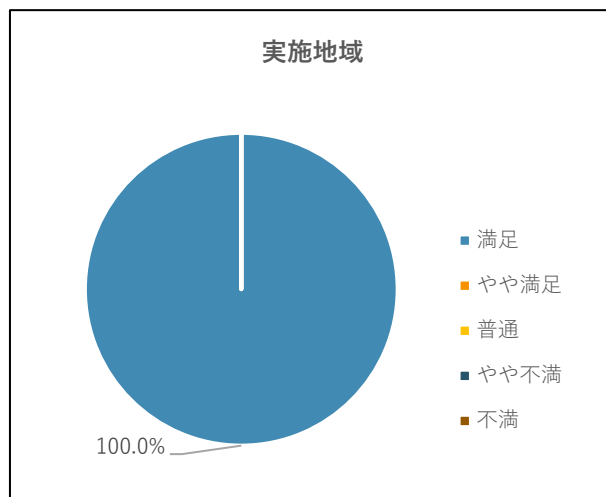
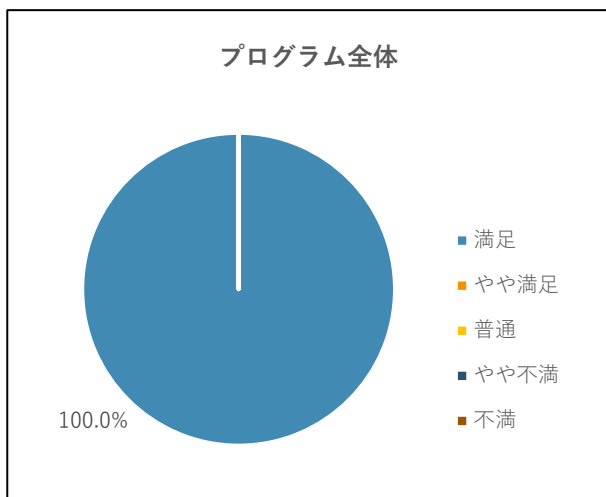
●就業体験・館内見学について

2グループに分かれ、客室、フロント、レストラン、宴会場を見学した。また、宴会場では食事のとりわけ方や食器の下げ方、飲み物の注ぎ方といった接遇の基本となる動作に加え、食器の扱い方やに関するレクチャーを受けた後、実際の場面を想定した実践を行った。

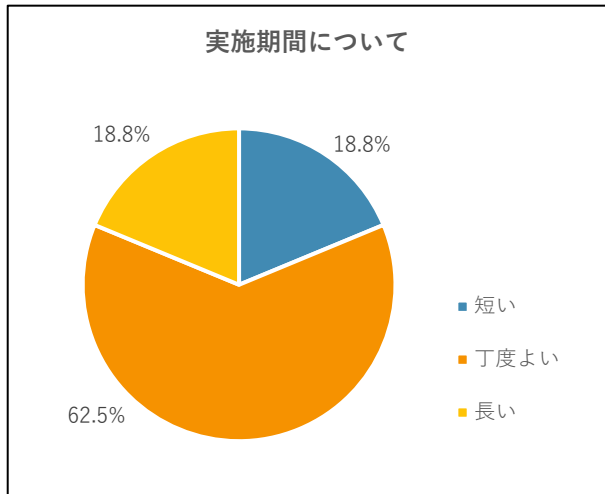
5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

● アンケート

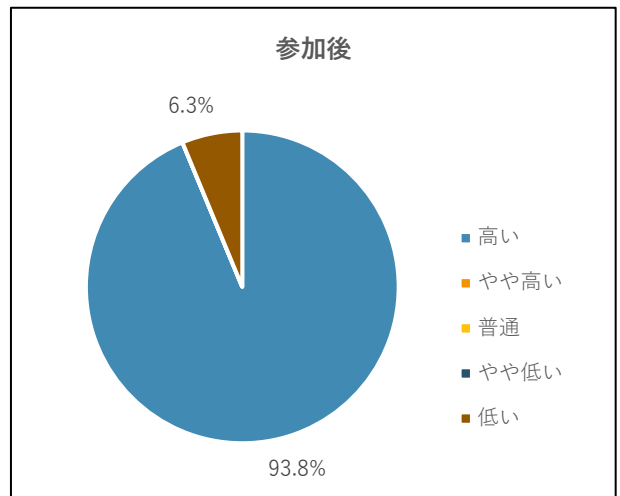
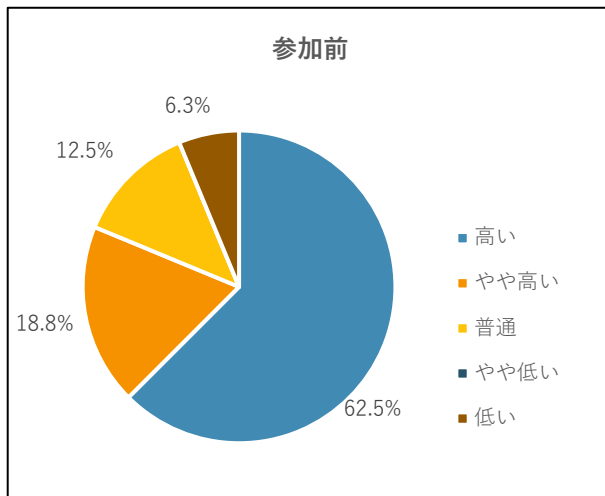
Q. 各プログラムの満足度



5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信



Q. 宿泊業への就職志望度



Q. 志望度が変化した（しなかった）理由

- ホテルではたらかたいというきもちは かわりませんでした。
- 実際にホテルの仕事を体験して、スタッフの皆さんがとても親切で、仕事のやりがいを感じました。お客様に喜んでもらえる仕事だと思い、もっとホテルで働きたいと思いました。
- 実際にホテルの仕事を体験して、スタッフの方々がとても丁寧にお客様に対応している姿を見て、ホテルで働きたいという気持ちが強くなりました。また、チームワークの大切さや接客のやりがいを感じる事ができたからです。
- ホテルを見学して、仕事の内容がよく分かりました。スタッフのみなさんが優しくて、ここで働きたい気持ちが強くなりました。
- プログラムに参加する前は、ホテルの仕事についてあまりよく知りませんでした。
- 質問3では少し不安な気持ちがありましたが、質問4では安心した気持ちに変わりました。実際に体験してみると、スタッフの方がやさしく説明してくださり、分からないことも丁寧に教えてくれたからです。そのため、緊張がなくなり、前向きな気持ちになりました。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

- ・ 実際にホテルの現場を見ることで、仕事の内容を具体的に知ることができました。スタッフの方が協力しながら働いている姿を見て、ホテルの仕事に興味が強くなりました。
- ・ 質問3のときはよく分かりませんでした。質問4でくわしく考えることができたので、気持ちが変わりました。
- ・ スタッフの方がやさしく教えてくれて、チームワークが大切だと分かりました。そのため、ホテルの仕事は大変ですが、とてもやりがいがあると思うようになりました。だから、もっと勉強して、将来はホテルで働きたいという気持ちが強くなりました。
- ・ 実際にホテルの仕事体験して、とてもやりがいがあると感じました。スタッフの皆さんも親切で、もっと働きたいと思いました。
- ・ このホテルは大げしき海はとてもきれいですホテルの方はやさしです
- ・ 私日本に長い時間まですみたいのでたくさんホテルで働きたいです。

Q.今回体験したこと以外で、プログラムにあった方がよいこと

- ・ フロントの仕事も少し体験してみたいと思いました。チェックインやチェックアウトの流れも学びたいです。
- ・ フロント業務をもう少し詳しく体験できる時間があればよいと思いました。また、外国人のお客様への対応についても学べると、さらに勉強になると思います。
- ・ 今の内容でもとても良かったですが、もう少し体験の時間があたらうれしいです。
- ・ 実際の仕事をもっと長い時間体験できるプログラムがあればよいと思います。例えば、お客様への接客ロールプレイや、スタッフの方との質問時間をもっとあると、より深く学べると思いました。
- ・ 客室清掃の詳しい説明や、スタッフの一日のスケジュールについても聞くことができれば、もっと理解が深まると思います。
- ・ 今日の体験以外では、もっと実際に体験できる活動を増やして、参加者どうしで意見を交換したり、グループで話し合う時間があたらよいと思います。いろいろな考えを聞いて、もっと理解を深めたいです。
- ・ 今日の体験のほかに、ホテルのフロントの仕事をもっとくわしく学びたいです。チェックインやチェックアウトのしかたを、実さいにれんしゅうできたらよいと思います。
- ・ もっと実際の仕事を体験できる時間があたらうれしいです。また、お客様対応の練習も増やしてほしいです。

Q.本事業に対する感想

- ・ To much good
- ・ 優しく教えていただいて本当にうれしかったです。
- ・ ホテルの人はとてもやさしい
- ・ ホテルはきれいでりっぱでした。もうこうどなぎじゅつをつかっています。とてもべんりで、かんきょうにやさしいホテルです。
- ・ 今回のプログラムはとても勉強になりました。実際の現場を見ることができ、ホテルの仕事について理解が深まりました。貴重な経験をありがとうございました。
- ・ 今回のプログラムを通して、ホテルの仕事の魅力や大変さを実際に知ることができました。スタッフの皆様が優しく教えてくださり、とても良い経験になりました。将来はこのようなホテルで働きたいと強く思いました。貴重な機会をありがとうございました。
- ・ 今日のプログラムはとても良かったです。実際の仕事を見ることができて、とても勉強になりました。交流会も楽しかったです。将来ホテルで働きたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ わたしもこのホテルで、しっかりとせっきやくをまなびながらはたらきたいとおもいます。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

- おきゃくさまにえがおでたいおうしているすがたが、とてもいんしょうにのこりました。
- 今回の体験を通して、仕事の大変さとやりがいの両方を学ぶことができました。特に、チームワークの大切さや、お客様の立場に立って行動することの重要さが印象に残りました。これからの勉強や将来の仕事に生かしていきたいと思います。
- ホテルの仕事について実際に体験でき、とても良い経験になりました。お客様に喜んでいただくために、細かいところまで気を配っていることが分かりました。今回学んだことを、これからの勉強や将来の目標につなげていきたいです。
- 今回の体験はとても勉強になり、新しいことをたくさん学ぶことができました。実際に体験することで理解が深まり、とても有意義な時間でした。これからの生活や勉強にも役立てたいと思います。ありがとうございました。
- 今回の体験は、とてもよい経験になりました。実際のホテルの仕事を見て、サービスの大切さを学びました。スタッフの方のあいさつや言葉づかいがとてもいいので、素晴らしいと思いました。お客様を大切にすることがよく分かりました。
- 本日のインターンシップは、大変勉強になりました。スタッフの皆様がとても親切で、楽しく働くことができました。また、こちらでいただいたお料理も大変おいしかったです。この貴重な経験を、将来に生かしていきたいと思います。
- 国際尾道ホテルは観光つながるホテルとおもっています。このホテルの方はやさしく説明してくれました。本当にありがとうございました。
- 優しくたくさんのお話を教えてくださいました。いろいろなことを知るチャンスいただきまして本当にありがとうございました。

● 考察

本プログラムは、穴吹学園と連携し、留学生を対象に地域に密着した職場見学を通じて、宿泊業への理解を深めることを目的として実施した。福山キャンパスとの連携により実施したものの、参加学生の中には尾道地域について詳しく知らない者も多く、プログラムを通じて地域の特色や宿泊業が地域と関わる在り方について理解を促す機会となった。また、プログラムへの参加をきっかけに、個別にインターンシップへの参加を希望する学生も見られ、受入事業者と穴吹学園が連携して調整を行うなど、より実践的な就業体験へとつながる動きも生まれた。これらの取組を通じて、学生の職業理解の深化に加え、今後における企業と学校の継続的な連携につながる契機となった点で、意義のある事例であったと考えられる。

● 留学生採用における先輩社員の重要性について

今回のプログラムでは、留学生として採用された先輩社員が参加し、質疑応答の時間を設けたことで、学生から多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われた。同じ境遇で日本において就業している先輩社員の経験や考えを直接聞くことで、留学生として日本で働く姿をより具体的にイメージする機会となった学生が多かったように見受けられる。このような取組は、学生側の不安軽減や職業理解の深化につながるとともに、企業側にとっても、留学生が安心して働ける職場環境を具体的に伝える場となり、採用後のミスマッチ防止や定着促進につながると考えられる。さらに、将来的な採用候補者に対して、実際に活躍する先輩社員の姿を示すことは、留学生採用を進めるうえで有効な訴求ポイントといえる。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

● 課題と改善点

本プログラムに参加した留学生は、ホテル・宿泊業に関連する学科に所属しており、宿泊業への就職意欲も比較的高い学生が多かった。そのため、業界や職種に関する基礎的な説明に加え、より実践的な業務体験を求める声が多く寄せられた点が、本プログラムの特徴として挙げられる。学生からは、フロント業務を実際に体験したい、接客ロールプレイや業務体験の時間をさらに増やしてほしいという要望が見られ、宿泊業務全体をより詳細に理解したいというニーズがうかがえた。これらの意見を踏まえ、今回のように宿泊業への関心や理解度が比較的高い学生が参加する場合には、業務概要の説明に加え、実践的な体験内容を組み込むことで、学生の理解をより深め、就業後の姿を具体的にイメージできるプログラムを作成することが効果的と考える。

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

(4) オンデマンドセミナー

オンデマンドセミナーについては、学生等が宿泊業界への就職意欲を高めることを目的として制作し、事業サイトで配信した。主な対象は若手人材および学生としたが、教員が視聴した際にも宿泊業界に対する理解を深めるとともに、将来の進路選択・進路指導の一助となる情報提供を実施。本セミナーは、全5本（各10分以内）で構成し、隙間時間でも気軽に視聴できる構成とした。

●動画で分かる！宿泊業界仕事の魅力発見セミナー

開催日時：令和8年1月8日

講師：株式会社リッチピクチャーズ

就活プロモーショングループプロデューサー 小澤 明人 氏

講師



テーマ	狙い
宿泊業界ってどんな世界？	<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊業界がどんな仕事をしているのか、社会でどんな役割を果たしているのかを理解する・ 他業界との違いや、観光市場の成長による将来性を知ること、「この業界で働く価値」をイメージできる
ここがスゴイ！ 宿泊業界の魅力	<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊業界ならではのやりがいや楽しさを具体的に知る・ グローバルなキャリアや語学力アップなど、学生にとって魅力的なポイントを発見する
宿泊業界で 身につくスキルって？	<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊業界で得られる「人間力」や「問題解決力」など、どんなスキルがキャリアに役立つか理解する・ 他業界との違いをポジティブに比較しながら、スキルの価値を実感できる
キャリアの 広がり方を知ろう！	<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊業界で得られる「人間力」や「問題解決力」など、どんなスキルがキャリアに役立つか理解する・ 他業界との違いをポジティブに比較しながら、スキルの価値を実感できる
泊業界の仕事って どんな感じ？	<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊業界のリアルな仕事の流れや、やりがいを講師の視点で知る・ 「自分もできそう！」と思える具体的なイメージを持てる

5. 学生教員を対象とした観光産業の魅力発信

動画で分かる！宿泊業界 仕事の魅力発見セミナー サイト掲載イメージ

TOP 新着情報 宿泊業の魅力をj知る 宿泊業の就業体験プログラム 宿泊事業者向けプログラム

TOP 宿泊業の魅力をj知る > 動画で分かる！宿泊業界仕事の魅力発見セミナー

宿泊業の魅力をj知る

動画で分かる！宿泊業界仕事の魅力発見セミナー

《観光JAPANと研究》
宿泊業界の全て

ヒゲ教授 / 小澤明人

宿泊業界ってどんな仕事？どんな魅力があるの？
キャリア実現のプロが語る、宿泊業界をおすすめする理由をお伝えします！

▶ INDEX

- ▶ 宿泊業界ってどんな仕事？
- ▶ ここがすごい！宿泊業界の魅力
- ▶ 宿泊業界で身につくスキルって？
- ▶ 宿泊業界の仕事ってどんな感じ？

このオンラインセミナーでは、「ヒゲ教授」としてキャリア実現のプロ・小澤明人が、宿泊業界のリアルな魅力“わかりやすく”紹介します。
「人と関わる仕事ってどんなやりがいがあるの？」「どんなスキルが身につくの？」そんな疑問に答えながら、宿泊業界ならではの強みを楽しく解説。
グローバルな働き方、留学のアップ、人とのつながりを大切にできる仕事——このセミナーを視聴は、宿泊業界で働く機会がきっと見えてきます。

こんな方におすすめ

- ・宿泊業界、観光業界に興味のある方
- ・業界遊びで遊ぶ就職活動中の方
- ・物の業界への転職を検討している方

“ヒゲ教授”こと小澤明人 プロフィール

観光業界のプロ！約20年間、企業研修や出張企画に携わり、日本初の「観光サポーターセンター」を立ち、年間1000以上の研修会や就業見学会を行い、これまで2300名以上の学生・教員をサポート。

「宿泊業界ってどんな世界？」

この動画で分かること・・・

- ▶ 宿泊業界がどんな仕事なのか
- ▶ 宿泊業界の社会的な役割
- ▶ 観光市場の伸びしろから見える将来性

▶ 宿泊業界で働く価値がイメージできる！

キャリアや留学の方へ

宿泊業で働く魅力がイメージできる！

「宿泊業界で身につくスキルって？」

この動画で分かること・・・

- ▶ 宿泊業界で身につくスキルとその価値
- ▶ スキルが身につく意義

▶ 宿泊業界でのスキルアップの可能性が見えてくる！

「キャリアの広がり方を知ろう！」

この動画で分かること・・・

- ▶ 就職後のキャリアステップ
- ▶ 転職までで就職することで見つかる業界別

▶ 宿泊業界でのキャリアの可能性が見えてくる！

「宿泊業界の仕事ってどんな感じ？」

この動画で分かること・・・

- ▶ フロント業務の1日の流れ
- ▶ やりがいが生まれる瞬間について

▶ 宿泊業界で働く魅力がイメージできる！

▶ 一覧に戻る

～ 前の記事

関連記事

【プログラムレポート】宿泊業界で就業体験！大分県・穂高地区

レポート

仲居のしごと認識

コラム

宿泊業の今とこれから

コラム

教員は旅行で海外ホテルに泊まったら何があるか？ホテルで働くという価値観がめまぐるしく変わってきている...

観光庁
 Japan Tourism Agency
令和7年度観光庁行政施策推進計画
 宿泊業における人材確保促進事業

6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作

(1) 実施概要

宿泊業への関心を高めることを目的として、宿泊業界の魅力を広く発信するための資料およびコンテンツ制作を行った。具体的には、パンフレット、事業サイト、漫画動画の作成を行い、紙媒体Web動画といった複数の媒体を活用し、媒体ごとの特性を生かした多角的な情報発信を行うことで、宿泊業界の魅力をより効果的に伝えることを目指した。

(2) パンフレット

■概要

本パンフレットは、宿泊業界への理解を深め、将来の進路や就職先の選択肢として宿泊業を前向きに捉えてもらうことを目的として作成したものである。学生や求職者、教育機関等に向けて、宿泊業界の全体像や仕事の魅力を分かりやすく伝えることで、宿泊業への関心喚起および業界理解の促進を図った。

内容については、宿泊業界の現状と将来性をはじめとした業界の解説や「宿泊業しごと図鑑」と題して多様な職種の具体的な仕事内容を紹介し、それぞれの魅力ややりがいや伝わる構成とした。ほかにもキャリアプランや就職に向けてどのような準備や行動が必要かについて掲載し、将来を具体的にイメージできる内容となった。なお、本パンフレットについては、後述する漫画動画のベースとなる1ページ漫画を追加したバージョンも作成し、動画コンテンツとの連動を図ることで、より親しみやすく、理解しやすい情報発信を行った。

パンフレットの作成により、宿泊業界に関する情報を体系的かつ視覚的に伝えることが可能となり、短時間で業界理解を促進できるツールとして活用できた点が大きなメリットである。加えて、教育機関やイベント等において配布配架することで、継続的な情報提供が可能となった。

■主な配布先

配布場所	配布時期	配布数
当社主催就職イベント	令和7年6月～令和8年3月	31,000冊
教育機関	令和8年1月	18,000冊
自治体	令和7年9月～令和8年2月	1,000冊
プログラム参加学生	令和7年9月～令和8年2月	200冊
合計		50,200冊

6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作

パンフレット 表紙



観光庁
Japan Tourism Agency

令和7年度宿泊業における人材確保促進事業






Lodging Industry Recruit book

宿泊業の魅力



宿泊業界の今がわかる！業界を知りたい方必見！
宿泊業の魅力についてこれを読めばわかります！

人と出会い、成長できる。
心温まるおもてなしの世界でお客様の思い出作りのサポートをしませんか？

“ホテル業界の仕事”を漫画で解説中！



https://www.j-hotel.or.jp/hotel_manga

パンフレット 宿泊業しごと図鑑

宿泊業しごと図鑑

旅客・ホテルの印象を左右する「顔」ともいえるポジション

フロント

チェックイン・チェックアウトのイメージがフロントスタッフです。笑顔の響きからのおもてなしは、お客様にとって大切なポイントです。また、お客様の疑問や要望に迅速に対応し、お客様の滞在を快適にするためのサポートを行います。

この仕事のやりがい

- お客様との直接的なやり取りを通じて、お客様の笑顔や感謝の言葉をいただくことが、大きなやりがいにつながります。
- 多岐にわたる業務を通じて、様々なお客様と出会い、コミュニケーション能力を高めることができます。
- ホテルの運営を支える重要な役割を担っており、責任感を持って働くことができます。

こんな人が向いています！

- 人と話すのが好きな方
- 接客スキルを高めたい方
- 規律ある生活に行動できる方

旅客の魅力を企画・販売で引き出す

企画職

お客様のニーズを把握し、最適なサービスやパッケージを企画・販売します。また、市場動向や競合状況を分析し、新たなサービスやキャンペーンを提案します。

この仕事のやりがい

- お客様のニーズを把握し、最適なサービスやパッケージを企画・販売することで、お客様の満足度を高めることができます。
- 市場動向や競合状況を分析し、新たなサービスやキャンペーンを提案することで、ホテルの競争力を高めることができます。
- お客様のニーズを把握し、最適なサービスやパッケージを企画・販売することで、お客様の満足度を高めることができます。

こんな人が向いています！

- 企画・販売に興味がある方
- 幅広い分野に興味がある方
- 分析・調整力を身につけたい方

特別な料理で花を添える

調理

レストランや宴会、パーティーなど、様々なシーンで、お客様に最高の食体験を提供します。また、季節の食材や旬の食材を取り入れ、お客様に新鮮な食体験を提供します。

この仕事のやりがい

- お客様に最高の食体験を提供することで、お客様の満足度を高めることができます。
- 季節の食材や旬の食材を取り入れ、お客様に新鮮な食体験を提供することで、お客様の満足度を高めることができます。
- お客様に最高の食体験を提供することで、お客様の満足度を高めることができます。

こんな人が向いています！

- 食へのこだわりがある方
- 高級食材を扱ってみたい方
- 幅広い調理スキルを身につけたい方

お客様へのひとりの心をこめた「おもてなし」

客室

お客様に快適な客室環境を提供し、お客様に最高の滞在体験を提供します。また、お客様のニーズを把握し、最適なサービスやパッケージを提供します。

この仕事のやりがい

- お客様に最高の滞在体験を提供することで、お客様の満足度を高めることができます。
- お客様のニーズを把握し、最適なサービスやパッケージを提供することで、お客様の満足度を高めることができます。
- お客様に最高の滞在体験を提供することで、お客様の満足度を高めることができます。

こんな人が向いています！

- お客様とのコミュニケーションが好きな方
- おもてなしの心をこめて提供したい方
- お客様のニーズを把握し、最適なサービスやパッケージを提供したい方

6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作

(3) 事業サイト

■概要

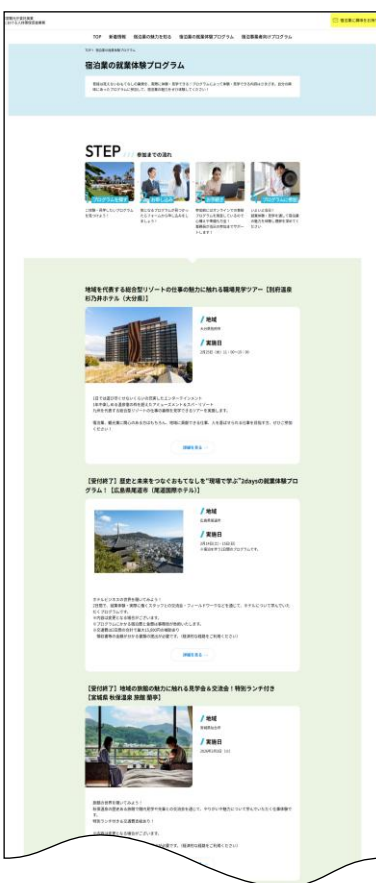
事業サイトについては、宿泊業界への理解をより深められる情報提供を行うことを目的として作成した。

サイトには、パンフレットに掲載した宿泊業界の現状、しごと紹介といった基礎的な情報に加え、オンラインならではの特性を生かし、より詳細かつ継続的に情報を発信できるコンテンツを掲載。また、本事業で実施する各種プログラムの案内や申込フォームを設置し、情報閲覧から参加申込までを一体的に行える構成とした。これにより、パンフレットによる入口的な情報提供に加え、事業サイトを通じてより深い業界理解と継続的な情報接触を促進し、宿泊業界への関心醸成および就業意欲の向上を図った。また、宿泊事業者向けセミナーのアーカイブを掲載することで学生・求職者だけでなく、幅広い関係者が活用できる情報基盤として機能させた。

TOPページ



宿泊業の就業体験プログラム



宿泊事業者向けプログラム



6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作

■コラム更新履歴

事業サイトに掲載するコラムについては、定期的な更新を行う運用とし、継続的にサイトを利用してもらえる仕組みづくりを行った。コラムページでは、業界解説コンテンツ、具体的な職種を紹介する職業紹介、実際に実施した就業体験プログラムのレポートに加え、後述する漫画動画へのリンクや前述したオンデマンド形式のセミナーなど、多様なコンテンツを掲載した。さらに、コラム更新のタイミングにあわせて、メールマガジン登録者に対して更新情報を通知することで、サイトへの再訪を促進し、継続的な接点の創出につなげた。

掲載日	掲載されたコラムのタイトル
令和7年7月11日	宿泊業のこれまでとこれから
令和7年9月18日	調理のしごと図鑑 レストランサービスのしごと図鑑
令和7年9月25日	フロントのしごと図鑑 企画職のしごと図鑑
令和7年10月6日	[プログラムレポート] 宿泊業で就業体験！【大歩危祖谷】 管理部門のしごと図鑑
令和7年10月14日	仲居のしごと図鑑
令和7年10月27日	広報のしごと図鑑 支配人のしごと図鑑
令和7年11月4日	ソムリエのしごと図鑑 バーテンダーのしごと図鑑
令和7年11月10日	[プログラムレポート] 若旦那若女将密着体験！【長野県 別所温泉】 宿泊業界の魅力を伝えるまんが動画【調理編】 宿泊業界の魅力を伝えるまんが動画【旅館編】 宿泊業界の魅力を伝えるまんが動画【ホテル編】
令和8年1月8日	動画で分かる！宿泊業界 仕事の魅力発見セミナー

宿泊業の魅力をj知る



6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作

フロントのしごと図鑑



フロントのしごと図鑑

プログラムレポート



【プログラムレポート】 宿泊業で就業体験！大歩危・祖谷地区

宿泊業の魅力を知る

2025年09月25日

フロントのしごと図鑑

コラム

フロントのしごと

- 旅館・ホテルの印象を左右する「顔」ともいえるポジション

チェックイン・チェックアウトのイメージが強いフロントスタッフですが、実際の業務はそれだけではありません。宿泊中のお客様からの問い合わせ対応をはじめ、館内や周辺観光地に関する各種案内、電話・メール・予約サイトを通じた宿泊予約の対応、チェックアウト時の会計業務など、多岐にわたります。「最初」と「最後」にお客様と接するフロントスタッフは、旅館・ホテルの「顔」ともいえる重要なポジションです。

●一日のスケジュール

出勤 朝服に着替えて フロントへ集合	8:45	チェックアウト 前泊のお客様のチェックアウト フロントでの受付業務	11:00	清掃 お部屋のゴミ回収・清掃 館内清掃などを行います	15:00	業務終了 当日の業務内容の振り返り 1日業務を終了します	17:00
8:00	ミーティング 前泊のお客様のチェックアウト お客様のチェックイン	9:00	お客様対応 前泊のお客様のチェックアウト お客様のチェックイン	12:00	チェックイン お客様のチェックイン お客様のチェックアウト		

この仕事のやりがい

家族旅行、記念日旅行など、お客様の目的はさまざまです。そんな特別な時間の一部に関われることは、何だか特別な感じがします。また訪日外国人観光客が増えている中で、英語をはじめとした語学力を活かせる機会も多いです。仕事を通じて異文化交流ができるのもやりがいです。

≡ 一覧に戻る

← 前の記事 | 次の記事 →

宿泊業の魅力を知る

2025年10月06日

【プログラムレポート】 宿泊業で就業体験！大歩危・祖谷地区

レポート

～徳島県 大歩危・祖谷地区で地域の魅力とおもてなしを学ぶ～

令和7年9月8日から10日の3日間、徳島県三好市「大歩危・祖谷地区」にて、宿泊業をテーマとした就業体験プログラムが開催されました。

岡山県や四国地方から集まった7名の学生が参加し、旅館の現場での業務を実際に体験することで、宿泊業の理解を深めるとともに、地域の自然や文化、人々のふれあいを通じて「働くこと」や「地域との関わり」について考える貴重な機会となりました。

1日目：地域体験と交流会

6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作

(4)漫画動画

■概要

若手人材・学生に対して宿泊業への理解促進および関心喚起を図るため、漫画動画を作成した。本動画は、若年層になじみのある1分以内のショート動画とし、事業サイトおよび観光庁公式YouTubeアカウントに掲載することで、幅広い学生・若年層への情報発信を行った。また、動画のベースとなった漫画については、パンフレットにも掲載し、複数の媒体を通じた訴求を図った。動画の内容は、「ホテル編」「調理編」「旅館編」の3テーマで構成し、いずれも学生を主人公としたストーリーとしている。制作にあたっては、専門学校の協力を得て学生にヒアリングし、業務内容や仕事のやりがいを紹介しながら学生目線で宿泊業の仕事に興味を持つきっかけとなる場面を描いている。

●ホテル編

「ホテルの仕事は接客や清掃が中心」という学生の先入観を起点に、OB訪問を通じて宿泊業界の仕事の幅広さに気づいていくストーリーで構成している。海外法人への営業やSNSを活用したサービス企画など、多様な業務の存在を具体的に描くことで、宿泊業がさまざまな分野やスキルを活かせる業界であることを分かりやすく伝えている。本動画は、学生が抱きがちなイメージをやわらかく転換し、「宿泊業には自分の関心や強みを活かせる仕事があるかもしれない」という気づきや関心喚起につなげることを狙いとした。

漫画



事業サイト



6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作

●調理編

就職活動に悩む学生が、自身のこれまでの経験や興味関心を振り返る中で、宿泊業界の中に「調理職」という仕事があることに気づくストーリー構成とした。家族旅行での食事の思い出や、料理をすることの楽しさといった身近な体験をきっかけに、宿泊業には料理を通じてお客様の思い出づくりに貢献する仕事があると描いている。調理職の人材不足が課題のとなっている中で、本動画は、学生に対して「調理職」という選択肢があると認識してもらうことを狙いとした。

漫画



事業サイト



●旅館編

旅館で仕事をする制服姿のスタッフに対する率直な憧れをきっかけに、旅館の仕事について考えていくストーリーで構成している。仕事選びの出発点は、小さな興味や憧れであってもよいことを示しながら、旅館の仕事そのものに気づいてもらうことを狙いとして作成した。見た目や雰囲気といった入口からであっても、「お客様に喜んでいただく」という仕事の本質に目を向け、学生が旅館で働くことを将来の選択肢の一つとして意識することを期待した内容となっている。

6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作

漫画



事業サイト



(4) アクセス分析

事業サイトのセッション数上位には、TOPページや就業体験プログラムの一覧、詳細ページなど、事業サイトに流入したユーザーを受け止める入口的な機能を持つページが並んでいる。事業サイトの主目的である「宿泊業の魅力発信」という観点では、「宿泊業の魅力を知る」内の各コンテンツにおいてエンゲージメント率が比較的高いページが見られ、興味関心を持ったユーザーの理解促進に寄与していると考えられる。また、漫画動画は、若年層が視聴しやすい短尺コンテンツとして設計しているため、その結果が平均セッション時間にも表れていることが見て取れる。短時間で魅力に気付くきっかけづくりという意味ではおおよそ狙い通りの運用だったと考えられるものの、滞在が短いまま完結してしまった可能性も推測できる。したがって、漫画動画から職業紹介・しごと凶鑑・就業体験プログラム等の次に深掘りできるコンテンツへの導線を明確化することで、回遊性を高めるとともに、理解の深めながら関心喚起が進み、魅力発信の強化につながると考えられる。

6. 宿泊業の魅力発信に資する資料コンテンツ制作

●事業サイトのアクセス詳細

ページタイトル	セッション数	エンゲージ のあった セッション数	エンゲージ メント率	平均 セッション 時間
合計	96,561	23,397	24.2%	65.7秒
TOPページ	26154	7,447	28.5%	69.9秒
宿泊業の就業体験プログラム 【企業名非公開（大分県）】	17,499	4,276	24.4%	27.9秒
宿泊事業者向けプログラム 【テーマ：スポットワーク活用】	14,308	2,674	18.7%	39.9秒
宿泊業の就業体験プログラム 【東京都港区（企業名非公開）】	13,972	2,643	18.9%	31.3秒
宿泊業の就業体験プログラム 【東京都新宿（株式会社新宿東急ホテルズ）】	7,420	1,605	21.6%	52.2秒
宿泊業の就業体験プログラム 【宮城県 秋保温泉 旅館 蘭亭】	6,556	2,362	36.0%	65.8秒
宿泊業の就業体験プログラム 【諏訪湖・上諏訪温泉の旅館 浜の湯】	5,544	1,731	31.2%	54.7秒
宿泊業の就業体験プログラム 【広島県尾道市（尾道国際ホテル）】	5,284	1,713	32.4%	65.9秒
宿泊業の魅力を伝える 宿泊業界の魅力を伝えるまんが動画【ホテル編】	2,998	1,198	40.0%	24.0秒
【観光庁】 宿泊業の就業体験プログラム	2,555	2,037	79.7%	133.2秒
宿泊業の就業体験プログラム	1,539	1,278	83.0%	97.9秒
宿泊事業者向けプログラム	1,120	1,010	90.2%	89.3秒
宿泊業の魅力を伝える 宿泊業界の魅力を伝えるまんが動画【旅館編】	1,109	518	46.7%	48.8秒
宿泊業の魅力を伝える 動画で分かる！ 宿泊業界仕事の魅力発見セミナー	738	320	43.4%	69.1秒
宿泊業の魅力を伝える	710	593	83.5%	50.0秒
宿泊業の魅力を伝える 宿泊業界の魅力を伝えるまんが動画【調理編】	509	267	52.5%	26.5秒
宿泊業の就業体験プログラム 【東京都新宿（株式会社新宿東急ホテルズ）】	448	133	29.7%	88.9秒
宿泊業の就業体験プログラム 【徳島県 大歩危・祖谷地区】	356	225	63.2%	188.1秒
新着情報	341	327	95.9%	23.9秒
新着情報 宿泊業の就業体験プログラム参加者募集中！	311	297	95.5%	43.3秒
宿泊業の魅力を伝える 宿泊業のこれまでとこれから	298	222	74.5%	143.3秒

7. 事業振り返り

(1) 振り返り

年間を通じて、合同企業説明会を活用した魅力発信3回（参加企業数15社）、企業向けセミナー9回（参加企業数242社）、インターンシップ・職場体験プログラム6回（参加企業数12社）、職場見学会6回（参加企業数6社）を実施し、延べ宿泊事業者275社、学生・求職者381人が参加した。また魅力発信の一環で実施したパンフレット、漫画動画、事業サイト、オンラインセミナー等の配布数、視聴数を加味すると、非常に多くの方に宿泊業界の魅力発信を実施した。宿泊業をもともと志望している学生や経験者だけでは人材不足を補えない状況を鑑み、本事業では、まだ進路について考えはじめたばかりの大学低年次生を中心に各プログラムへの参加を呼び掛けた。その結果、上記参加者のうち、これから就職活動が始まる大学3年生以下の低年次生は359人（94.2%）を占めた。

職場体験・職場見学については、いずれも非常に高い満足度が得られた。参加者の中には具体的に宿泊業への就職を検討したい、職場体験・職場見学先への就職を希望するという声もあり、またプログラム参加前後で関心が高まったという回答も多く集まったことから、一定の効果が得られたものと考えられる。

職場体験・職場見学プログラムの実施を年度後半に集中させたことも効果的だったと考えられる。大学3年生の多くは夏季休暇期間を活用し、就職希望企業を探すために活発に職場体験に参加するが、この時期は業界や規模にかかわらず多くの企業が同種のプログラムを実施している。加えて採用活動の早期化により競争が激化している。東京都が毎年実施している中小企業を対象とした職場体験実施支援事業において夏季の参加学生が減少したことや、令和7年12月時点の大学3年生の内定率が29.3%と、前年度より13ポイント上昇したことからも、その状況が伺える。一方で、秋以降は競合するプログラムが減少したことや、夏季に就職活動を始められなかった学生も、本格的に進路を検討するようになったことが、年度後半に実施したプログラムの集客にも寄与したものと考えられる。またこのような時期に体験的なプログラムを実施したことで、参加者の印象にも残りやすく、宿泊業への関心を向上を後押ししたものと考えられる。

また、本プログラムは受け入れ事業者の人材確保・人材活用の課題改善の側面でも効果的だったと考えられる。職場体験・職場見学を実施した宿泊事業者の多くは、本事業で実施した宿泊事業者向けセミナー及びその後の相談をきっかけに、運営事務局との継続的な相談・打ち合わせを経て当日のカリキュラムや参加者募集ための事業者PR等を実施した。宿泊事業者の担当者からは、これらのノウハウの習得はもちろん、学生が宿泊業のどのような点に関心を持てるのか、就職先として考える上での動機やボトルネックになるポイントを把握できたことや、求職者の入社意欲や自社への理解を醸成する上で効果的な手法であることを体験的に学ぶことができた、等の感想を得ることができた。

(2)課題と改善点

● マッチングを見据えたプログラムの活用

今年度は魅力発信に注力し主に大学低年時生等を対象としたため、受け入れ事業者のマッチング創出までのフォローは実施しなかったが、職場体験・職場見学を業界への関心が高まった参加者が多く存在したことことから、就職先としてのイメージ構築、志望度の醸成において効果的であり、人材確保にもつなげられる可能性が十分にあるものと考えられる。

人材確保につながるプログラムにするためには、転職希望者や大学等の最終学年を対象とする必要があり、それに伴い時期を改めることができれば、人材確保においても実効性の高いプログラムとなり得ると考えられる。

● 業態や規模に応じた設計

仕事の一部を体験できたことは、参加者の満足度につながり、宿泊業に対するポジティブな感想が多く寄せられた一方でさらに多様な業務体験を求める声も挙がった。体験を含まない職場見学においても実際に働く姿を見ることができたことに対して良い反応が示された。今年度職場体験・職場見学を実施した宿泊事業者の多くは、多数の客室と宿泊以外の機能を有する中堅以上の規模のホテルであった。全国規模ではないものの地域では一定の知名度を有し、閑散期で、客数の少ない時間帯でも、実際に従業員が働いている様子を見せられたことで、このような好反響を得られたものと考えられる。

一方で、人手不足が深刻化している宿泊事業者のすそ野は広く、事業者向けセミナーには比較的小規模事業者の参加も見られ、相談を行ったケースもあったが、マンパワー等の要因で実施に至らなかった。今年度実施した職場体験・職場見学は、魅力発信の観点から、できるだけ多くの学生等が参加できるようにしたいことや、働くイメージを持つために実際に働いている様子を見学したり、業務の一部を体験することを求めたが、宿泊客がいる間は学生等の対応や見学可能な場所が限られてしまうこと等の課題が挙げられた。また本事業での受入れが直接採用に結びつかないことが、実施へのボトルネックとなったケースもあった。

多様な業態、規模、特色を有する宿泊事業者が職場体験・職場見学を実施することは、より多くの学生に魅力を発信する契機になると考えられることから、より柔軟な実施方法を検討することが望ましいと考えられる。